臺灣日日新報 夕刊
一月十五日
夕刊定價一部二錢
編輯兼發行人 佐々木 臺北市榮町四丁目卅二番地
發行所 臺灣日日新報社
基隆市壽町（電話七八五）基隆支局
臺中市寶町（電話三〇七）臺中支局
臺南市錦町（電話長式〇）臺南支局
花蓮港街入船町 花蓮港支局
大阪市西區靭南通五丁目（ユタカビルディング内）大阪支局
東京市京橋區銀座西一丁目 東京支局

酒界之王 菊正宗

けふ組閣完了か
手際の良い銓衡ぶり

【東京十五日發同盟】後繼内閣組織の大命を拜した米内大將は前藏相石渡莊太郎、元厚相廣瀨久忠、元拓相小磯國昭の三氏を組閣參謀となし、今後の組閣方針につき種々協議を重ね、先づ新内閣の書記官長には石渡莊太郎氏を據ゑ、愈よ本格的な組閣工作に着手し、畑前陸相の來邸を求めて陸軍側の支援を要望、後任陸相の推薦方を懇談したるに對し、陸相より全軍の總意として新内閣支持の態度を表明され、更に海相の留任、吉田海相の留任、元外相有田八郎氏の外相就任決定など手際の良い銓衡振りを見せてゐるので、政黨方面の工作が順調に行けば十五日中には組閣を完了し閣員名簿を陛下に捧呈し得ることとならう

午後から政黨工作

【東京十五日發同盟】米内大將は十五日午前八時新に組閣本部となつた芝公園水交社に入り廣瀨、石渡、小磯の三組閣參謀を招致して組閣第二日の工作に着手した、然して組閣の根本方針は阿部内閣退陣の國内情勢に鑑み、内務、大藏、商工、農林四閣僚の銓衡に重點を置き、これと政黨閣僚との關係を睨み合せて工作を進め實際方面からも適任者を物色することとし午前九時五十分先づ檢事總長木村尚達氏の來訪を求め法相就任を要望し、次で元拓相小磯國昭大將の入閣を懇請するなど入閣人選の交渉を進めたが、一方陸軍では午前十一時半より三長官會議を開いて後任陸相の銓衡を進めた結果畑陸相の留任と決定、この旨組閣本部に通達、斯くて午後よりは愈よ政黨工作に取掛ることになつたので新内閣の組閣工作は十五日中には略々完了し先づ順調な進捗振りを見せるものと思はれる

戰時財經政策に重點

【東京十五日發同盟】米内新内閣の組閣は現下の情勢に鑑み軍部、政黨、財界の所謂三位一體の擧國一致強力内閣と見られ、その成立の使命は支那事變處理、就中新政權の成立成長に對する積極的支援と育成とにあり、阿部内閣當時既に決定したる新政權樹立に關する基本方策を實行に移すべき使命を第一要件としてゐること勿論で、これと同時に特に阿部内閣退陣の最大理由の一つと見られる國内諸問題の解決に重點を置き、戰時財經政策の遂行と國民生活の安定に全力を注ぐべく、大藏、商工、農林などの所謂經濟閣僚の銓衡には特にこの點に留意し愼重を期する方針と見られる

米内内閣の顔觸
決定は現在五大臣

【東京十五日發同盟】米内内閣の閣僚は十五日本格的人選に入るが現在決定、考慮及び有力視されてゐるものは左の如くである

外務大臣決定
外相 有田八郎（決定）

米内大將は野村外相に留任を懇望したが野村外相固辭して受けぬため元外相有田八郎氏に外相就任を懇請し同氏の受諾を得て決定を見た

陸軍大臣留任
陸相 畑俊六大將（留任決定）

陸軍では後任陸軍大臣銓衡のため十五日午前十一時半より參謀本部に陸軍三長官會議を開き、閑院參謀總長宮殿下を始め奉り畑陸相、山田教育總監出席して協議の結果畑陸相を留任せしめることに決定、畑陸相は十五日午後組閣本部に米内大將を訪問三長官會議の結果を通じて回答することとなつた

海軍大臣留任
海相 吉田善吾大將（留任決定）

司法大臣決定
木村尚達氏に

司法大臣は檢事總長木村尚達氏に決定した

拓務大臣決定
拓相 小磯國昭（決定）

藏相 町田民政黨總裁、元藏相池田成彬、日銀總裁結城豊太郎

内相 元文相荒木貞夫大將、元法相鹽野季彦、司法次官岩村通世

その他元藏相勝田主計、平生釟三郎、八田嘉明及び民政黨の櫻内幸雄氏等の入閣が有力視されてゐる

書記官長 元藏相石渡莊太郎（決定）

新内閣の書記官長に決定した石渡莊太郎氏は平沼内閣の藏相を勤めてをり、閣僚として經驗がある書記官長は同氏をもつて嚆矢とされるので新書記官長は親任官をもつ

組閣方針
閣僚の兼任はない

【東京十五日發同盟】新内閣の組閣方針は閣僚の兼任なく椅子を全部埋めることとし又企畫院總裁は專任とする方針で人選に着手した

企畫院總裁 滿洲國總務長官星野直樹

法制局長官 元厚相廣瀨久忠、内務次官大達茂雄

て詮衡される筈である

陸軍の要望
新内閣に對して

【東京十五日發同盟】陸軍では十四日夜の首腦部會議の結果新内閣を支持することに決定したがその要望する所は左の如くである

一、事變處理の建前より新内閣はこれを極力支援し前内閣において決定した支那新政權樹立に對する帝國の基本方針に則り着々これを實行に移すべく新内閣に協力する

一、新内閣は前内閣に依つて決定された明年度國防豫算を承認し國防の充實を期すると共に國内革新政策を遂行して戰時國内體制の確立を期し銃後國民生活安定の爲め獻身的努力を要望する

政黨も支援

民政黨

【東京十五日發同盟】民政黨は十四日夜米内大將に組閣の大命降下せるに對し町田總裁邸に首腦部が會合、意見交換の結果未だ米内大將の組閣方針不定のため黨としての態度を決定するわけには行かぬがしかし現在の重大なる時局に鑑み殊に近く誕生を豫想される支那新政權に對する帝國の基本方針が前内閣によつて決定されたばかりであつて新内閣は當然これを實行に移すべき使命をもつて成立したものである以上新内閣を支援し事變處理に協力すべきは勿論、國内問題對策についてもこの際出來るだけ協力支援を惜むべきではないとの意見に一致し好意をもつて迎へてゐる、而して若し米内大將より町田總裁に對し入閣の交渉を受けた場合は總裁自らは入閣せず閣外に在つて協力するとの意向を堅持してゐるやうで、その代り米内大將の希望如何によつては代表者を入閣せしめることとならうが、その場合は目下左の諸氏が有力候補者と見られてゐる

櫻内幸雄、大麻唯男、小川鄕太郎、勝正憲

政友兩派

【東京十五日發同盟】米内大將に組閣の大命が降下したので政友會中島、久原兩派では中島總裁並に久原總裁を中心に幹部が寄々協議を進めてゐるが、その意向は大體左の如く新内閣支持に方針を決定してゐる

時局の重大性に鑑み政黨としては新内閣を支持して事變處理と國内諸問題解決に協力すべきである、黨首が入閣するか否かは米内大將の組閣方針が明瞭にされない限り態度は決定することは出來ないから交渉があつた上で正式に決定するより外あるまい

黨首が入閣しない場合、兩黨の有力な入閣候補者は左の如くである

久原派 三土、鳩山、松野、大口の諸氏

中島派 前田、島田、山崎、堀切の諸氏

陸相に優諚を賜ふ
米内大將に協力せよと

【東京十四日發同盟】畑陸相は十四日午後七時五十五分米内海軍大將の大命拜受と殆ど同時刻に天皇陛下に拜謁仰せ付けられ組閣に際しては米内大將に協力すべき旨の優諚を拜し恐懼して同八時二十分宮中を退下し直に陸軍省に入り阿南次官、武藤軍務局長以下陸軍首腦部に右優諚を傳達した

町田總裁を招き
藏相就任を懇請

【東京十五日發同盟】町田民政黨總裁は組閣本部の米内大將よりの招聘に接し十五日午後一時水交社に赴き米内大將より組閣に就き民政黨の協力を懇望され、その入閣に就て交渉を受けた

【東京十五日發同盟】新内閣の大藏大臣としては政治、財政、經濟運營の重要性に鑑み米内大將は午後二時町田民政黨總裁の來訪を求め同總裁に對し總裁として大藏大臣就任方を懇請した

新内閣と列國

滿洲國

【新京十四日發同盟】後繼内閣組織の大命が米内海軍大將に降下したことにつき張國務總理は次の如く語つた

滿洲國としては後繼内閣の首班が何人たるを問はず日本の根本方針が支那事變の處理といふことにある以上、日滿不可分關係の緊密の上に立つた日本の大陸政策の遂行として協力して行く方針である、米内大將が速かに強力なる内閣の組織に成功し更に國家非常の大目的たる支那事變の處理を一日も早く實現し東亞新秩序の大業を達成せられんことを祈つて已まない

新支那

【上海十四日發同盟】阿部内閣退陣後間もなく米内光政大將に大命降下したとの報道に汪精衞氏など中國國民黨一般に多大の好感をもつて迎へられてゐる、卽ち米内大將は林、近衞、平沼内閣に引續き海相として國策の責任に任じ、近衞聲明及び之に引續く事變處理の内部事情に精通してをり、これによつて阿部内閣により國策決定を見た中央政權樹立に對する日本の協力援助方針は微動もせず、むしろ擴大強化されるものとみて新内閣の誕生に多大の關心を寄せてゐる

米國

【ニユーヨーク十四日發同盟】米内大將に大命降下の報道は當地ではやゝ意外の感をもつて迎へられてゐるが、アメリカ側消息筋では寧ろ穩健な形で海軍出身者が日米關係につき考慮を拂はないことは過去の事例に徴しても明かである、軍部出身の總理大臣としては最も安全な人選と見られてゐる、從つて米内新内閣が少くとも日米交渉を從來より惡化せしめることはないであらうが同時に内閣更迭が日米交渉に好轉的なる新局面を齎すかは容易に豫測し得ないとされてゐる

元大臣の書記官長は初めてのこと

【東京十五日發同盟】米内新内閣の書記官長に元大藏大臣石渡莊太郎氏が推されたが、元大臣が書記官長に任ぜられたのは我が國最初である

國を擧げて新内閣に期待

【東京十五日發同盟】阿部内閣總辭職の後を襲つて米内海軍大將が組閣の大命を拜し支那事變第四年の重大時局を擔當すべき擧國一致内閣を組織することとなつたが、新内閣の事變處理方針は前内閣のそれと何等異るところなく新政權成立に關し去る八日阿部内閣が決定した基本要綱に則つてその成立を積極的に支持し、これが健全なる使命に向つて邁進することは明かで、新首相は平沼兩内閣の海相として身をもつて事變處理に當つた經驗者として國を擧げて新内閣に多大の期待をかけてゐる

政黨への椅子割當

【東京十五日發同盟】政黨に對する閣僚椅子割當は十五日の組閣本部協議の結果、民政、政友兩派に各二名宛の入閣を要請することに決定、米内大將は民、政兩黨首に組閣本部に來訪を求めて交渉することになつたが同大將は各黨首の入閣を希望してをり黨首との會見において正式に要請することになつた

内閣總理大臣は將官として現役を退くのは慣例上はじめてのこと、石渡さんは平沼内閣に入閣前大藏省に入り八田嘉明、ずつと大藏省に育ち我が官界第一の財政通、七十四議會で公約した稅制改革を石渡藏相が河本總裁の下で實施し、立案されたこの七十五議會に提出されることになつてゐることは石渡さんにして見れば問れた子供に再會といふ因縁だ、年も今年取つて恰度五十の働き盛り、平沼内閣で同僚だつた米内さんとは格別呼吸の良かつた石渡さんは喜ばしいよき女房役を勤めるであらう

全參議辭表を提出

【東京十五日發同盟】阿部内閣總辭職後の參議會は十五日午前十時半より首相官邸で開催、久原參議を除く全參議出席、協議の結果參議の辭表を取纒めた上阿部内閣の總辭職に伴ひ辭表を取纏めたき旨を提言し一同異議なく承認して散會した

米内大將の横顔

【東京十五日發同盟】事變處理が新段階に入り時局重大性を加へた際組閣の大命を拜した米内光政大將は陸の板垣中將と並び稱される岩手が生んだ海軍の逸材で、板垣中將より一足先きに大臣になり大將になつた、米内大將が又一足お先きに首相の印綬を帶びることになつた、明治十三年三月生れ當年六十一歲、明治三十四年海軍兵學校を卒業少尉に任じ、昭和十二年海軍大將に昇進したが、その間春日、岩手、扶桑、陸奧各艦長、第二艦隊參謀長、鎮海要港部司令官、第三艦隊司令長官、佐世保鎮守府司令長官、第二艦隊司令長官、横須賀鎮守府司令長官を經て昭和十一年十二月聯合艦隊司令長官に親補された、就任後僅か三ケ月目の昭和十二年二月林内閣、近衞内閣、平沼内閣に海軍大臣として留任、平沼内閣總辭職まで二ケ年七ケ月の長きに亘り海相の大任に當り海相辭任後は軍事參議官として現在に及んだもので、軍部内の軍政、軍令一致の信望を集め

昭和十二年二月林内閣に海相として入閣に際し米内大將は左記事項を要望した

一、無條約時代に對處すべき海軍軍備の實施

一、文武各々その職分を恪守して相互に容喙することを避けること

一、外交の一元化

一、東亞の指導者として東亞新秩序確立の大計畫を誤らざること

などの希望條件を林首相に容認せしめて海相として入閣、爾來近衞内閣、平沼内閣に海軍大臣として留任し、事變の重大時局下に處して海軍を代表し慎重にして且つ聰明な判斷をもつて鎮中に處し、軍民の信望を集め平沼内閣時代における歐洲問題の際における硬な態度を持し最後まで所信を貫き通し、軍部元老方面の信望も頗る厚い、下を愛すること慈父の如く部下の信望を一身に集めてゐる

木村新法相
部内切つての腕利き

【東京十五日發同盟】昨年二月十五日第二六代檢事總長の後を襲つて檢事總長となつた途端、當時やかましかつた東大教授の黨派的發言問題で剛毅果斷な腕の冴えを見せた新法相木村尚達氏は人も知る司法部内切つての腕利き、本年六十二歲、斗酒をも辭せぬ酒仙で豪放磊落な性格は何處迄も親分の綽名でよく人に親しまれてゐる、村夫子然たるその風貌は傲慢も寛大な官吏臭味がなく、御本人も「僕は阿蘇山の噴火口から生れて來た熊本見たいな男さ」と出身地が阿蘇山の噴火口内にある久木野村だけに野趣々々、酒樂に兒分の野趣かな法相とザル碁一行へのと趣作りである、十五日朝組閣本部から歸館した木村總長は「何しろ石渡君が内閣の大番頭になるといふのだからオレも引受けない譯に行かない引受けた以上は一生懸命にやるつもりだ」と語つた

和平運動は活潑化せん
法王、ル大統領が協力

【ロンドン十三日發特約電報】ローマ法王ピオ十二世は十二月ヴァチカン駐在英國使節グレーアスボーン氏を引見した、此の會見に於て法王は再度平和希求を表明し世界各國に言及したと傳へられるがこれに關し法王は一日も早く組織されん事を希望したと、而してアメリカのヴァチカン派遣使節マイロン・テーラー氏は二月にヴァチカンへ到着するがローマ政界ではテーラー氏の到着を待つて法王とル大統領との協力の下に和平運動が一段と活潑になるだらうと信じてゐる

米内大將は豫備役に

【東京十五日發同盟】組閣の大命を拜した米内大將は内閣首班として就任と同時に海軍武官服務令に依り豫備役に編入されることとなるが海軍としては米内大將の功績手腕等に鑑み現役に留まることを希望して居りこれが實現の手段方法を研究中である

人事

▲水津彌吉氏（臺銀頭取）菊池人事課長を待同十九日上京に變更
▲田端幸三郎氏（臺灣拓殖副社長）十五日中部より直行基隆へ、十六日官邸に赴き同日辭社
▲石井龍猪氏（内務局長）十四日來臺（日之丸館）
▲田邊尚正氏（農林省小作官）十四日來臺（吾妻）
▲土井季太郎氏（南方開發協會理事）十五日午後東京より來臺（吾妻）
▲小笠原七氏（日本香料社長）ト部支店長同伴十四日來臺（鐵道ホテル）
▲堀内利吉氏（高砂化學工業社長）十四日來臺（鐵道ホテル）
▲穗田健吉氏（東洋紡績取締役）外一行十四日南部へ、十七日高雄より乘船海南島へ
▲岡田幸生氏（糖業試驗所長）十五日夜行にて歸任
▲小出三郎氏（臺灣公司取締役廣東支店長）▲大山多計二氏（同廣東支店長代理）十四日臺北發赴任
▲福原要藏氏（日本アルミ取締役）外一名十四日來臺、夜行にて高雄へ
▲和田順助氏（東京和田工務所主）十五日花蓮港より來北（鐵道ホテル）二十四日歸京の豫定
▲田中靜三郎氏（歐亞拓田中製菓社長）十三日屏東より來北
▲福原信三氏（東京資生堂社長）十五日香取丸で大阪へ
▲植木芳松氏（東亞畜產興業副社長）十七日山城へ
▲高橋憲治氏（昭和纖維工業部長）十四日來臺（日之丸館）
▲本名文任氏（元臺北廳長）十四日來臺（吾妻）
▲今岡京城帝大教授十四日大阪へ轉じた

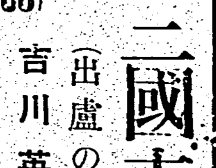
無絃琴

米内海軍大將の登場は、意外であるべき言論界を刺戟して事を運びつゝあるニユース界に珍らしい大スクープとして突然國民の前に大臣に映し出された▲政治の中心である東京の諸新聞も近衞公の臣が再び出馬に決つたといふ事を寝がめた後は、十四日の政黨首相までは後繼内閣の首班は陸相といふ一本槍、それが外れるかも知れぬとあり、一向に米内の「ヨ」の字も出てゐなかつた。從つて米内への話込みなども殆ど無されてゐたらしい▲新聞通信の眼を巧みに外らした事を以て、重臣若くは政界上層の「鮮かな手」と云ふを得べくは、今度の政變に於て示された如く鮮かなものは無かつたであらう▲それだけに米内内閣への國民の感じは「意外」と共に「新鮮」などいふ感じが伴うてゐる事も紛れも無いところ▲思くも米内大將に協力すべき旨の優諚を拜して留任の決意を固めた畑陸相に、事變で重い責任の立場から最善を盡すであらうが、恐に角、陸海兩相の留任は事變處理の上にも先づ好都合な樣へであらう▲所で此の意外な米内海軍大將の出馬説が疾うの昔に米國の新聞に出てゐるといふ話がある。それは吾社の東京支局長が去る一月十日、西園寺老公の近親の某方面と面會の際、阿部内閣に次く後繼内閣首班者の話が出た際、近衞公は辭退、それに次ぐは杉山、畑、南と斯の如くあつて、最後に「アメリカの新聞には米内大將の名が擧げられてゐます」との話があつた▲一月十日といふと政變のあつた四日も前のことであり、さうい「滑稽」が米國では早くも傳へられてゐたものと見える。

三國志
（出廬の卷）

吉川英治作　矢野橋村畫

（106）



螢の彷徨ひ（三）

撫子の茶をかこむ不二の窓に、炊煙があがつてゐた。

帝と陳留王のふたりを隱しておいた茅屋の柴戶を開いて崔毅は

「田舍です。何もありませんが、飢をおしのぎ遊ばすだけと思し召して、この粗飯を一時召上つてください」

と、食事を捧げた。

帝も、皇弟も、浅ましきばかりがつがつと飯をすすられた。

崔毅は、強ひ催して、

「安心してお眠りください、外はてまへが見張つてをりますから」

と告げて退がつた。

荒れた屋根の下、帝の御門に立つたまま、崔毅は半日も立つてゐた。

すると、發々と、馬蹄の音が木立の下を踏んで來る。

「誰か？」

どきつとしながらも、何喰はぬ顏して、急に帝の手をうごかしてゐた。

「おい／＼、家の主、何か喰ふ物はないか、湯など一杯恵んでくれ」

聲に振向くと、それは馬上の閔貢であつた。

崔毅は、彼の馬の鞍に結びつけてある生々しい首級を見て、

「お勇いことです。……ですが誰の首です」

閔貢は問はれると、

「知らずや、これは十常侍の張讓と共に、久しく朝堂に巣くつて天下の害をなした段珪といふ男だ」

「さて、あなたはどなたですか」

「河南の校尉閔貢といふ者だが、昨夜來、帝のお行方が知れないので、方々お捜し申してをるのだ」

「ああ、では！」

崔毅は手をあげて奥のはうへ飛んで行つた。閔貢は從んで、馬をつなぎ後から駈けて行つた。

「お探方の閔貢が、お迎へにやつ

て來ましたよ」

崔毅の聲に、藁の上で眠つてゐた帝と陳留王は、夢かとばかり狂喜した。そして閔貢の拝謁するのを見ると、欣し泣きに抱き合つて狂喜された。

帝も帝においたはしきものなり

王また王に非ず

千乘万騎走るなる

北邙の草野、夏茫々

——思ひあはせれば、この夏の初め頃から、洛陽の童女のなかにこんな歌が流行つてゐた。天に口なく、無心の童歌をして、今日の事を豫言してゐたものだらうか。

「天下一日も帝なかるべからずです。さあ、一刻も早く、都へ御遷幸なされませ」

閔貢のことばに、崔毅は、自分の庭から一匹の痩馬を曳いて來て帝に獻上した。

閔貢は、自分の馬に、陳留王を乘せて二騎の口輪をつかみ、門を出て、諸々へ散らかつてゐる兵を呼び集めた。

二、三里ほど來ると、「おお、帝は御無事でおはしたか」

校尉袁紹が馳せ出迎ふ。

又、司隷王允、太尉楊彪、左軍校尉淳于瓊、右軍の趙萌、同じく後軍校尉鮑信などがめい／＼數百騎ひいて來合せ、帝にまみへてみな哭いた。

「聖駕を盛にし、洛陽の市民にも安心させん」

と、段珪の首を、早馬で先へ送り、洛陽の市街に曝し告として、同時に、帝の御座車と鹵簿を布告した。

かくて帝の御車は、郊外の近くまでさしかかつて來た。すると恐ち、彼方の野から旺なる兵馬が殿を立て塞り、一隊の旌旗天を蔽つて見えたので、

「や、や？」

とばかり、閔臣の野從百官、みな色を失つて立ち竦んだ。

寫眞のカメラに
オリエンタル フィルム
龍
パンX
クロームX
引伸には ブライト紙

淋疾

新治療法の確立は國産テラポールによつて始めて完成したのであるが、爾來類似模倣品が續出して良品の選擇に迷はしめるやの感がある。然し

專門 醫家は正しい認識によつて常にテラポールを選用されるから効力の點で確信があり、副作用の懸念も要しない。テラポールの特に優れてゐる點は

効果 が確實と云ふだけでなく治癒期間を著しく短縮し得るので經濟的であり、又速に病苦を免れしめることが治療の眞の使命に添ふものとして

推奬 される所以である。而も單に淋菌性疾患に限らず化膿菌、インフルエンザ菌、肺炎菌、腦膜炎菌、大腸菌其他の細菌性疾患に對し

多角 的の速効を現はすことも從來の藥劑に見られない特徴で、内服によつて急性症狀は勿論、十數年來の慢性症にも良く奏効することは多數專門家の實驗で明である。

—文獻抄録集進呈—

適應症
感冒、扁桃腺炎、中耳炎
面皰、面疔、化膿性外傷
急性慢性淋疾、膀胱炎
睾丸炎、腎盂炎、白帶下
其他化膿性、細菌性疾患……

二〇錠 二圓　一〇〇錠 七圓

テラポール錠

東京市日本橋區江戸橋三丁目
大阪市東區道修町二丁目
第一製藥株式會社

舞臺は廻つて
年廻りも龍の當り年
米内大將が登場
政局擔當者として海軍の切札

【東京十四日發同盟】混沌として混迷の霧深くやうやく政局の最中に敢然大命降下を見た海軍大將米内光政氏は五十九人目の海軍大將で昭和二・二六事件に斃れた齋藤實大將と同じ岩手縣の生れ出身中學の盛岡中學では陸軍板垣、東條兩中將、海軍及川大將等の外変り種では歌人石川啄木等と同窓だつた大將は本年取つて六十一歳年廻りも今年は龍の當り年昭和十一年二月一日林内閣に海軍大臣として入閣したがこの時身は聯合艦隊司令長官の要職にあり同職には一日最後艦隊の閲定で大將は任に就機に出來のため前夜から横須賀に在り急命に接して急遽歸京したのは海軍軍人の生活らしいエピソードとして當時有名だつた、米内さんは明朗闊達飄々的な海軍軍人で無口な點に實に愛嬌ある、で向ふ相手に穏かな氣分へ誘ふ人六尺餘かの長身に盛り切れない元氣が若々しい顔に溢れて何かしら人間的に人を引付かせる魅力を持つ人だといつてゐる意味は自分の若さだといつてゐる酒は斗酒なほ辭せずの飲み手で海軍大臣として初めて七十二議會に出た時は大臣席に坐つて答辯席に姿を現はさず一種行儀のよい大臣として評判になつた、林米近衞、平沼兩内閣にも海相として留任し常に明快な判斷をもつて貫き陸軍と共に、海軍の政局擔當者として秘めたる最大の切札である

大震災　の痛手を背景に米内大將は、その後に際つて再登場し折柄の組閣の際に海軍の正面に全力を挙げたが同年十月の五・一五事件の突發で又も多くの人を失つたとある、その悲しい淵に立つて大將は昭和七年五月の五・一五事件の

海軍宰相の六回目

【東京十五日發同盟】新首相として米内大將が登場したが海軍出身の總理大臣は大正二年山本權兵衞大將が組閣を帯びたのを最初として以來大正十一年加藤友三郎大將同じく十二年再び山本大將、昭和七年齋藤實大將、同じく九年岡田啓介大將に次いだ米内さんは

六回目　の海軍宰相である海軍内閣の歷史をふり返つて見ると初代の山本權兵衞大將は大正二年内閣倒壞後の時局收拾者として政友會の支持の下に内閣を組織したが翌三年四月シーメンス事件で突然倒壞して了つた大正十一年六月にはワシントン會議に全權として活躍した加藤友三郎大將が再び政友會援護の下に登場したが翌

歷史的大事件が絡む
海軍内閣の因緣
米内大將が〝斬〟切るか？

年廻りの後大將は犬養首相が歴史的な最期を遂げた後の混亂時局收拾の大任を負つて登場有名なスローモー主義で二年餘に亙り失つた此相に一種和かな空氣が醸し出してゐたが同九年七月帝人事件の責を負つてあへなく瓦解次いで岡田大將が五回目の海軍宰相となつたが昭和十一年二月の

兇變に　退陣したこの政變は今尚世人の記憶に新しいところであるこのやうに海軍内閣の歷史には歷史上の大事件がつき纏つてゐるやうだが第六回目の海軍宰相に躍り出た米内さんは持ち前の明朗さでこの嫌な因緣を吹き飛して了ふだらう（寫眞は米内大將）

明朗な模範警察官
南支に散つた　榎木茂一等兵

林部隊に属して南支戰線に奮戰兼戰たる武勲を樹して遂に壯烈な名譽の戰死を遂げた故兵一等兵榎木茂氏は嘉義郡所在地台北州警務部に勤務してゐた少年警察官で、實兄一郎氏は現在新竹州東勢郡役所警務課に勤いてゐるが曾つて兄弟揃つて台北州警察に勤め兩親を失くした此の兄弟は世間に稀なる切なき淋しさから人を慰む程の溫良であつた、同氏は亦なかなかのスポーツマンで劍道を始め水泳、庭球、野球等に州内各種對抗試合には盛んに活躍したもので其の明朗な性質は同僚の間に非常な親しみを持たれ將來を囑望された警察官であつた（寫眞は榎木一等兵）

蓬萊丸入港

【基隆電話】商船蓬萊丸は十四日

靜寂な米内大將本新邸
參内の報に兩邸に記者團

【東京十六日發同盟】米内さんの御召、參内にはいつも附物の新聞通信社の自動車群も全く出し拔かれてしまつた、この日大將は朝から澁谷區竹下町二八の自邸から長女フキ子さん(三)とその女婿三反田三郎氏に留守を任せ近く移轉する豫定の麴町區三年町二ノ一の

新邸　に赴いたので御召しの電話も米内さんの居る新邸に引繼がれた譯である、參内の報に兩邸とも記者團に包圍されたが竹下町の自邸では母堂トミ刀自(八)こま夫人(五)青山小學校六年の二男尚志君(一)が奥の間に引込んだきり顔も出さない、米内さんの隣に當る海軍技術研究所勤務の名久井武さんが「主人の言ひつけで面會を禁じられてゐるのでお會ひ出來ません」と

玄關　で記者團の攻撃を防ぐ、一方麴町の新邸は三反田夫妻と慶大經濟學部二年生の長男剛政君(二)、二女和子さん(三)三女中子さん(三)が二階に引込んでこれも絶對出て來ない、米内さんは家族の消息を紙上で派手に紹介されるのが大嫌ひだと、やつとフキ子さんを捉まへると林、近衞、平沼三代の内閣の海相を辭して以來の米内さんは週に二回程海軍省に出向くだけ最近の日常は殆ど家庭の人となりきつて五人の子供達にとつてはまたとなくやさしいお父さん

書道　に凝つてゐる以外には特別の趣味も無く平凡そのものとの話だが

官邸　に入つた大將は一人一階の應接間に入つて沈思、小栗西岡海軍政務次官、石渡元藏相が相次で現はれ大將を圍んで會談、組閣の

南京　最初の發祥地にも似て突如米内大將は宮中を退出したのが十四日午後八時一分、その巨軀を乗せた自動車は疾風の如く坂下門を走りぬけ海軍大臣官舍前にぴたりと止ると大將の車は忽ち新聞記者に包圍されてしまつた、沈着其ものゝやうな海の提督もこの時はさすがに顔面を紅潮させて馴染み深い記者諸君に講談と微笑が交錯する、猛烈な質問攻めにやつと唯一言「組閣本部は此處だ」と正面の赤煉瓦の官舍を顎で指す

五年振りに取除く
新公園入口の鐵鎖
市も認めた市民の公德心

台北市の誇り人もしくもない名物―公園だけは何の心配もなくゆつくり遊べるところにしたいものだとあつて昭和九年の博覽會後新公園内の車馬通行を禁止し制札だけでは心もとなしと東西諸方の入口に鉄の鎖を張つたものであるが實際問題は兎も角として公園の入口に鉄鎖とあつては如何にも文化市民としての公德心がない事をはつきりと物語つてゐるやうなもので誇りベツとしたものではなかつた、園内車馬通行禁止は市民の常識となつて時々不便は感じながらもいつか鉄鎖の事は忘られて〝無用の名物〟となることここに五年、その芳しくない名物たる鉄鎖が紀元二千六百年の正月を期し市民の公德心を嘉賞するかの如く鐵鎖に姿を消した、これは去る十三日夜開かれた市議月例會に於て高井参事が出たのに對し木原市尹も賛成「とりませうと約束して十四日から約束通り取り除かれたもので、木原新市尹の初の手柄でもあり、鉄鎖はまた時局柄無用の長物視されるよりも大いに有用な用途に立つ事を喜ぶものであり最顔を喜ぶ事のやうながら名物姿を消すは街頭のトピツクたるべく五年ぶりに鉄鎖が取り除かれた公園の入口はジヤンプして公園に入る事無用、但し園内の車馬通行禁止は勿論依然たりである

ドイツ果して戰ふか
大場彌平

三、獨軍マジノ線を突破するか

【東京十五日發同盟】畏き邊りでは新年の御祖儀に依り高齡顯官華族等御優遇の思召をもつて八十歳の春を迎へた牧野伸顯伯、有馬良橘、濱野文三郎諸氏に高齡顯官に對し

高齡者を御優遇
顯官華族に宮中杖を差許さる

宮中杖を差許され又他の華族に對しては天杯下賜の御沙汰あり十五日午前十一時宮廷間において松平宮相より夫々傳達した

すでに東方ソヴエトと結び二正面作戰の不利を避け、全力を西方に集中し得るドイツは、しかし如何にして勝たんとするかである。『兵は勝つを貴ぶも久しきを貴ばず』だ、長期戰を有利としないドイツが、マヂノ線を突破し、敵の野戰軍を捉へ、パリに殺倒することは最も望むところであらうが、果して突破の強襲戰に出るであらうか、それよりも重大問題はドイツ軍が獨子艦艇の力を發揮する時、戰術的に防禦不落、絶對不可能といはれてゐるマジノ線を果して突破し得るかである

◇―◇

この問題は、非常にむつかしいことであるが、マジノ線は前後九ケ年の日子を費やし、近代科學の力を集中し、要塞の究極を示すといはれてゐるのであるが、過ぐるチエツコスロヴアキア併合の際、ドイツは堂々相互援助條約を結んだこの國の砲臺から研究に基づく國面を入手し、それを基礎に十分の攻撃の研究を完成し、突破に十分の自信ありと聞えてゐる、即ちいざといふ場合マジノ線をも突破するに足らずとい、否、この自信を持つてゐるらしい――といふ確信を持つてゐるらしいこの自信を無行し得る余勢の整備を準備してゐればこそ突然起つたのであらうだがしかし、これを以てにはかにドイツ軍がマジノ線突破の舉に出づるものと速斷するは過早だ、彼のポーランドを屠つてからこの方すでに三ケ月を経過してゐる、だが今ではポーランドに用ゐた大兵を西方戰場に移し、マジノ線攻略の為めの諸陣形を完了してゐる筈だ、從つてヒトラーにして速斷即決の作戰に出でやうとするなら、もう始まつてもよい頃だ、それなのにまだやらない、それはドイツ軍の戰力が到底なのか、それともやる氣はないのか

◇―◇

そもそもドイツは前大戰に於て西部戰線一九一六年（大正五年）猛烈な火砲と部隊を集中してヴエルダンの大要塞を攻撃した、時既に一九一八年三月と云ふところで、刀は折れ矢は盡き千仞の功を一簣に缺いてしまつた、しかも莫大な犧牲は獨軍の精鋭を失つてしまつたのである、この大失敗がどんな大困難が伴つて來たのも、實にこれに因るのだ、それにも関はらず、獨軍は更に一九一八年最終攻撃の勢を飛び、三月、四月、五月、七月と一回、合計五回に亙る最に攻撃一擲ともいふべき一かばちかの大攻勢を取り、二十五師を十四十師の大穴をあけ、さすが堅固な西部戰線を揺がし、パリの首都を指顧の間に見るに至つたのだが、遂にに「上兵は謀を伐ち、其の次ぎは交を伐ち、其の次ぎは兵を伐ち、其の下は城を攻む、城を攻むるの法は止むを得ざるが為めなり……」と喝破したやうに、獨軍もその鋭に疲れず、戰力を消耗し盡してしまつたのである。その戰力消耗が獨軍の頭上に、これ以上更に攻勢を取れば、到底英、佛、米聯合軍の鐵の抵抗に敵はないと云ふ敗戰觀念を抱くに至つたとき、盲目の獨軍も遂に十萬餘解に陥つたのであつた

◇―◇

この苦い經驗を有するドイツが今度の場合、遂に飛び出してマジノ線の鐵壁に頭突を打ちつけるであらうか、それはやらんとは限らないにしても、今の勢ではもつて然らば瞬間的突入の攻撃とは限らないにしても、今の勢でより、終に前大戰と同樣の戰爭を陥らざるを得ないのだが、一九一四年、前大戰の緒戰一大突進を白耳義の中立を犯して巴里近くまで指揮したドイツは、それが失敗に終るや翌年の一九一五年戰らしい戰ひをせず、只管生産能力の護と軍の擴充に全力を集中してゐるだから今度のドイツも長期戰を覺悟し、急がず、焦らず不敗の地に立つて敵の敗を失はずといふた準備をするものとも見られる、つまりヒトラーの現在の肚は、動かぬの肚と見てよい（寫眞はマジノ線入口）

川村知事初巡視から歸北

去る十二日より羅東方面の初巡視中であつた川村台北州知事は十五日午前十一時四十五分台北着列車で歸北した

内地へ向ふ
白衣の勇士〇〇名

あつた白衣の勇士十六日午前七時五十三分基隆着で台北に到着、これに台北陸軍病院の白衣の勇士〇〇名も加はり同八時卅五分發基隆に向ひなつかしの内地へ歸還する由である

白衣の勇士
十六日基隆より離臺

【基隆電話】内地歸還の戰傷病兵は十六日午前九時二十分基隆驛着同日出帆の〇〇丸にて離臺する筈

午後二時基隆岸壁に着いた、船客は田邊農林省小作官、石川内務省技師、藤原、長谷川日本アルミ重役、三谷台湾セメント取締役、岡田朝世伯等であった　田邊氏談　台北帝大に於て開催される臨業講習會に講師として東亞新秩序の立場から土地問題とこれが對策について講演する筈になつてゐる、それが終つたら南方發展の基地としての現狀をあらゆる方面に亙つて視察して行きたいと思ふ

木原市尹の弔問
十五日戰死者の遺族を

木原台北市尹は十五日午前十時より十二日發表された林部隊名譽の戰死者中左の市内居住遺族者宅を夫々弔問した

大原少尉、渡邊少尉、安田二等兵、川口二等兵、中島一等兵、林一等兵、二ノ方二等兵

身體だけは丈夫です、二十貫も目方があつて私達には何も判りませんがどうかお國のためにうまくやつてくれればとそれだけが無聊りですと伏目がちに語つてフキ子さんは逃げるやうにまた奥の間に姿を消した、新首相の家庭としては餘りに閑寂な然し好感の持てる印象だつた

社會事業に寄附

台北市榮町二丁目榮物商壯前商店主杜自足で商號用の動物網綜を執行したのを機會に十五日朝市役所に動物園費に百円、三ケ所の社會事業施設に對して十五円宛合計百四十五円を寄附した

枯木　吹き揺る深夜の街を一路自動車を驅つて女婿の邸三年町の三反田三郎邸に乗り付け處女の如く記者團の重圍を脱してさつさと二階十疊の間に上り明朝が早いとばかり寢に就いてしまつた（寫眞は米内大將夫人）

第一步を踏出した、海軍の余財室を背つた米内大將がさてどんな組閣振りを見せることだらうか、組閣第一夜八時から午前一時過ぎまで石渡、有田、原田、小栗の四ブレントラストと四時間餘に亙る密議を凝らした米内さん、じはり腰をあげると

在庫米の調査
消費米の需給円滑の爲

台北州では昨今たほ消費米の一部に需給不円滑が唱へられてゐるので今後管理米並に消費米の出廻りに對する根本策樹立の必要上十五日より州下關係機關を動員し州下一齊に在庫米の調査を開始した

遺家族の心の糧に
記念文庫を建設
軍事援助後援會へ寄附續く

督府學務課長に榮轉した前台北州森田内務部長は轉任に際し台北州軍事援助後援會に金百円を寄附したので係員は感激受理したがまた元州知事廣田伯治郎氏は去る一日同後援會經營の戰死者遺家族住宅廿四戸を夫々訪問し心から慰問激勵の辭を述べ後援會に對しては今後遺家族の心の糧にもと記念文庫建設費として金二百円を寄附したのでこれまた喜んで受理した、廣田元州知事は在任中に自分で軍事援助後援會を設立し廿四戸の遺家族住宅建設も計畫してゐただけに同會の發展並に遺家族住宅が精神上の安定を主眼として種々事業を行ひつつあるを見ては感慨まことに深いものがあつた筈であるが廣田氏の寄附をうけた後援會では同氏の意を體して早速計畫にとりかゝり圖書の選擇は山中圖書館長に依頼した、先づ差し當つて遺家族の精神教育に必要な圖書百六十八冊を購入して住宅地中心の俱樂部に備へ付ける事になつてゐるがこの文庫を基礎にして更に圖書の數も増加する豫定でこの際一般篤志家による新古圖書の寄贈方も大いに希望されてゐる

籾殻灰の不始末から火事

十五日午前五時十九分新莊郡鷺洲庄三重埔字菜寮一番地大發商行こと林文欽の假事務所から發火、消防ポンプ二台、警察官、壯丁團、保甲民等約四百名出動して消火に努めた結果一戸一棟（三十坪）を燒いて同五十九分鎭火した、原因は三重埔七の邸仙助方雇人陳京が同事務所裏に棄てた籾殻灰の不始末に因るもので損害は家屋約千円、原從其他約一万円に上る見込

感電して大火傷

台北市下奎府町四ノ二八台電營業所外線係工手李沙(二〇)は十五日午前七時半ごろ松山火力發電所西方百五十米の地點にある四號電柱の架線換工事中過つて無停電の赤線に右足を觸れ全身感電大火傷を負ひ、直ちに赤十字病院に入院せしめたが生命覺束ない模樣である、尚同事件は過失による災害ではないかと北署小澤係部補係が兩係者につき取調べ中

りて實施される本島人義務教育制度を中心にして昭和十五年は極力これが準備に當り實施に當つて万遺漏なきを期する事を申合せたものであつて就學步合學級編成豫算等の實際問題について種々熱心に協議を行つた

機械に觸れて即死

十五日午前六時四十分頃台北市馬場町八四王日水(三七)は同町七七鈴木アルテックス工場に於て製紙作業中機械に觸れて即死した

セドフ號の乗組員無事

【モスクワ十三日發同盟】千九百三十七年以來約二年六月間魔の北極洋を漂流觀測任務に當つてゐたソ聯碎氷船セドフ號は若闘氷塊に閉ざされて遭難乗組員の安否が氣遣はれソ聯北極洋水路局では碎氷船スターリン號を現場に急派しセドフ號救助に全力を逐げてゐたが十三日スターリン號からの報告に依れば同號は十三日正午過グリーンランド及びスピツツベルゲン間でセドフ號を發見乗組員全部無事と云はる

ソ聯艦隊移動

【ローマ十二日發特約電報】モスクワ來電、ストツクホルムから入手した情報に依るとクロンスタツト港に集結されてゐたソ聯艦隊はラトヴイヤ相互援助條約に依り海軍基地としてソ聯に割譲したリバウ港に移動されたと云はれる

州、視學打合會

台北州教育課では十五日午前十時より明石町の州會館に於て廣谷内務部長、德永教育課長、林視學官はじめ關係係員臨席、州下各市郡教育課長、視學を招集して視學打合會を開催したが昭和十八年度よ

今夜の放送

△六・〇〇ラヂオスケッチ(秋田)「雪國のこどもたち」秋田縣拂戶小學校兒童ＵＫ寸作會△六・二五講演(臺北)「司獄上人の御教へを語る」杜宏碩心△七・〇〇ハーモニカ合奏(臺北)「バグダットの酋長」他五曲臺北工業學校ハーモニカバンド△七・三〇國民歌謠(東京)「英靈讃歌」合唱アイラ・ユール伴奏東京放送合唱團△七・四〇講演(東京)「通商條約問題をめぐる日本經濟の展望」山田文雄△八・〇〇浪花節(上)神田ろ山△八・三〇ラヂオ時局讀本(東京)「私達の戰時生活」(上)八・四〇落語(東京)「初夢」桂文治△九・〇〇府縣めぐり(宮崎)「宮崎縣の話」日向國光△九・四〇ニユース解說(臺北)

あすの天氣

臺北地方（今晚東の和風晴後曇/明日南東の和風晴後曇）
北部地方　南東の疾風曇後雨
東部地方　北の和風雪一時雨
西部地方　北の和風晴
南部地方　北西の和風晴
澎湖地方　北の疾風晴後曇

概況（十五日）七八六粍の高氣壓はバイカル湖方面にあり南東に移動し内地の天氣は日本海岸が雪他は晴北海道樺太は晴又は曇鮮は晴沖縄方面は晴又は曇本島は東部が曇臺北新竹が雨他は晴北海は北東の和風又疾風晴又は曇波穏であります

映畫と演藝

◆大世界館　畫十一時より
1ペテー・ニユース　午後二時二〇分
2商船テナシテイ　…
3濱人間（後篇）…
4にんじん　…

◆芳乃館　晝一時上映
1臺日ニユー・短篇　午後…
2子寶　…
3大每ニユース・漫畫　…
4笠森おせん　…

◆國際館　晝十一時上映
1たのしきカンペイ君　午後…
2春場所大相撲日報NO1　…
3白蘭の歌大會　…
4（ナイトショウ）大相撲日報　文化映畫　ニユース　…

◆タイゲキ　晝十二時上映
1臺日ニユース　午後…
2夕燒富士（後篇）…
3花嫁設爭　…

◆新世界館　晝一時上映
1殺火部隊　午後…
2ペテー・ニユース　…
3加賀百万石　…

◆第二世界館　晝一時上映
1鬼面三日月…
2生活の勇者　…
3千兩判官　…

◆榮座　午後四時卅分より十時卅分まで
1春式三番叟2忠臣藏女夫松3大福公愛宕井4心中天網島紙屋治兵衞5増補巣鴨記阿古屋琴責の場

寒さを、防げ！
婦人良藥　喜谷實母散　産前に産後に
寒さ防止め一次として三百年來の信用ある喜谷實母散は温め、冷込みの豫防と治療にはなくてはならぬ古今の名藥です！

臺日案內

醫院　X光線設備　新兒科内科　小林醫院　臺北大和町二ノ二
性病科　永吉醫院　西門市場東

內地土產　ジャボンと白柚　矢野商店　臺北市本町

寫眞　印畫紙日ノ出　DDA　臺北市榮町

金融　電話債券　商品券　臺北市

洋服　新型カメラ續々入荷　臺北市榮町二丁目

ラヂオ器械　婦人服地　臺北市末廣町

ラヂオ十ケ月月賦販賣　放送局指定　臺北市本町

食料品　ラヂオは中川　臺北市本町

藥種商　フグの糠漬　名產

喘息にワンカ　臺北市

肺炎特效藥　チルゲン

梅肉X　…

樂器　淋病新藥コクチーデ　…

ピアノオルガン　古賀　臺北千歲町

雜件　子供オーバ　村井商行
風味の良い平戸の搯味噌
基隆名物　平戸のかまぼこ

喘息に劇的な今津博士は酒煙草、胃腸病、腎臟病、中風、心臟病、神經痛、高血壓の原因を根本的に研究した結果……血液の濁りを除いて循環を良くして……今津研究所へ照會なく……大阪市阪急梅田電氣北一四五

特許　商標　辨理士　岸喜鑑　臺北市

家屋修理專門　大工　臺北本町

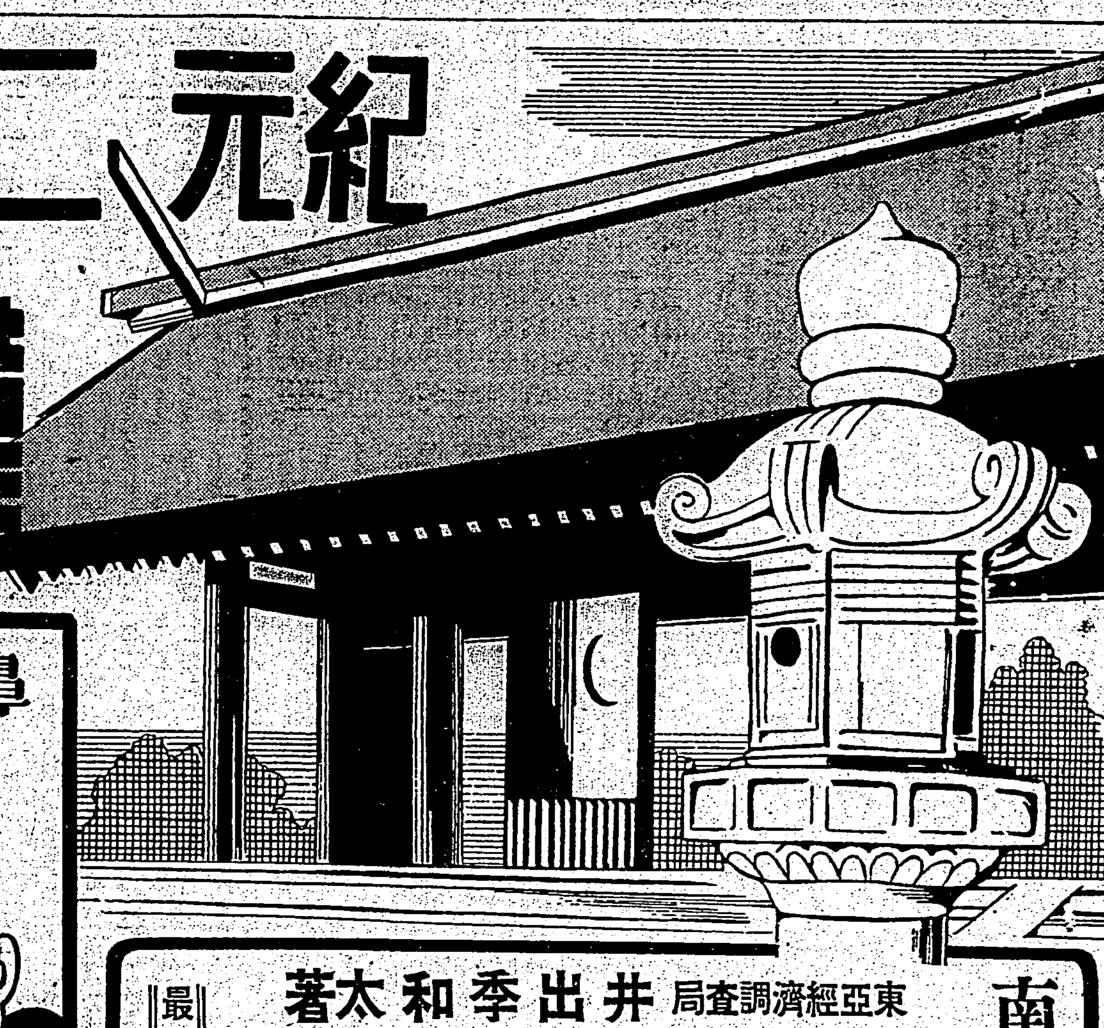
冷藏庫　製作修繕　八木

痰と咳に…… コフシロップ　COUGH SYRUP　本位　效果

感冒　流感　頭痛
BAYER
バイエルアスピリン
今ゃ本格的需用期!!
引續き本品の御愛用を乞ふ
2錠(0.29)、5錠(0.70)、20錠(1.82)
»Bayer«　バイエル藥品合名會社　AS.56

紀元二千六百年

謹賀新年



今年こそ健康の確保

造血活力原

お茶牛乳に溶けて非常に美味しく・而も直ぐ身について血となり細胞となり大人も子供も大變喜ぶ

造血成分と肝油の榮養力價とを全然肝油臭なき吸收佳良のコロイド狀に合成した鐵肝油は、新陳代謝病人などの弱い胃腸にも何の障害もなく造血と強壯効果で細胞を強め抵抗力を増強し寒さ風邪知らずの活力體とするので健康は鐵肝油からと大評判です。

貧血冷え性の人・風邪を引易い人・病弱で發育悪い御子様・産前産後や病後の人

¥1.80　¥4.80

おいしいコロイド性

滋養 鐵肝油

專賣特許

發賣元　東京・深川・佐賀町　合資會社 工藤商店藥品部

鼻の悪い人は必ず頭が悪い

●手輕に治したい方へ無代進呈

鼻が詰る人、年中鼻汁が出る人、鼻が乾く人、頭が常に重く鈍痛を覺える人、物の香のわからぬ人、不眠症の人、物覺え悪く物忘れの甚だしい人等、鼻の病でお困りの方は濱ドクトル新發見の最新治療法を御一讀下さい、鼻病の治療には何んな療法が一番よいか、鼻病の見分け方、治し方、頭腦明快の秘訣等親切丁寧に説かれてあります。希望者は「台日」で見たと記し、ハガキで東京日本橋區呉服橋三ノ六ミナト製薬東京營業所へ御申込み次第即時無代進呈いたします。「ミナト式鼻療法」は絶對、中途せず一日僅か五錢位で簡單に治療出來ます。全國藥店に有り

南進日本の第一線に捧ぐ名著!!

東亞經濟調査局　井出季和太著

最新刊

南支那の産業と經濟

法學博士大川周明先生の推薦序文に曰く……

「本書の著者井出季和太氏は多年臺灣總督府に於て支那研究の要務に從事せる支那研究の専門家である。その多年に亘る南支研究の一端が、氏の「南支那の産業と經濟」である。福建・廣東の精細なる事情に關する著書が殆ど皆無とも云ふべき時、此書の刊行は喜ばしくある。吾等は日本の南支政策に對する貴重なる参考書として此の書を推奬する」と。

本書は官廳・銀行・會社・學校等の必備名著である。貴重な寫眞と地圖を豐富に收む。

定價四圓五拾錢　送料廿四錢

（四六判・六七〇頁・函入・美本）

（出版目録贈呈）

東京市日本橋區呉服橋
株式會社 大阪屋號書店
振替東京壹參七五番

大正海上火災保險株式會社

營業科目

火災保險
海上保險
運送保險
傷害保險
自動車保險
航空保險

本店　東京市麹町區丸ノ内二丁目
支店　大阪、神戸、名古屋、福岡、新京
出張所　仙臺、京都、金澤、姫路、岡山、廣島
代理店　三井物産支店、出張所、其他各地

本店　東京市日本橋區馬喰町一丁目
合名會社 櫻井大二郎商店
電話浪花五〇〇〇番―三
振替東京四一〇番

出張所
大阪市東區南本町二丁目
電話船場五一六〇番
振替大阪六三三五〇番
上海虹口斐倫路一三九
電話四五〇六五番
振替大阪四六〇九番

呑過ぎにホシ胃腸藥

「健康は健全なる胃腸から」健全なる胃腸の人には病氣が寄り付かない。弱い胃腸を持つた程不幸なことはなく、日に三度の食事も美味しく食べられない。人並の働きも出來ない。樂しい家族生活も出來ない。胃は健康の基礎であり、それはホシ胃腸藥の服用により常に健全です。

主治効能　胃痛、食傷、溜飲、吐瀉、胸やけ、消化不良、食慾不振、胃酸過多等

東京西大崎　星製藥株式會社
臺北大和町　星製藥株式會社臺北出張所

國際號

最優秀車！
輿望を擔つて立つ

自轉車

合理的組織と優秀技術から生れる
東京製代表車！
（美麗型錄進呈）

株式會社 東京自轉車工場聯盟社
東京・神田佐久間町

最新 健康と若返りの爲めに

オオコンソリシオン
妊産婦小兒用
コンソリシオン

東京 日本水産理研

日本水産理研臺灣支所　臺北市北門町一丁目　電話四六〇四番
日本水産理研臺中營業所　臺中市橘町一丁目四番地　電話二二八七番
日本水産理研高雄營業所　高雄市榮町二丁目一番地　電話三〇二五番

臺灣興業株式會社

取締役會長　田中榮八郎
取締役社長　松本眞平

本社　臺灣臺北州羅東郡五結四結
東京出張所　東京丸ノ内丸ビル五階
洋紙類　臺灣一手特約店　臺灣日日新報社商事課

東京支社扱

羽獅子印　印刷材料
各種印刷用インキ　印刷機械

東洋インキ製造株式會社

顔料　染料　藥品類

東洋化學工業株式會社

東京市京橋區京橋二丁目六番地

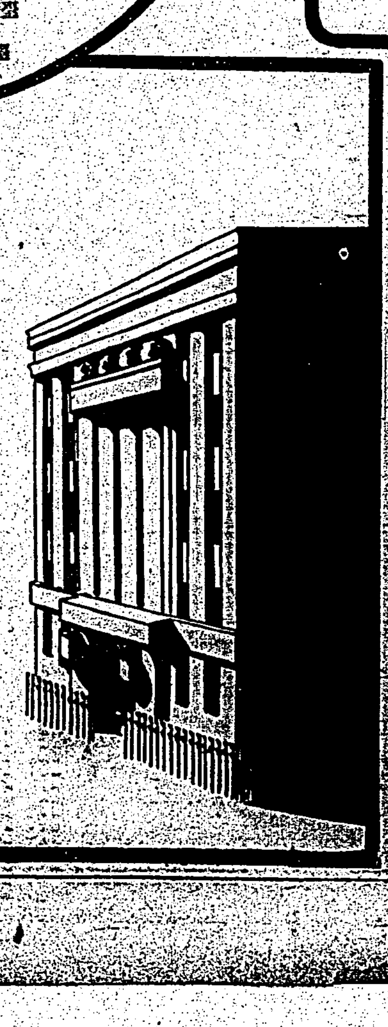
出張所　大阪　廣島　名古屋　京城　上海

臺灣出張所　臺北市壽町一丁目二番地　電話五貳七壹

株式會社 博文館

社長　大橋進一

東京市日本橋區本町三丁目



臺灣青果總賣捌元 昭和青果株式會社

東京市京橋區築地町五丁目一番地
東京市中央卸賣市場築地本場
電話銀座57四九二三番
電信略號（トケ）文ハ（ト）

馬に乘る猿 (50)

石川達三作　伊東顯畫

身邊多事（一）

河面をわたる風に初冬の匂ひがあつた。隅田川は上げ汐のなかに浮かんで靜かな水面に影を映して、遠くの方へ立つ三つの鷗の姿や、ぼりとからからと鳴る汽艇をうつしてゐた。

ここに重役たちと會合すること十數たびにして、武藏大合同はやうやく假調印にまで運んで來た。千久馬の二人は明日の朝までにかけつけて來て、五つの市營會社の社長や重役たちが明日の午後から假調印の會議をひらく豫定になつてゐた。

竹下はそれに先立つて一日まへから隅田橋へ出かけて行つた。特に急いで來た理由は、ふみ子からの手紙に、からだ工合が惡くてこの二三日臥について居るとあつたからである。

落日が河水を赤くそめてゐた。欄干は館の半面を夕陽に照されながら隅田橋の女將に車を乘りつけつかつかと案内された部屋に通つたが、帽子を投げ出すと同時に女中にむかつて言つた。

「ふみ子は病氣かね」

「はい、二三日休んで居ります」

「うん。惡いのか」

「さあ、どんなでせうか、よく存じませんが……」

竹下は默つて部屋を出ると、長い廊下をわたつて奧の離れの帳場へ行つた。女中頭のお粂さんと番頭の兵藤老人とが帳づけなどをしてゐた。

「あのなあお粂さん、ふみ子が病氣だそうだが、ちよつと見舞ひたいでな、どの部屋に居るかね」

兵藤老人の方がかういふことには氣がわかつてゐた。すぐにお粂さんにふみ子の部屋を片づけて御案内するやうにと言つた。

夕方の忙しいときであつたから女中部屋は人氣が少くて、隅にかけた錦山の錦繪から流れる女たちの疲れた體臭がこもつてゐた。ふみ子は壁に添うて床を敷いてゐたが、急いで起き上つたものらしく着物を引つかけて床に坐つてゐた。

「どうした」と竹下は床の隅に立つた。

お粂さんが傍から

「何ですかこの二三日食欲が惡いと申しましてねえ。何をすすめても一向に食事が通りませんので心配して居りますが……」

「ふむ、それはあかんな。醫者の

……變り目だで、疲れでも出たんだらう」

お粂さんは氣を利かして廊下へ出た。

ふみ子は蒼白い亂れ顏色も寂ざめて、彼を見上げる表情にも力がなかつた。すると竹下はこの小柄な十九歳のいたいたしい弱り方に心を打たれた。彼は默つて小聲になつた。

「おまへ、ここに居てはほかの女中たちに苛められるんではないか」

「いいえ、そんなこと有りませんわ」

「うむ……どうだ、ひとつ病氣休養といふことで伊豆の溫泉へでも行つて、一二週間ゆつくりして來んか。このうちには俺が交渉して休みを取つてやるで」

ふみ子は一向にはきはきしないで顏を伏せたままであつた。醫者の藥が枕許にあつた。

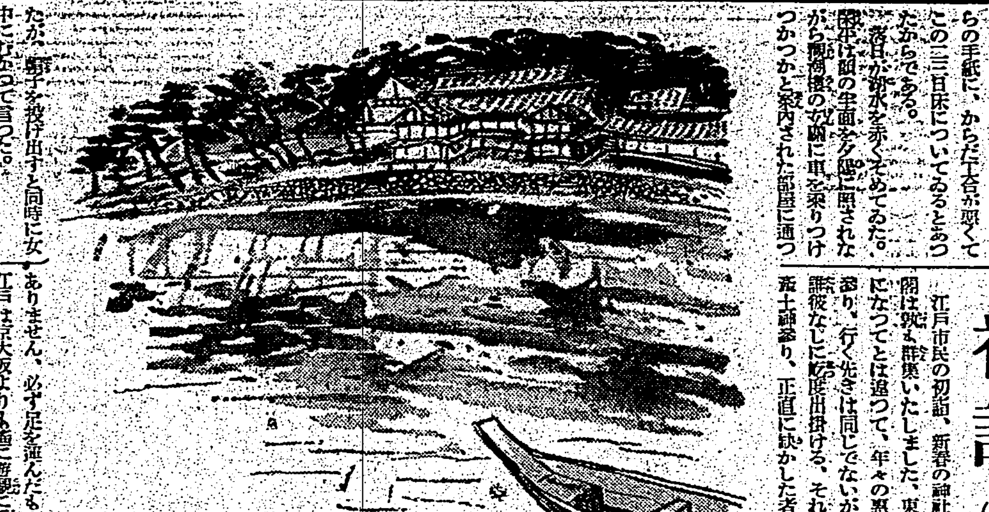
「醫者は何だと言ふんだね」

それにもふみ子は答へなかつた。竹下は妙にいらいらしく默りこめたおももちであつた。すると廊下で二人の樣子を伺つてゐたらしく、お粂さんが障子のかげから呼んだ。

「あの、旦那さま、ちよつと……」

「うむ？」

用事あり氣な女中頭の態度にさそはれて竹下は廊下へ出た。するとお粂さんは帳場のわきの應接間に彼を案内して、若い女中に紅茶を持つて來させた。彼女はなにか話がありさうな氣配であつた。



初詣（上）

三田村鳶魚

江戸市民の初詣、新春の神社佛閣は非常に群集いたしました。東京になつてとは違つて、年々の惠方參り、行く先きは同じでないが、誰彼なしに惠方へ出掛ける。それに五十稻荷參り、正直に缺かした者もありません、必ず足を運んだものです。江戸は京大阪よりも遙に遊覽に乏しいところ、遅く開けました土地だけに、都市計畫も忙しかつたので、不足してゐる天然を補充する暇もなかつたらしい。でも都市といふ都市が新年に神社佛閣の壯大嚴な雜踏を見ず、只それのみを賑ふとしてその土地の樂しさを誇らうとしてをりました。それだけが都市の遊覽でございましたから、市民の遊覽を他所に求められない。山河の風趣を持たない江戸では、是非とも遊樂が神社佛閣の附近で營まれます。されば言ふまでもなく、法要、祭禮、佛事が民衆の娛樂に仕向けられる段取りになつてもまいります。江戸の中頃を過ぎましても四里四方の境域とは申しながら、正味で申せば三里四方はございますまい。狭い市域に住んでをります市民は、散策といふものに縁が遠く交通機關の話にならない時分ではあり、努めて往く日も來る日も踏踏つて暮してゐなければなりません、氣晴らしにノンビリと散策などいふことは、八百八町のどこに行はれてをりましたら、一夜あけての元日とは違つて、寒いと咲かない今日とは違つて、寒いとはいひながらも大陰曆のお正月だけに、早梅は香高く咲いてをりました。臘梅の馥郁、五十稻荷參りといふ中にも、惠方參は段々と足長になりまして半日掛り一日掛りといつた安樂に成行く、從つて誘ひ合つて一群をなし、酒盛のめしに押出すやうにもなり、群集を目當てに邊鄙な處に茶屋小屋も張える有樣、田舍とはいへ名高い料理屋も出來ました。それも其筈、番頭等を連れ、取巻を率ゐた旦那衆が、お供にホロ醉の顏を野風に吹かせて、いい心持のブラリくが、珍らしくもなかつたのです。惠方參で一番賑かなのは、湯島明神、芝神明、深川、市ケ谷御嶽門、この三箇所の八幡でしたが、惠方參りは年々で場所に違つても、大分に足は伸びます。しかし元日だけに沿り掛けといふのはありません。汽車も電車も自動車もない時分ですから、誰にも自分の足を運ぶので、半日掛り一日掛りと申しても、往返の里數は知れたもの、場所によつて屋根船と洒落ないでもないが、この速度は人間が早足で歩くほどのもの、鈍間にしても人の足で見れば、万事お察し下さいまし。交通が不便であつても、兎角に新春の足を市外に運ばれるわけは、前に述べた通りなのですから、今日でも合點がゆきませう。

將棋高段者對抗戰　本社主催

香落　七段　溝呂木光治
▲五段　加藤治郎

【第九局の十三】（圖は九七步迄の局面）

溝呂木持駒　步
▲加藤持駒　角香步

▲□□桂成（三分）　△同　銀（一）
▲九五步（一）　△同　玉（一）
▲八二角（一）　△六六桂（一）
▲六七玉（一）　△五八桂成（一）
▲七五角（九分）　△六六金（三分）
▲五八玉（一）　△七七玉（一）
▲八四角（一）　△九六玉（一）
▲八八桂（一）

迄にて加藤氏の勝
總手數百四十二手
持時間各九時間
消費　△二時間二十四分　▲六時間八分

加藤五段に凱歌擧る

【解說】八段　金易二郎

棋戰も愈々本日を以つて終幕を告げる。加藤氏の八二桂の妙込みは、僅かに勝ひ止め役を果し得た西軍の面目に、万策の雪辱を誇ることが出來るのだ。溝呂木氏の投了を見る瞬間、ほつとした面持に變へた、やがて、にんまり笑を浮かべ、お茶を侵迂の顏もなんとなく晴やかであつた。

溝呂木氏六六桂打を八六桂では、八五銀打、同桂、同銀、八七玉、六八玉、九六玉、八四銀、八八と七六角打の詰が生じる。

【總評】本局は駒割上手方、序盤にかて自己の陣營に拘泥し、九筋の位を讓つて、手順を左翼の戰鬪に偏へんとせし逡巡であつた。加藤氏に、此のまま行つたならば、必ず後に得るところありとの確信を持たれたのは、大きな損失と云はねばならぬ。第一局目一八飛に、上手四一角と引き、浮飛を敢行して、一步を捉らせた、第三局に、ヒラメク、寸隙に惡着を試き、二四步の失着を下した。加藤氏に六八銀の名局策を講じられ、上手敗着困難の棋勢に陷る。されど未だ駒損なく形に捉はれず、一筋の防壁に務めなば挽回の餘地ありしに、一三桂と焦り出し、完全に柱指導されるに至つた、以下双方秘術を盡して戰つた、第七局まで渋滯なく着々進められ、上手方これ以上惡くなる指方は、桂損の圖体上許さるると見たか、突然九四步と玉頭攻撃に逆襲策を採る。これが適中功を奏し、茲に、時勢合となつた、第八局に於いて上手又も八四香打が卒九に流れし爲、万策盡きの狀態に陷つた、その際前を八筋に襲し、九八步打の味を含みなば、棋勢に形勢一變すること無かつたであらう。加藤氏一局の姿着きを見せ、金桂の活躍舞台にある駒を活かして、ジリくと押し進む姿態は天晴であつた。かくして上手入玉に望みせず、然し後に目的治せず、刀折れ矢盡き敗れたのは遺憾の棋局であつた。然して東軍の連勝溝呂木氏敗る。西軍加藤五段を送り引退き氏の永路を消替して筆を擱く。

木村名人講評

上手九五角と角を讓替の防戰では一時凌ぎで万事休した、上手五八成桂を其後七五角から八八桂迄の寄せは順當である。この將棋は上手が肝腎な序盤に一二飛を引つたのと二四步と自分から疵を招いて桂損となり、これが最後まで祟つて中盤からはどうにも仕樣がなかつた。思ふに九六步に九四步を突くべき所で、敵の攻め忍耐させて置かず、危嶮なく押切つたのは、氏の將棋の根柢を見せた七二銀の手抜きに、氣分の若さが感じられて居た。この時既に勝負となつて居た。加藤氏が桂得を正攻法の將棋といふべきであらう。

東西大歌舞伎　十四日から榮座で開演

（寫眞は風聯德、市川右田次一行）再渡台の挨拶をなした

御馴染の東西大歌舞伎風聯德、市川右田次外一行八十餘名は十四日蓬萊丸で來台午後四時より台北榮座で御目見得狂言播州皿屋敷式三番叟、忠臣女夫松、大和心樓非數、心中天網島、堀浦呢具記等の十八番物で豪華な幕開けをなすが一行は十五日午前十一時半本社に來訪

今週の映畫

花嫁競爭　十五日からタイゲキ

監督は佐々木康、撮影は野村昊、出演者は桑野通子、花房ヒロ子、坂本武、横山準、三浦光子、木暮實千代、夏川大二郎、吉川滿子、山内光、細川俊夫その他一流俳優—全國高女卓球大會に東京を代表して松原千代、神奈川を代表して星野精子等が參加し、結果は、松原、星野主將同士が優勝爭をし松原千代が優勝した。そして數年後、千代は親友の春江と共に根室商事の女事務員となつた。千代には根室商事の社長である皆吉との意識な結婚に必然的に伴ふ階級の苦しみがあつたが、親友の春江に力づけられ乍ら仕事に勵んで居た。或る日突然千代に父親の自動車事故が報せられた。千代の父親辰三は、トラックの運轉手であつた。衝突した相手は神奈川で名家の星野家の令嬢精子だつた。彼女は今父根室龍吉の許婚として千代には悲しい思ひ出となつたのであつた。併し、此の災難で精子は生れもつかぬ不具の身となつてしまつた。辰三は責任感から遂に病床にすすみ死亡し、父の意を我が身に負ひ前吉の許を去つた。緣で千代に女の子が生れた、愛兒百合子の爲に千代は酒場の女給となつて働いた。此の不幸な千代、百合子母子の眞實の友は、父の生前よりの知人であり、千代を陰ら心から案じ乍らも守つてゐる自動車技師梶原と、春江だけであつた。千代の話から前吉と精子が結ばれ結婚生活四年——、愛が行く春江の退社に依つて、始めて千代母子の消息を聞き出した前吉は、過去の秘密の總べてを精子に告白した。精子は、千代の誤解を持て前吉家へ引き取られて行つた。だが生母千代を慕ふ幼兒百合子の純情に打たれた精子は、千代に彼女の愛兒と共にその父である前吉をも讓らうとした。併し、情にはまれ愛理に強い千代は、精子の再びその幸福を返す爲、梶原と新しい生活を送る爲に澁りへべく旅立つた。同時上映は高田浩吉主演の夕燒富士松戰丸である

花つみ記　十六日から國際館

石田民三の演出、山崎一雄の撮影、出演者は高峰秀子、清水美佐子、葦原邦子その他—大阪の色街、宗右衛門町の藝妓屋の一人娘篠原榮子は明朗な少女だつた。榮子の學ぶ女學校三年のクラス受持の梶山先生は「美容」といふ名の通り勉强し先生と樂しい盤で不役生の崇拜的だつた。榮子のクラスに東京から轉校して來た佐田みつ子と榮子は仲良しになつた。みつ子の母はクリスチャンでみつ子も榮子に天國の話をさせた。二人は梶山先生の誕生日に二人で鉢掛をプレゼントしようとしたが、當日榮子は約束の時間に先生宅に行つたが、その時鉢掛の外にフランス人形を贈らうと思つて持つて行つたのをみつ子は榮子が自分をだし拔いて一人で先生に贈物するものと誤解してしまひ絶交すると言つて居つた。それから二人は口をきかなくなつた。それから間もなく榮子は退學し舞妓になつた。みつ子の兄が召集されたことを聞いた榮子は病氣にも拘らず千人針をつくつてくれと頼んだ。兄を見送つたみつ子は榮子の友情を知つた。同時上映は入江たか子と高田稔の「まごころ」と大相撲春場所の科學的等である

日本の劇映畫初公開　ヴエノスアイレスで

【ヴエノスアイレス發同盟】約六千餘の同胞が活躍してゐるアルゼンチンに遙々太平洋を越えて日本の劇映畫が初めて紹介された。それは松竹映畫「淺草の灯」を日活合作のオリエンテ・フキルムが「東京の戀」の題名で西班牙語の字幕を附し十一月廿九日ヴエノスアイレスのレナシミエント映畫館で公開されたが頗る好評を博しラ・プレンサ紙以下各新聞紙は筆を揃へて激賞、時代劇は諒解し難いが現代劇なら一ケ月に一本は是非輸入したいと當地住民の希望を報じてゐる。尚在留同胞達は日本のニュース映畫を纏めて見たいと熱望してゐる

海外映畫短信

△ユニヴアーサルは一度中止したシャルル・ボワイエとデイアナ・ダアビンの顏合せ映畫のプランを復活し製作者ジョー・パスターナツクの命でブルース・マンニングが脚本の執筆に着手した

△パラマウントは新年度にクローデット・コルベールの主演映畫一本製作の交渉が成立した。豫定作品はドリス・アンダーソンが目下脚本執筆中の「毛皮に包まれた天使」である

△廿世紀フオックス四〇年度の大作タイロン・パワー、ドロシイ・ラムーア主演「ジョニイ・アポロ」は「惡魔と踊る」と改題した

△エドワード・スモール・プロの四〇年度最初作は「我が子よ我が子よ」はマデリン・キャロルとブライアン・エーハン、ルイス・ヘイワード主演でチャールス・ヴイドア監督が撮影を開始した。これは最近英米文壇のヒット作と呼ばれてゐるハワード・スプリングの長篇小説の映畫化である

△RKOは一九二〇年にノーマ・タルマツヂ三年にメリイ・ピツクフオード主演で製作された「キキ」を再映畫化する事になつた。監督はガーソン・ケインだが主演者は銓衡中

商況（十五日）

株式　米内大將歡迎で手堅い

兜町前場況

【東京十五日發同盟】政局安定氣分と米内大將歡迎氣分から材料含みのものを中心に手堅い成行を示したが兜町の決定、政策遂行等を罩で機構的の買ひ直しを見る空氣に依つて圏内を脱し兼ねた振合ひで買に新東に依り一應の安定氣分を表明した程度であつた。短期新東は休日前の西高と相俟つて百四十九円四十錢と一円十錢に寄付、ア十強れ甚理に百円台の小浮動に推移し、長期東株は出來錢安だから新九十錢高と半整な動きであつた

東京銀行實株

日銀	五七四、〇	同新	四二四、〇
正金	二一三、二		
鮮銀	一三八、〇	同新	五七、〇
臺銀	一五六、五	同新	一二六、五
興銀	九七、八	同新	三二、六

東京國債前場

	寄	引
甲五	一〇六、〇〇	—
二、五	一〇六、〇〇	—
一、四四	一〇三、五五	—
二、四	一〇三、五五	—

東京短期前場

	寄	引	高	安
東新	一四九四	九〇	九七	九〇
大新	七七八	八〇	八〇	七八
鐘紡	一八三五	一	三七	一
鐘新	一二三四	一九	三三	一七
帝人新	一二二三	三三	二五	二五
東レ新	九八八	八四	九九	八四
日魯	七八九	八六	八九	八六
日鐵	九二一	二三	二五	二一
郵船	一〇二四	二六	二七	二四
郵新	八七〇	七〇	七三	七〇
重工	一一七四	六九	七四	六九
日石	八三〇	二九	三〇	二九
日立	九七六	七六	七九	七六
日産	八二〇	二〇	二二	二〇
鋼管	九五八	五八	五八	五五
小倉	九〇九	〇九	一〇	〇九
東電	六六四	六二	六四	六〇
滿鐵	七七〇	七〇	七三	七〇
北炭	一〇八	四五	四五	四四
日糖新	—	—	九二〇	二〇
製糖	—	八六	六八	六五
日曹	七三六	三五	三八	三五
麥酒新	—	〇五	〇六	〇三
水産新	六〇九	一〇	一六	〇九
ラサ	八二九	—	三〇	二八

東短取組喰合

新東　三二一、四一〇株

東京長期總取組

新東 兩建株數	一六七、五一〇株
賣方 二五店	買方 五九店
滿菜 四一、〇九〇株	
賣方 四三店	買方 四五店

大阪短期前場

	寄	引	高	安
當限	一、二二四	七八二	三二〇	五四〇株
中限	三五七	三三〇株		
先限	三六四	〇八〇株		
合計				
商船	一〇二二	二二	二六	二二
郵船	一〇二六	二九	二九	二三
日魯	七八八	八六	八八	八六
水産新	六一二	一六	一六	一二
日石	八三〇	二七	一	一
日立	九八一	七九	八二	七九
鋼管	九五九	五六	一	一
倉紡新	六八四	一	八五	八四
帝人新	一二二六	三一	一	一
東新	一四九四	九〇	九七	九〇
東電	六六〇	六二	一	一
宇電	一	四七	一	一
東株	一〇七三	一二三	二二三	二二三
空業	一〇七三	七三	八二	七〇
日曹	七三四	三四	三六	三四
滿鐵	七六八	六九	一	一
東レ新	九八六	九〇	九〇	〇六
日鐵	二〇四七	〇七	五二	四七
東紡	一二〇七	四七	四〇	二七
鐘紡	一八三一	三五	三五	一九
鐘新	一二三一	一九	二五	一九
ラサ	八二八	一	一	一
日産	九二一	二二	二三	二〇
大株	一八	一六	二六	二六
大新	七七六	七七	七八	七五

大阪長期前場

	寄	引
大新	七八八	八八
東新	一四九九	五〇二
鐘紡	一八四五	二七
鐘新	一二三五	四八
帝人新	一二二五	三五
東洋紡	一二四三	三五
東洋新	一	一
日魯	四九八	九九
日新	一〇三八	一
商船	七七六	七〇
商新	一	一
郵船	八九三	九〇〇
郵新	四七五	三三
日鐵	一	〇四〇
日新	六三一	三三八
日石	八四三	一
北炭	三八三	八三
宇電	一	四八五

大阪棉花前場

	寄	引
一月限	七四、三〇	八四、一〇
二月限	七六、三〇	一
四月限	八二、五〇	一
三月限	一	一
六月限	八六、三〇	八六、二〇

横濱生絲前場

七月限	八八〇
一月限	二〇、〇〇
三月限	二〇、〇〇
四月限	二〇、一〇
五月限	二〇、〇〇
六月限	二〇、〇〇

神戸爲替

期近 對米	二三弗三三
對英	一志二片
期近 對米	二三弗二六

正金建値

對米	二三弗一六
對英	一志〇二片

島内現株相場

	掃込	中値
臺銀	一〇〇・〇〇	一五五・〇〇
同新	七五・〇〇	一二六・〇〇
同 新	五〇・〇〇	九七・六六
同 二新	一二・五〇	三二・八〇
同	五〇・〇〇	七三・五〇
同 工銀	二五・〇〇	三七・五〇
同 二新	一二・五〇	一九・〇〇
商工新	五〇・〇〇	五九・〇〇
同	一二・五〇	四四・〇〇
彰化銀	五〇・〇〇	一六・〇〇
同新	一二・五〇	二七・五〇
華南銀	三七・五〇	五五・〇〇
貯蓄銀	二二・五〇	一八・五〇
大東信託	二二・五〇	二三・〇〇
興業信託	一二・五〇	一〇・〇〇
臺灣土地建物	五〇・〇〇	五四・五〇
打狗土地	一五・〇〇	八八・〇〇
臺灣電力	二〇・〇〇	一四・〇〇
同	五〇・〇〇	六五・〇〇
合同電氣	二二・五〇	三二・八〇
同 新	一二・五〇	三四・五〇
臺灣倉庫	五〇・〇〇	六六・二五
同 新	一二・五〇	一九・〇〇
花蓮港電氣	三〇・〇〇	三二・〇〇
臺灣瓦斯	一五・〇〇	二四・〇〇
臺灣製鹽	二五・〇〇	三〇・〇〇
臺南製鹽	二五・〇〇	三三・〇〇
臺灣煉瓦	五〇・〇〇	七〇・〇〇
同 新株	一二・五〇	二〇・〇〇
臺南煉瓦	一五・〇〇	一一・五〇
臺灣軌道	二〇・〇〇	一〇・五〇
臺北鐵道	一五・〇〇	二四・五〇
新高軌道	二〇・〇〇	二三・五〇
基隆輕鐵	五〇・〇〇	五二・五〇
臺中輕鐵	四〇・〇〇	三七・八〇
高砂麥酒	五〇・〇〇	六五・〇〇
臺灣行田	五〇・〇〇	三四・〇〇
同 新	二五・〇〇	一九・〇〇
臺灣製鹽	二五・〇〇	三六・〇〇
東光株式	四五・〇〇	一四・〇〇
臺灣製紙	二五・〇〇	六五・〇〇
海南製粉	二五・〇〇	一四・一〇
臺灣拓殖	二五・〇〇	四〇・五〇
日本拓殖	三七・五〇	四二・五〇
臺灣畜産	一二・五〇	一二・五〇
臺灣肥料	五〇・〇〇	五八・〇〇
臺灣劇場	二〇・〇〇	八・〇〇
臺灣鑛工	二五・〇〇	四七・五〇
臺陽鑛業	四二・五〇	八三・〇〇
同 新	五〇・〇〇	四三・〇〇
基隆炭鑛	二〇・〇〇	四九・〇〇
臺灣炭業	一五・〇〇	一四・五〇
臺灣興業	二五・〇〇	三五・〇〇
大正醫曲	一二・五〇	九・五〇
大成火災	一二・五〇	三三・〇〇
合同鳳梨	五〇・〇〇	六〇・〇〇
臺灣窯化	二五・〇〇	三五・〇〇
臺灣織物	五〇・〇〇	四四・〇〇
花蓮港木材	一二・五〇	二七・〇〇
同 新	一五・〇〇	七・〇〇
勸業無盡	二〇・〇〇	一九・七〇
南部無盡	一〇・〇〇	二六・六〇
中央市場	一〇・〇〇	二三・〇〇
臺灣纖維工	一〇・〇〇	二三・〇〇
東海自動車	二〇・〇〇	三四・〇〇
南邦自動車	一二・五〇	一四・五〇
昭和家畜	一二・五〇	一五・〇〇
臺灣漆竹	五〇・〇〇	五〇・〇〇
同 新	一二・五〇	二二・五〇
日本アルミ	五〇・〇〇	七五・〇〇
同 新	一二・五〇	四七・二〇
東邦金屬	二五・〇〇	二三・〇〇
東邦人纖維	五〇・〇〇	六二・五〇
同 新	一二・五〇	二七・五〇
日東化學工	二〇・〇〇	二七・五〇
臺灣パルプ	二五・〇〇	三三・五〇
大日本製糖	五〇・〇〇	一一・二八
同 新	三七・五〇	九一・一五
臺灣製糖	五〇・〇〇	一二六・〇〇
同 新	二〇・〇〇	二六・〇〇
明治製糖	五〇・〇〇	一二〇・五〇
同 新	二〇・〇〇	七九・五〇
鹽水港製糖	五〇・〇〇	八五・七〇
同 新	一二・五〇	三五・五〇
沖繩製糖	五〇・〇〇	五〇・〇〇
臺東製糖	五〇・〇〇	七九・五〇
南洋興發	五〇・〇〇	〇二・八〇
同 新	一二・五〇	五一・五〇
北港製糖	五〇・〇〇	五六・二〇
帝國製糖	二〇・〇〇	八四・〇〇
同 新	五〇・〇〇	四四・〇〇
新興製糖	五〇・〇〇	九〇・〇〇
昭和製糖	五〇・〇〇	八七・〇〇

〔備考〕三和銀、臺灣煉瓦、臺灣鐵道、臺南製糖、臺中輕鐵、臺灣興業、臺南瓦斯、臺灣紡紙、臺灣炭業、臺灣鑛工、掃竹、臺灣製鹽、臺灣農林、新高軌道、臺灣瓦斯、東洋自動車、南部自動車、大成火災、東光、北港製糖は氣配

七年間も患つた神經痛を治した私の全快體驗談

靜岡縣　須藤〇江樣談

わたくしは今から七年位前から神經痛で時々痛むので服みましたが少しも効目がなく段々と惡化 ひどい時などは痛くて手が後へ廻らなくなり、家事をすることも困難になり、自分の髪さへも結ぶことが出來なくて本當につらいと思つてをりました。二三年前からは步行するのに膝が痛み出して大分に難儀になりましたので不自由を感じる事になりました。色々の療法をしましたが何れも思ふ樣な効果はなく惱みながら辛抱して居りましたが、何を服してみても一向に治りませんでしたのでしまひには自棄氣味になつて諦めてゐました。寒い時や天候の變り目や天氣の具合などによりまして痛みがはげしくなりますとトテも耐らないので結局は又何か良藥をさがしたくなつて、新聞を見てをりましたらフト目に入つたのは豐山院頒藥所に傳はる古い家傳の名藥で、これは神經痛とリウマチスなら如何な頑固な慢性のお方でも不思議な位良く効能が現れると云はれ、これまでにも永年の難病者が數へ切れぬ程救はれてゐると申される實に嬉しい記事が出て居り、此家傳藥ばかりは今迄の他藥と違ふと心から信用の出來る藥だと思はれましたので早速取寄せて服用してみました處、最初の一日は別に變りもありませんでしたが二日目の朝、黑色をした具合の良い通じが澤山ありましたら身體の動作が非常に輕くなつて、肩や腕それから膝の痛みが日増しに取れて行くのがハッキリわかりましたのでズッと元氣が出まして三匝々々からさらに服藥して居りました處、一ケ月後にはあれ程永い間苦しみました神經痛のしつこい痛みから全く救はれました。其後は神經痛はサッパリと忘れてしまひました。これも皆豐山院頒藥所樣の家傳藥のお蔭と深く感謝致して居ります。此家傳藥の詳細は最後にあります

指の節々の變なハレを治した名藥

千葉縣　熊代〇市氏談

私はリウマチで手の指の節々が腫れて痛むのでしたが次第にヘレて指の關節が惡くなり指が思ふ樣に伸びなくなつたのでビックリして色々高價な藥を服んだりマッサージ等をしましたが一向ヘレも引かず、これでは字を書くことも出來ないので全く弱つて居りました。近所の方が東京に大變に良い家傳藥のあることを教へて呉れましたから早速所を聞き注文をして服藥をしてみました處、三日目の朝、黑色の便が多量に出まして、それから一日々々とヘレが引き痛みも目に見えて取れお蔭で二十日間位で元通りに治りました。此家傳藥の詳細は最後にあります

膝と肘手首が痛む關節リウマチスが　人から勸められた家傳藥のお陰で最後にヤット救はれました

群馬縣　小林〇次郎氏談

私は昨年十二月頃から關節リウマチで膝の關節が劇しく痛み、時には熱が出てヘレることもあつて、こんな時は痛みが猛烈なので起きることすら困難のため殆ど寢たきりになつてをりました。膝の痛みの手當を一生懸命にしてゐましたら今度は手首の關節と肘の節々まで痛み出し、膝と手と兩方の痛みで苦しめられ泣き出さんばかりになりました。最初から無論治療や手當は充分にしてゐるのですがサッパリ快方に向はず反つて色々藥も服んだが効目はなく依然として痛みは去らず一人で考へ込んでゐた時友人が來ての話に親戚の者がリウマチで苦しんでゐたが東京の豐山院頒藥所の家傳藥でスッカリ治つてしまつたから君も試したらどうかと勸めるので早速取寄せて試服しました處其翌日黑色した便通が出てトテモ澤山ついたメキ／＼痛みが取れてしまひ、ヘレも引いて半月位でケロリと治つてしまひました。此時ばかりは實際有難い家傳の藥だと思ひました。此家傳藥の詳細は最後にあります

顏の痛いのが取れた喜び

山梨縣　三澤〇助氏談

私は昨年の暮から目の下から口の脇あたりが痛んで顏を餘計に痛み、そしてチク／＼して引きつり顏の形まで少し變りましたので醫者に診て服藥療法や電氣療法をしましたが思ふ樣に快方しませんので何かモット良く効く藥はないかと婦人雜誌を見てゐたら漢方の妙藥で豐山院頒藥所に傳はつてゐる古い家傳藥ならキット早く救はれると書いてあつたので一月分程取寄せて服んでみました處翌日に氣持良く澤山の便通が黑色して出ました。それから痛みの樣子が一變して大變に樂になり之に光明を得た私は熱心に服藥してをりました處一月分を服し終らぬ中にスッカリ痛みが去り引つりも取れて普通の顏形になり此時ばかりは全く嬉しく存じました。此家傳藥の詳細は最後にあります

慢性神經痛の腰と股の痛みが　黑色の快便がついたら短時日でスッカリと治りました

神奈川縣　大川修〇氏談

私は今から三年前の冬の寒い時に外で暫くの間働きましたが、とう／＼冷え込んでしまひ、それからどうしたことか腰の廻りから股の裏が痛んで／＼坐つたり立つたりするのにトテモ困難で急に立ちあがらうとする時の痛さには言葉が出來ない位苦しみ又步きますにもトテモ痛くて仕事にも行けずズット休んで色々の服み藥や貼り藥をしたり又はお灸やお鍼など何でもやつて見ましたが少しも効目がないので一體どうしたら治るのかと全く困惑してしまひました。どうかして此苦痛から一日も早く逃れたいと思ひ、暇さへあれば良藥を探してゐたら丁度目に付いたのが豐山院頒藥所に傳はる家傳の名藥で神經痛とリウマチの痛みだつたらどんなにコジレたのでも奇妙に良く取れるといふ記事が出て居りましたが最初は半信半疑でした家傳藥と云ふので兎に角取寄せて試服しました處、翌日のヒル頃に少し黑色をした快便通が非常に澤山ついたら其後急に腰の邪魔が輕くなつたので喜んで益々藥を服けて居りましたら半月後には全く痛みがなくなり治つて立ち坐りも樂になりました。なるほど廣い世間には名藥と云へる藥があるものだと感心しました。此家傳藥の詳細は最後にあります

豐山院頒藥所の家傳の名藥劑　痛みの早く取れるのに驚く

神經痛リウマチで肩や腰、手足の關節や腕肉、指の節々、手首足首、胸、坐骨、膝、又は顏面、肋間等が痛んだり、ヘレて困つてゐるお方なら慢性でも急性でも早く良効が早く現れる家傳藥が當院にあります。當院は金儲けではありません。色々の藥や療法も効なき永年の慢性や急性のリウマチスと神經痛の難病者がこれ迄に澤山に救はれた實に有難い古い名藥です。一度試したお方がこんなに早く治るとは思はなかつたと申されます此名藥は內服藥で家傳藥を腸部から取去る爲め一兩日中に便が少し黑色した排泄便が氣持良くあり、其後は痛みがメキ／＼取れて緩み、ヘレも引き驚いたよりズット早く御全快なされてあとは再發などしないので歡ばれます。神經痛リウマチは放置してゐると段々惡化して不具の樣になるから早く手當をしなくてはいけません。豐山院頒藥所は御申越次第御說明書を申上げます。又御希望者へは藥價で差上げます。十五日分一圓六十錢、三十日分二圓七十錢、送料四十錢、代金引替でも御送り申上げます。

東京市本鄉區森川町百十一　豐山院頒藥所　振替東京四九五四番

科學の進步で粉化粧の仕方が一變！

クリームを其まゝつけるのは時代後れ

ホンの數滴でお化粧の美しさも保ちもマルで違ふ

粉化粧にアストリンゼンは世界的常識！

從來の粉化粧はなぜ美しく出來ぬか？

お化粧前には必ず丁寧に洗顏しなければなりませんが、洗顏後や入浴後等には皮膚組織が弛み、皮脂腺や汗腺が開いて皮膚が內側からモノを押し出す樣な狀態になつてゐます。この儘の皮膚にスグお化粧するから白粉が美しくつかず、お化粧もスグ崩れるのです。

科學の力で粉化粧が必ず美しく出來る！

かういふ時にお顏に明色アストリンゼンといふ科學的收斂力化粧水を數滴つけますとその强力な科學的作用で弛んだ皮膚組織を忽ち引きしめ、皮膚が內側からモノを吸ひこむ樣な狀態に整ひますからこの上に下地のクリームをひいて粉白粉をつけますと白粉がイヤでも美しく附きますし、お化粧も決して崩れません。

▲尚ほ下地のクリームにもアストリンゼンを一二滴まぜてつけると一層良い結果が得られます。アストリンゼンは最近世界的常識になつてゐます。

定價　一圓五十錢

明色アストリンゼン

12—124

肌アレにクリンシンの三重作用が大評判！

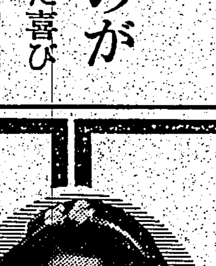
三重作用でアレ知らずの美肌をつくる

(1) アレた肌を先づ清拭する
明色クリンシンは一寸すりこんで拭きとるだけで毛穴の中の汚れまで吸着して肌をシンから綺麗にします。

(2) 同時に獨特の美肌作用！
同時に獨特の綜合美容成分が肌の深部に滲透します。毛穴の中まで滲透になつてゐますから美容成分が最深部迄行き渡り思ふ存分作用をします。

(3) 其儘で化粧下！
お顏の場合ですと明色クリンシンで拭いた皮膚は右の二作用の他に皮膚自體が白粉の一番つき良い狀態に整ひますから、その上にスグ白粉をつけますとトテも美しいツヤのあるお化粧が出來、それが同時に最も有効な美肌法にもなるため、お化粧で肌が荒れる心配は絕對にありません。

▲普通クリームの二三倍は御德用



クリンシンの世界的流行！

歐米に於ても最近はクリンシンの流行は非常なもので從來のクリームに代るものとしてクリンシンが化粧品の中に大きな位置を占めてゐると言はれ、最近歐米婦人の美容が一段と增したとさへ言はれてゐます。

明色クリンシンクリーム

定價　七十八錢

臺灣日日新報
本日夕刊共十二頁
發行兼編輯人 佐々木
發行所 臺灣日日新報社

けふ愈よ親任式
米内大將組閣完了

【東京十五日發同盟】米内大將の組閣工作は着々進捗を見せ十五日夜十時四十分に至つて全閣僚決定 組閣を完了した、依つて米内大將は十六日午前宮中に參内 天皇陛下に拜謁仰付けられ謹みて大命を拜受する旨を奉答し 閣員名簿を奉呈して一旦御前を退下、斯くて新內閣の親任式は十六日に行はせられることゝなつた、決定せる閣僚顔觸左の如し

總理大臣　海軍大將正三位勳一等功四級　米內光政
外務大臣　從三位勳一等　有田八郎
內務大臣　從二位勳一等伯爵　兒玉秀雄
大藏大臣　從三位勳一等　櫻內幸雄
陸軍大臣(留任)　陸軍大將從三位勳一等功五級　畑俊六
海軍大臣(留任)　海軍中將正四位勳一等　吉田善吾
司法大臣　從三位勳一等　木村尚達
文部大臣　從二位勳一等　松浦鎭次郎
農林大臣　勳三等　島田俊雄
商工大臣　從三位勳二等　藤原銀次郎
遞信大臣　正四位勳二等　勝正憲
鐵道大臣　正五位勳三等　松野鶴平
拓務大臣　陸軍大將從三位勳一等功一級　小磯國昭
厚生大臣　從四位勳二等　吉田茂
內閣書記官長　從三位勳二等　石渡莊太郎
法制局長官　正三位勳二等　廣瀨久忠

閣僚銓衡經緯

【東京十五日發同盟】民政黨の櫻內幸雄氏は當初農林大臣に擬せられてゐたが政黨出身閣僚振當ての關係から商相に當てんとし交渉を進めてゐたが都合に依り櫻內氏を大藏大臣に當てることになり二度び變更した

【東京十五日發同盟】商相として入閣交渉を受けた政友會革新派中島總裁はこれを固辭して組閣本部を辭去後自邸に前田、島田、望月、山崎、堀切の諸氏を招致して協議の結果島田俊雄氏を入閣せしめることに決定した、島田氏は農林大臣に就任することに決定した

【東京十五日發同盟】米內大將は政友會の兩派總裁に夫々組閣本部への來訪を求めたので中島總裁は午後四時四十分、久原總裁は病氣中につき岡田幹事長が代つて相前後して組閣本部に入り中島知久平氏は鐵道大臣として入閣方を慫慂されたが固辭して辭去した

現在の立場で內閣に協力
町田總裁入閣を固辭

【東京十五日發同盟】米內大將は新內閣の中心課題が國內問題殊に財政經濟問題の円滑なる處理運行にありとの見地からその衝に當る大藏大臣には特に練達堪能なる人物を起用することとし十五日午後二時組閣本部に町田民政黨總裁の來訪を求め

此際は財政經濟の円滑なる運行を期するためには國民の心理作用を支配することが極めて重大である、從つて其の衝に當る大藏大臣の如きは政黨の總裁たる貴下を最適任と認めるから是非として入閣御援助を願ひたい

と懇請したに對し町田總裁は

刻下非常の場合自分もよくこれを知つてゐる、又國民もその心をもつて努力し所謂擧國一致體制の下に事變處理に全力を盡すことが最も肝要である、此秋に當り自分は民政黨の總裁として老軀を提げてこれに當つてゐるのは一に今後政黨をして國民を指導する地位に立たしめたいといふ念願に依るもので自分としては閣外に在つて內閣に協力して事變處理のため全力を效すと共に將來益々政黨が發展改善されて財政の運用が円滑に行くやうに努めたいと思ふ、依つて現在の立場において內閣に協力することを諒とせられたい

と述べて入閣を固辭したので米內大將も町田總裁の心情を諒解し

然らば民政黨から黨代表二名を入閣せしめられたい

と申出で其の一人として櫻內幸雄氏を懇望したので町田總裁もこれを適當と認めて推薦し他の一人に就ては適材適所の見地より適當と認める人物を黨代表として入閣せしめることに決し町田總裁は午後三時組閣本部を辭去した

米內大將以下組閣本部へ

【東京十五日發同盟】米內大將は十五日午前八時組閣本部に入つた

【東京十五日發同盟】新內閣書記官長石渡莊太郎氏は十五日午前十時三十五分、廣瀨元厚相は同二十五分夫々組閣本部に入つた

參議制は存續

【東京十五日發同盟】新內閣は內閣參議制はこれを存置に決定、同參議以下の辭表取扱ひは更めて考慮するが大體前例を踏襲してこれを返却するものと見られる

特例を設けず
米內大將豫備役

【東京十五日發同盟】米內大將は後繼內閣首班として親任と同時に海軍武官服役令第十五條第五號によつて自動的に豫備役編入となるので海軍では同大將の功績を惜み現役留任方について何等かの方法を攻究中のところ結局海軍の傳統は尊重しこの際特例を設けることをせず豫備役編入の上、時局擔當に万遺憾なきを期せしめることとなつた

阿南陸軍次官 米內大將會見

【東京十五日發同盟】阿南陸軍次官は十五日午後一時二十分組閣本部に入り米內大將と會見種々懇談した

新內閣と列國

獨逸

【ベルリン十四日發同盟】ドイツ政府は米內海軍大將の組閣を靜觀してゐるので新內閣に依る革新政策には全然期待出來ないとして居り、殊に米內大將は防共協定強化問題に消極的態度を持した點からドイツ側は餘り好感を寄せず、ドイツは日本が現在は政治經濟外交の各方面において重大な轉換期に立つてゐると見てゐるので米內內閣の今後の出方に非常な關心を持つてゐる

有志代議士會解散式を行ふ

【東京十五日發同盟】各派有志代議士會は阿部內閣總辭職の目的を達したので十五日正午より衆議院議長官舍において解散式を行ひ左の趣旨を明かにして散會した

趣旨　昨日阿部首相が辭表を闕下に捧呈せることは有志代議士の要望と合致しわれ等が求むる所を達したのであるが、今や時局は愈々重大であり、われ等は一意奉公の誠を致して現下の難局に邁進せんことを期するものである

日本の地位は強化(大公報)

【香港十六日發同盟】米內新內閣に關し本日の香港各紙は例に依つて英米の反感を煽ることに努めてゐるが重慶機關紙大公報は却つて日本の地位は強化されるだらうと次の如く述べてゐる

米內內閣によつて日本政府の地位は非常に強化されるものと思はれる、米內大將は支那情勢に精通し全海軍の輿望を擔つてゐる人であり且つ万事堅實な方向を辿るものと信ぜられるので政黨及び財界との關係も頗くないであらう

米內內閣の閣僚決定 (右上から)兒玉內相、櫻內藏相、藤原商工相、松浦文相

有田氏の外交方針

【東京十五日發同盟】廣田、近衞、平沼の三內閣に外務大臣を歷任した有田八郎氏は再び外相として米內內閣に入閣することが確實視されるに至つたが現下の多端な國際環境に處する有田氏の外交方針は大體次の如きものと見られる

一、對ソ關係　近衞、平沼內閣當時においても國交調整を企圖したが今日においては當時に比し日、ソ間の關係が頗る改善されてゐるので日、ソ國交調整は更に躍進的な成果を擧げることとならう

一、對米問題　傳統的な親善關係の再建を目標に國交調整外交を進めて行く筈であるが差當つて通商條約更改問題に對し如何なる措置に出るかは慎重攻究の要ありとしてゐる

宮中を退下して海相官邸に入る米內大將(電送)

五千の頑敵を包圍
第四十軍の殲滅戰

【太原十五日發同盟】晉閣南々西の要衝陵城東西を結ぶ嶺線一帶に據る衞立煌麾下第四十軍の五千を殲滅すべく東西南の三方面より殲滅の進擊を續けてゐる我が精銳部隊は十三日これを完全に包圍圈內に押縮め最後の攻擊を開始した、即ち長子附近より東南進した笠原部隊の一部は十二日正午頃濟安南方四十八粁の西村附近に進出、その主力は同日午後三時半師莊(濟安西南方四十粁)を占領、引續き當面の敵を制壓中、又北方より怒濤の如く敵の堅陣を粉碎して來た青柳部隊の精銳は十二日濟安南方十粁の北仙泉高地を奪取した後午後二時双河鎭の敵を殲滅し更にその主力は南河村を經て午後七時石午莊に、一部は西八村及び西坪村の線に進出、敵の最大據點陵城鎭に對し猛攻を開始した、一方俵部隊は鐵泉西南方及び北方を結ぶ嶺線に據る頑敵を南方に壓縮中で、また西田部隊は十三日午後二時晉閣南々東の線に敵の退路を完全に遮斷し茲に五千の頑敵は全く我が包圍下に陷つた

錢塘江北側の掃蕩戰

【杭州十五日發同盟】昨年十一月中旬の討伐で潰亂狀態に陷つた敵六十二師約三千は又復性懲りもなく杭州、湖州、嘉興を結ぶ錢塘江北側三角地帶內に侵入し鐵道、軍用公路の破壞を企圖しつつあるが、我軍は十五日を期し再びこれが掃蕩を開始した、即ち湖州方面より能崎部隊、嘉興方面より富田、柳、小川、宮島各部隊、杭州方面より田村、伊與、高原、大河原、北園、吉野各部隊が折柄の冷雨を衝いて隨所に果敢な進擊を續けてゐる、大湖西南方で蠢動を續けてゐる匪賊に對しても目下討伐が續けられてゐる

近く三首腦會談
中央政權樹立工作進展

【北京十五日發同盟】南京に開催された興亞院連絡部長官會議とともに汪精衞氏を中心とする中央政權樹立工作は著しく進展するに至つたので政權樹立に關する中央政治會議の濟み次第汪精衞、王克敏、梁鴻志三首腦會談が開催されることに決定した

本島人巡査の採用
豫算に計上されず
工部局に內田總領事要望提出

【廈門十五日發本社支局特電】十五日午後六時より鼓浪嶼工部局は豫算案審議に關する參事會議を開催することとなつたが、不可解にも同豫算案には昨年鼓浪嶼問題協定文に揭載されてある本島人巡査十名採用の件は計上され居らざる模樣で內田總領事は會議前ヒーチコック參事會長を官邸に招き同氏に對し我方の要望を提出するところがあつた、即ち昨年鼓浪嶼問題解決の際本島人巡査十名の採用問題は工部局豫算の改善を見るまで一時延期となつてゐたが、その後十月の臨時納稅者大會に於て貨物稅其の他物品稅徵收の事となり工部局財政は著しく改善せられるに至つたので日本側は本年度豫算には當然本島人巡査十名採用豫算は計上せられるものと思はれ、且參事會々議にかても主張しきつた折柄去る八日テロ事件發生し愈々之等テロ事件取締りの為、日系警察官增員の必要を認めたので工部局總辦よりも工部局警察の立場より其の必要をバス警視總監に意見を提出し、日本側參事會員も此の點を強く主張しつつあるも同件は豫算案になく、茲に內田總領事

時評
更新の經濟的意義
金原賢之助

議會再開を前にして、政局更新の確定されたことが報道されてゐる本文の執筆までには未だ後繼內閣の首班も判明してゐなかつたが、しかし何人が組閣するにもせよ、後繼內閣の負ふべき重大なる任務を自覺せねばならぬと思ふ

阿部內閣は事變處理を唯一の任務として立つたが、その處理の基本方針の決定を機會として退陣することとなつた、何故阿部內閣は退陣を餘儀なくされたか、その理由を今ここに一々指摘して責を問ふ言葉をもつてせぬが、しかしこの事を一應顧みることは、政局更新の意義を明らかにするために必要である

今回阿部內閣退陣の理由を槪ふに、議會對策、商工對立の表面化、貿易省問題、物價對策の不徹底等が其の契機となつてゐると思ふのであるが、果してさうだとすると結局經濟問題の處置が必ずしも宜しきを得なかつた爲めであると極言することが出來るのである

× ×

阿部內閣退陣の理由が其處にあるとすれば、これこそは後繼內閣の最も力を入れて當らなければならぬ任務となるのであつて、この點は誰が組閣しようと少しも變りがないのである、私はここに、この度の政局一新の意義を見出す者である、そこで私は、後繼內閣の責任が特に重大であることを强調したいのである、固より何れの內閣と雖も、重責を負はぬものはあり得ないわけであるが、特に後繼內閣に對しこの點を强調するのは何故であるかと云ふに、若し後繼內閣にして、經濟問題の處置に成果を收めれば良いが、万一失敗を繰返すが如きことがあると、經濟政策に對する國民の信頼が地を掃つて了ふ虞れがあるのである、これが若し他の問題であるならば、一內閣が不手際をなしたとしても當事者が變れば自ら別の方策と違つた結果とが期待せられ得ようが、これに反して當面の經濟問題について失敗が反復されると、それは國民に對して誰が出ても結局當面の經濟問題は解決され得ないものであるといふ印象を與へて了ふ、万一さうなると、其の後の經濟政策は容易に遂行出來なくなり、戰時經濟の運營は徹底円滑たるを期し難くなる虞れがあるのである

× ×

或はこの點については、たとへ經濟問題であつても當事者が違へば別途の解決が出來るではないかと言ふ人があるかも知れない、勿論さうした觀方も間違ひではないが、しかしそれは平時經濟に於てのみ正しいことなのである、今日の如き戰時經濟の下に於ては、我が國の進むべき途は根本的には決まつてゐるのである、然る以上誰が當局者にならうとも、その爲されねばならぬことは確定してゐるのである。この點をもう少し具體的に言ふと、政府當局が差し當つて完遂しなければならぬ經濟問題は、インフレーションの抑止である、戰時經濟は如何なる國如何なる時に於ても、必然的にインフレーションを隨伴すると言つてよい、從つて戰時經濟が續く限り、その程度には差異があらうが、インフレーションの抑止ことは戰時內閣の最大の經濟的任務とならざるを得ないのである、この任務は、內閣陣容の如何によつて變るものではないのである、それ故に、一內閣がその適切なる處置を得ず、また後繼內閣も同樣の結果に陷るとすれば、この問題が根本的に解決し得ないものであるといふ印象を、國民に與へるを免れないであらう、殊に、現在の如く、戰時經濟の政策の進んでゐる場合には然りと言はねばならない、吾が政局更新の經濟的意義を特に强調する所以は茲に存してゐるのである

米穀顧問會議

【東京十五日發同盟】農林省では十五日午後農相官邸で米穀顧問會議を開催、酒井農相はじめ村上、荷見兩次官、小笠原參與官、楠山米穀局長並に高田、松村、東、有賀、安藤、石黑の各顧問出席、酒井農相の挨拶に次いで楠山米穀局長より米出廻狀況に關し大要左の如き報告あつて散會した

一、內地米政府買入れ豫定數量六百五十万石內一月十日現在既に買入れ手當濟みのもの百八十六万石

一、朝鮮米昨年末より本年一月末までに約二十万石の入津豫定

一、臺灣米昨年中に六十万石本年既に三十万石の夫々入津あり今後更に今月末までに三十万石入津の豫定

檢事總長の後任

【東京十五日發同盟】木村檢事總長の法相就任に伴ふ後任補充は急速に行はれる筈でその後任として擧ぐられてゐるのは司法次官岩村通世、東京控訴院檢事長松阪廣政、大審院次席檢事三橋市太郎の三氏であるが、岩村次官の昇格を見るべく岩村次官が檢事總長に就任した場合次官には松阪檢事長が任命されるものと見られる

埃及より我が國に經濟使節團を派遣

【カイロ十二日發同盟】日本エジプト通商暫定協約に關する交渉はエジプト政府當局と橫山日本公使との間に順調に進捗してゐる模樣であるが、これに關聯してエジプト政府は日本政府の招聘に應じ來る三月初旬經濟使節團を日本に派遣し日本エジプト通商關係の改善に資することに決定した

定期敍位

【東京十五日發同盟】定期敍位
內閣總理大臣 正二位勳一等 阿部信行
敍從一位

一萬噸以上の巡洋艦を建造
米作戰部長の言明

【ニューヨーク十三日發本社特約電報】米海軍の二割五分擴張案は近く米議會の重要議題となり盛んに論議が戰はされてゐるが十二日スターク海軍作戰部長は下院の海軍委員會に於て、海軍省は目下議會の手でアメリカが今尙繼續型制限に關する海軍省に拘束されるか否かに就き慎重研究中なる旨を言明した、更に同提督は、海軍省は一万噸以上の巡洋艦建造を要請してゐる旨を表明した、而して一方獨逸袖珍戰艦グラーフシュペー號の砲は如何にして備へ付けられたかとの質問に對しスターク提督は「何れその點に就いては英巡洋艦エクゼター號の乘組員が諸君に說明してくれる事と確信するがグラーフシュペー號の構造は實に巧妙を極めてゐる」と述べあつさり片附けて了つた

天無口

政局收拾の上から誰がやつても仰々難かしいと云ふが、維新といふ事は難かしいに定つてゐる。坦々たる道でないことは餘りにも明らかなことだ。そこでこの難の道を切り開いてゆかねばならぬのだが、どこを切り開くかを決すべきであらう▲左を押へておいて右に衝いて出るか、中央を突破するか。これを決めなくては、いつまでしても仰々難かしいといふことにもなるのではなからうか▲各層の輿望を負ふ的出馬要望と目された近衞公固辭して起たず、その理由として次の點を指摘してゐる。つまり自分が出て各界勢力を調和するやうな內閣を作ることは既に試驗濟みではないか。今日の事態は右に進むか、左に進むか。はつきりした人物の登場を求むべきであるといふのだ▲既に各勢力の綜合のみによる結制を作り得る人物が必ずしも適當とは考へられぬし、今後の重大問題は經濟問題にあるから此方面に對する自信がなければ局擔當の衝には當れないといふわけであつた▲東へ行くか、西へ行くか。問題は依然殘つてゐる。對外、對內諸問題もその根本的調整といふものは此點に懸つてゐると思ふ。此點が判然りしなければ形式的な各勢力の按合ひで解決する程安易な事態ではなからう。

人事

▲小泉信三氏(慶應義塾長、經濟學博士)十六日午後三時五十六分南部より歸北(鐵道ホテル)▲德田傳四郎氏十七日蓬萊丸にて歸京▲高草木雅雄氏十五日來北▲藤田臣一氏(大正生命臺灣支部長)▲片岡保氏(國華徵兵保險臺灣支部長)十五日香取丸にて上京▲臺岡秀作氏(日本生命臺北支店長)十七日蓬萊丸にて上阪

ゼブラ 製 自轉車
名實共に日本一！
(登録商標)
株式會社 スキフト商會
名古屋市下小山町

輝く皇紀二千六百年の初頭に當り

講談社の子供雜誌に就いて

お父樣、お母樣方に御願ひ申上げます。

輝かしい年を迎へまして、日本中の子供の爲に理想的の課外讀物を作りたいと努力を續けて居ります。入學試驗撤廢後、課外讀物が一層大切になつて來た樣に考へられます。幼年倶樂部、少年倶樂部、少女倶樂部は、確固不動な日本精神を養ふ讀物、常識を養ひ知性を磨く讀物、あくまで童心を失はず、明朗なる性格を持たせる讀物、美しい口繪、時局向寫眞、文章に繪に、嚴選に嚴選、練りに練つたものを揭載する樣苦心して居りますが、尙父兄母姉の皆樣が親心をもつて是を御らん下さつて、何かと御教示、御鞭撻下さいますやう心から御願ひ申上げます。

二月號が發賣になりました

幼年倶樂部

内容の一部
▲畫集 さむさにまけずに
▲えらい人のはなし もらつたくろうま
▲かんしんなはなし ちゆうけんタマ公
▲ユクワイナアソビ ドウブツトリゲーム
▲寫眞物語 ぜんかう石
▲童話 ニルスノバウケン
▲物語 おとうさんの村
▲物語 小鳥の歌
▲物語 アジヤの兄弟
▲物語 ライオンにかこまれて
▲げき ハイキング
定價五十錢

少女倶樂部

内容の一部
▲上手な文章の作り方…田中豐太郎
▲少女詩歌讀本(美麗色刷)
▲わが校の詩…山路武夫
▲感激小說 三人の天使…岡田禎子
▲少女小說 珠を爭ふ…菊池寬
▲ナナ子の銃後ばなし
▲母の寶玉
▲駒鳥さん
▲ほがらか姉弟
▲炎の城
▲思出の大辨當
定價五十錢

少年倶樂部

内容の一部
▲靖國神社の英靈に捧げる文大募集
▲世界の新兵器競爭
▲僕が受驗生だつたら
▲僕等の科學(砂糖の話)
▲働く樂しさ、寫眞ニユース
▲風雲黑潮隊
▲チャンポン閣下
▲雪室老人英傑ばなし
▲小さき愛國者
▲堅パン上等兵
▲天兵童子
定價五十錢

全國の書店にて販賣して居ります。
東京 大日本雄辯會講談社

社説

米内大將の責任は至大

國民は各層の協力に期待

一

阿部内閣が"内部崩壊"の形ちにおいて總辭職した後を承け、米内海軍大將に大命の降下を見たことは、種々あるべき凡ゆる見解を超越して、先づ氣分を轉換し新たに出直した構へにおいて各種懸案の解決に當らしめるといふ觀點よりして、國民の歡迎し得る節も多分に有ることを否み得ない。今日の時局は、何人もが明白に認めてゐる樣に、誰が出て局に當つても豫想以上の難航を續けねばならぬことは必定であり、今後への豫測は必ずしも樂觀を許さぬのである。そこで思ひ切つて意表外の人物を據ゑて複雜多岐なる現下の難局を打開せしめようといふ方式も、確かに一つの眼の著け所であるに相違あるまい。

二

尚この際、特に國民として留意しなくてはならないことは、米内大將に大命の降下を見たことが、彼が現役の海軍大將なるが故には非ずして、内閣の首班たるに足る識見と威望とを兼ね備へる一個の政治家としてであるといふことだ。米内大將は、林内閣以來、近衛、平沼の三内閣に海相たる重任に在り、その間よく非常時内閣における閣僚として其の擧措を過らず、議會における答辯等にも相當に靜かなる手腕を見せ、何となく力強く想はしめるもの有つたが爲めと解すべきである。從て米内大將の出馬を以て海軍畑だ、海軍びいきだなどとかなり立てることは厳に禁物である。特に畑陸相に對し優諚を賜はつた深き思召の程も拜せられ、國民としても慎と思ひを致すべきであらう。

三

米内内閣としては、先づ擧國一致の體制を執り、之に依て強力内閣への資質を獲得することが第一の必要條件であり、この點に全力が傾注されねばならぬ。それは、今日の内外に亘る政治は、もはや一黨や一派や一部の官僚だけで円滑に遂行できるわけのものでは無いからだ。練達堪能の士に依てガッチリと組へた粘りの有る政治をやつて行くので無いと有終の美を收めてゆくことは到底でき得ないのだ。彗星の樣に突如にヒョイヒョイ飛び出して來る未知數の大臣が何人出たり引込んだりした所でそれは徒らに時間を費し手數を煩はすのみに過ぎない。今度といふ今度は、[illegible]重要な内外政務が推移してゐるだけに、國民の側に於ても重大關心を寄せ、今後の推移についても深甚してゐるのである。從て現下の重大なる時局[illegible]非常に重且つ大なるものが有るのである。[illegible]の政治性の[illegible]よりよく協力し以て[illegible]に邁進し[illegible]更に進んで帝國の[illegible]定に向つて[illegible]を盡すであらうことを深く期待するものである。

見えざる外交の黑幕

戰爭の全分野に躍る

【ニユーヨーク十二日發特約電報】歐洲の全分野一ぱい見えざる「外交の黑幕」が蔽つて爆彈の爆發、砲彈の炸裂と同じ樣に世界の注視を浴び我等らじと秘策を盡してゐる、その黑幕のどれ一つとして正體を現はすものはなく、從つて誰も彼も暗中摸索、起りつつある事實に基いてではなく、概念を基とする報道や噂に頼る外ないと云つた有樣だ、その報道の中で最近傳へられた一番興味あるものはコペンハーゲンから出たものでドイツ政府が過去數日に亙りソ聯を說得して止めさせる爲、ソ聯を說得したと云ふことである、ヒトラー總統はソ芬兩國間の紛爭をひどく氣にしてゐると云はれる、それは

一、ソ芬戰爭が長ければ英國の對獨封鎖と抗爭をするに必要なソ聯の物資が中絶しはしないか

二、獨ソ兩國に對し佛側がスカンヂナヴイアを中心とする新しい戰線を結成しはしないか

の二点となる、スターリン及び彼の同僚達はドイツの說得に同意することを快よしとしない模樣である、但ら

ソ聯當局 は如何なる犧牲を拂つても「新フインランド」とソ聯の自由になるフインランドといふ目的物を完成させる決心だと云つてゐる、一方英國紙ブラウダは英佛側は奮闘主義的策略の擁護をスカンヂナヴイア半島にまで擴大せんとしつつありとして英佛側がこんな發言をしてゐる、勿論英佛側から發言してゐるのではない、パリからの報に依るとイタリー、スペインその他の國々から多量の軍需品がフランス國内通過の許可を受けてスエーデン、ノルウエー經由でフインランドに向ひつつある、然も不思議なことには

スペイン から送られるものの中には嘗てフランコ將軍が叛亂を起した、スペイン内亂の際赤軍援助の爲にソ聯から送られた武器、軍需品も含まれてゐるが、對外援助に就てはアメリカも華々しい一役を買つてゐる、ル大統領は十一日

余は民主、共和兩黨が一致しフインランドに與へるアメリカの援助問題を討議せられることを議會に要請した

旨を言明した、米下院は十二日の本會議に於て現在の歐洲紛爭に對する中立政策、國防強化特別支出を含む齋藏の結果總額一億六千四百六十一万二千九百六十七弗を支出する同案を可決した、上院海軍委員長ウオルシュ氏は

十三億弗 の規模に海軍大擴張を企圖するが如きは全く必要なきことがあると痛烈に政府を非難した、之に對し海軍作戰部長スターク提督は海軍はドイツ海軍及英よりも遙かに優秀な潛艦巡洋艦建造を目論んでゐる旨を明かにしたのである、米海軍の擴張計畫は既に日本側に反響を呼び起した、即ち日本海軍の代弁者は日米海軍の大建艦競爭に依り日米兩國の上にも新しい建艦競爭が行はれるであらうと述べたのである、スカンヂナヴイア諸國はソ芬戰爭に對して歐洲に向けて見る、そして眼の度を高めつつある旨を表明した、これはスカンヂナヴイア諸國が

ソ芬戰爭 に對して中立と云ふものの事實は平和[illegible]ソ[illegible]中立であるからだ、スエーデン政府は目下アメリカとの間に借款交渉を進めてゐるとの說が傳へられてゐるが、スエーデン方面からの情報に依るとこの報道は間違ひないらしい、ノールウエー國王ハーコン七世陛下は議會の開會式に當り極めて注意深い言葉を以てフインランドに對する同情を表明すると共に一九四〇年には全歐に平和が訪れる事を切望された、ソ芬の戰爭行動を見るとソ聯は獨の考へがどうあらうと少しも構ふことなく、フインランド征服の企圖を放棄しないと云ふ印象が深められる

十一日夜

ソ聯艦隊 はフインランド東南の要塞コイヴイストに對し猛烈な砲擊を加へた、フインランド政府は右ソ聯艦隊はコイヴイストからの沿岸砲台の猛烈な反擊に耐へかねて退却されたと主張してゐる、十二日の地上は比較的平穩だつたが、ソ聯空軍は飛び鐵道要點やその他の中心地點を爆擊した、この爆擊でラーチにあるフインランド最大の放送局は放送不能になつた

獨逸軍百萬を

獨和國境に集結

【ロンドン十四日發特約電報】アムステルダムの第三國人筋からの情報として十四日夜當地に達した處に依ればドイツ軍はオランダの南東國境に沿ひ八十五萬乃至百萬の大軍を集結したとの事である、オランダ當局は十四日長近休暇を與へたばかりの兵士に至急歸隊を命ずる措置を取ると共にベルギー當局も更に[illegible]の召集を行つたが、兩國政府はこの處置は重大なる緊迫手段である事を力說して居り國内は非常に平靜である、又ロンドンに於てもオランダ、ベルギー兩國の事態は今俄に惡化する事を暗示する徵候はない

白國 【ブラツセル十三日發同盟】最近ドイツ軍のドイツ、ベルギー國境集結に移動が頻に活潑を加へるに至つたのでベルギー國防省は万一の事態に備へるため十三日午後日下賜暇帰休中の兵士に對し原隊歸營命令を發した

【ニユーヨーク十三日發特約電報】ベルギー軍當局は全軍隊の休暇を取消した旨十三日ラヂオ放送を行つた

和蘭 【ハーグ十四日發同盟】オランダ政府は十四日ベルギー政府の例に倣ひ目下休暇中の兵士に對し急遽原隊歸還を命じた、オランダ軍當局では緊急措置の理由として「或種の動きが認められた爲め」とのみ稱してゐるが最近國境方面に於けるドイツ軍の集結並びに移動が俄に活潑を加へたと傳へられるに鑑みかかる措置に出たものと見られてゐる

英國 【ロンドン十四日發同盟】オランダ、ベルギー兩國政府が相次いで軍隊の休暇取消を命じドイツ軍のオランダ國境集結說と關聯し注目されてゐる折柄、イギリス陸軍省も十四日大陸遠征軍の休暇を一時中止する旨を發表した

ソ軍總攻擊か

六箇師團到着すれば

【パリ十三日發特約電報】ソ聯軍は新たに六箇師團の到着を待つて總攻擊を開始することに決定したと傳へられてゐる

ソ聯機ヘルシンキを襲ふ

【ニユーヨーク十三日發特約電報】ヘルシンキよりの情報に依れば十三日ソ聯機がヘルシンキを空襲、爆彈約五十箇を投下した、この空襲により市民二名が死亡し四十名が負傷した、一方東北戰線におけるソ聯軍はフインランドを南北に中斷せんがため猛進擊を開始した

埃及の軍事豫算

【ローマ十二日發特約電報】カイロ來電、エヂプト政府は十二日の閣議に於て一九四〇年度の軍事豫算千五百五十万エヂプト磅となす事に決定した、この金額は主として戰爭物資の購入に充てられる筈である

比島の國家主義經濟

―小賣業は比島人の手で―

ケソン大統領強調す (下)

マニラ國會は比島人小賣業者保護を目的とする法案を提出し、更に

政府で は議會其他の立法を俟つことなく計畫遂行に努むべく去る十六日にはヴアルガス大統領府書記官長より

一、日常必需品の最高價格を決定し暴利取締法に基づくトレーディング・アドミニストレーションの設置

一、小賣業及び市場販賣業營業權の入札の下付を比島人にのみ限定する

一、農業、工業關係者の共同組合の設置

の三案が起草近く大統領宛提出されるものと觀られて居り、トレーディング・アドミニストレーションの設置に就ては設定資金一千万比(邦貨約二千万円)を以て設立し政府の代表機關として輸入業に從事せしめ一般小賣業者に對して商品を低廉に卸賣して比島人小賣業者を援けんとするものであり内務省でもこれに呼應してアルナン長官が廿日特別市々長を召集して

一、以後小賣業の許可を新たに外人に對し許可せざること

一、外人小賣商が營業を中止した場合其の營業權を比島人に讓渡すること

一、市營市場が公設市場の販賣店を調査し比島人營業權を完全に取得すること

の三項を認議した、一方マニラ市會に於てはケソン大統領の演說に刀を得てセシリオ議長以下、一議員によつて三ケ月間の猶豫期間を與へて公設市場より米比人以外の外國人を驅逐せんとする法案を提出したが、公設市場の經營は當然比島國民の手でといふ主張は[illegible]

米國と 他の諸國間に締結されてゐる通商條約の規定を犯すものとならぬかどうかといふ問題を孕み、最も困難な問題として政府筋に認識されるに至つた、しかして前者に於ては國内の法的問題であり市營たる公設市場に關しては外人に對する禁止措置を振ひ得るとしても他に關しては其の法的問題を簡單に處理しうるとしてもこれに關しては司法省の研究に委ねるべく既にサントス司法長官に對し法案決定事項を報告し之が法的研究をなさしめつつあり後者に於ては政府は比島高等弁務官を通じて米國國務省に相談すべく準備中であると報ぜられ、更に高等弁務官局でも若し比島政府よりかかる相談に接した場合に備へて國務省當局と非公式に連絡し、

…

自殺直前のシユペー號艦長
……右端が當のラングスドルフ大佐……

文部辭令 (東京十三日發同盟)十三日發令

東京帝國大學書記官 江口 肅哉

任第八高等學校長 北海道帝國大學豫科教授 伊藤 仁吉

任第五高等學校長 福島高等商業學校長 [illegible]

任廣島高等學校長 廣島高等學校教授 [illegible]

任東京高等學校長 松山高等學校教授 藤原 正

任廣島高等學校長 第五高等學校教授 菊地 清治

任東京帝國大學書記官 第八高等學校教授 十時 彌

任新潟高等學校長 東京高等學校教授 小松原隆二

文部書記官 文官分限令第十一條第一項第四號に依り休職仰付らる 横山 俊平

新潟高等學校長 川副 光康

依願免本官 新潟高等學校教授 藤田 猪太郎

新潟高等學校長事務取扱を命ず

電力制限強化

【東京十四日發同盟】石炭不足の爲め電力制限の強化不可避として遞信省當局は各遞信局に準備命令を發すると共に石炭手當に大童となり、十二日遞信、商工兩次官、電氣廳、燃料局兩長官の聯合協議會を開いたが、石炭手當につき確たる見通しを得ざる爲め愈よ關西は十四日より二十日まで二割八分(現在一割)關東は十五日より二割(現在一割)の夫々制限強化を實行することと決定した

家庭用電氣を制限

【東京十四日發同盟】電氣廳は當面の電力制限については業者の自主的統制に依り實施し適當時期に電力調整令に依る法的措置を取ることになつたが、先づ第一に實施されるのは家庭用電燈の制限となる筈で、大體十一燭以上は法律に依り二割の制限を行ひそれ以下は一般の自粛に依り制限を行ふこととなる模樣である

發送電へ供給する石炭確保連絡會議

【東京十四日發同盟】發送電に供給すべき石炭確保の各省連絡會議は十四日午前首相官邸に開催、商工、遞信、鐵道、拓務各大臣、次官關係局長、企畫院次長出席し、各省關係で發送電に協力すべく約束せる石炭を可及的速かに供給するやう申合せた

工事入札公告

一、松山結核療養所本館其他外部雜工事、一月二十二日午前十一時競爭入札執行、詳細ハ二月十六日府報參照

總督官房會計課

大阪商船 臺灣出帆 高雄出帆 △船客お斷り

門司 神戸行 …

大連汽船 基隆出帆

辰馬汽船 出帆

日本郵船 基隆出帆

東亞海運 基隆出帆

テルビーは 慢性胃腸藥

山葉標準 セクショナル書架
御藏書の増すに從ひ積重ね自由な書架
型錄進呈
日本樂器會社 臺北市榮町三ノ三

公債株式賣買
迅速 清算
本店 台北市西門町三ノ一九 電話二一八七 振替 …
出張所 台北市日新町二ノ三二 電話…四七〇一番
丸市商店 中田義己

甘栗
みりんやき 本場甘栗
臺北市榮町二丁目 ヒカル食堂本店 電話五〇〇式番 …

最高の品質 最大生産力
最古の歷史 最新の設備
羽東ソース
台北市京町 越智商店

防空資材御整備ハ先ヅ竹腰商店ヘ御用命ヲ乞フ

時代の要求 便利な貸衣裳を御利用下さい
御婚禮 御葬儀 の御衣裳は!
御報次第上ス
台北市京町台日前 阿部貸衣裳部 電話五一八五番

大正式無煙ボイラ(汽罐)

本汽罐は多年の實驗と科學的研究に基き考案せるもので一般釀造業、豆腐製造染物工場、蒲鉾工場並に菓子製造業にも利用業者に對し最も輕便で近來小規模で風呂及び香湯にも兼用出來る代理想蒸汽特長十分し容易で蒸汽の發生率も百%で唯一の燃料も三取扱ひ内外は蒸汽用の生百で燃料節約更に汽の用途試用で堅牢永年使用に堪へます
臺北市宮前町二八 電話三二八八番
大正鐵工所

清酒 若翠(ワカミドリ)
宮内省御用達 リボンシトロン
アサヒビール
台北・台南・嘉義 宅商會

内科 小兒科 呼吸器病 淺井病院 台北市末廣町 入院隨意・電二四〇三番

皮膚科 性病科 於保診療所 台北市京町四ノ五二 電話七六四七番 於保乙彦

治療補綴 レントゲン診査 大原齒科醫院 台北市榮町四ノ二〇 電話六八六二番

せきやみの 福福 セカ藥
發賣元 南門藥局 台北

電氣時計
御贈答用記念品
眼鏡 時計に置物
電話 二八二二 二九三七番
台北榮町 鎌野時計舖

かぜに備へて!

感冒の發熱、頭痛頭重、節々の痛み

…には最新の解熱鎭痛劑として好評あるリボリンをお服み下さい。

少量でよく痛みを和らげ安全に熱を去ります。

少量で効き副作用がない

リボリンは藥理學上極めて興味ある藥物相乘作用を應用して製せられたもので、その成分藥物(ポンピリン並アミノピリンとバルビタールとの分子結合体)の解熱鎭痛作用がその個々の緩和より遙かに増強されて發現しますから……

リボリンの鎭痛並に解熱作用は極めて强力で、從つて服用量は少くてすみ經濟的です。

しかも頭痛藥の缺陷とする「胃腸や心臟への障碍」のないのが特長で、御婦人やお子様老人方にも安全です。

効能 感冒、頭痛、頭重、眩暈、齒痛、扁腺桃炎の疼痛、神經痛、月經痛、腰痛、宿醉、船車暈、結核性の微熱に

(定價)四錠…三〇錢 八錠…五〇錢 二〇錠…一圓 五〇錠…二圓 一〇〇錠…三圓五〇 藥店にあり

感冒・頭痛に リボリン

發賣元 大阪市道修町 武田長兵衛商店
關東代理店 東京市 小西新兵衛商店

段丘砂金試掘費

十五年度豫算に追加要求

臺灣一帶の中央山脈に源を發する各河川には高位段丘が各所にあり、その數は幾百となくあり然も砂金を包藏してゐるものが多く、その埋藏量は數百億と稱せられこの段丘砂金が各溪流に溪流砂金供給の源泉となつて居ることが判明したので、この高位段丘砂金の開發は現下の戰時經濟體制下にあつては緊急事であるので、府鑛務課では昭和十五年度に砂金試掘費として砂金鑛業試掘調査に開發に要する豫算を追加要求するための協議打合會を十五日午前十時より臺北市協和會館に於て開催した出席者は殖產局(鑛務課、山林課、營林所)交通局(道路港灣課)內務局(土木課)警務局(理蕃課)總督府(財務課)の各係官の他高雄、臺南の各州係官出席、協議を重ねた結果取敢へず十五年度にタッキリ大南澳、南澳水の先鋒一段調査をなせる各溪流流域の段丘全部に對し試掘を行ふ事とし、これに關聯して道路開鑿、番社移住、水路及び水力電氣等に及ぼす影響と對策を具體的に調査し之に要する經費と試掘に要する經費を本月末までに取纏め打つて一丸とし試掘費として計上今議會に追加要求することと決定午後二時散會した

砂金調査班

六班が廿日一齊に入山

府鑛務課では既報までにタッキリ大南澳、南澳水の各河川につきその流域の高位段丘分布狀況調査を行つたが、更に今年度內に全島に亘り殘餘の各河川についても同樣の調査を行ひ全島の高位段丘分布狀態を明かにするため、左の如く調査班に試掘班を編制して來る二十日より六十日間の豫定で一齊に出發することとなつた

▲木村技師班　臺中州、花蓮港廳

▲牧山技師班　臺中、新北、高雄(下淡水溪上流の荖濃溪流域)

▲小笠原技師班　花蓮港、臺東廳

▲久住囑託　臺中州

▲千住技師　臺東(シンプロ、ラクラク、タスカウ)

▲石崎技師　臺北州(宜蘭濁水、大南澳の北溪流域)

尚段丘砂金試掘班は目下鑛務課に於て編制中でこれも二十日入山の豫定である

管理米買入並に管外搬出割當を協議

米穀局では十三、四の兩日に亘り府會議室に於て全島內務部長會議を開き一月以降五月末までの各州廳に對する管理米買入割當並に管外搬出割當等につき協議したが、蓋し臺灣に於ける十四年二期米の實收高を以てしては既に不足を生ずる惧れあるので、一月十五日現在にて全島一齊に實施する在米高調査の結果を俟つてこの數字を基礎として公正なる割當を行ふことに決定した、

一、管理米納入については州廳相互間は割當量を取纏め官民相協力して對應すること

一、管外搬出については各州廳とも徒にブロックを築き管外搬出割當等のことを行はず、全島一體となつて有無相通の精神を以て島內消費米の適正なる需給を圖ることその方法としては各州廳の現狀に基き各州廳米穀商同業組合の斡旋により管外搬出入の統制を圖ること

一、籾米については酒造は內地に協力して本米穀年度に於て五万石の節米をなすこととなつたこの內譯は酒造米六千石、酒食代用食の提唱により九千石、臺食代用食の獎勵により三万五千石であるが、これだけの節米は是非實行すること

本島の鋼材配給機構

根本から改革成る

本島の鋼材配給機構として昭和十三年秋頃、台灣鋼材配給株式會社を設立したが、本島の鋼材配給機構は特定民需と一般民需とに別け、大口を占める特定民需の配給は直接內地の大きな工場と關係を有する三井、三菱その他有力商社の手により直接內地より移入販賣してゐるがその販賣價格は丸ベースに例を取れば噸當り百八十六圓となつて居り、一般民需は台灣鋼材株式會社の手により特定民需の販賣價格と同値にて移入され之に配給しここでも口錢を加算して特約店に配給し一般民需家に販賣され價格の點で甚だ不利であつた、そのため有力鋼材商の取扱品は順調に移入販賣されるが鋼材會社扱の分は不振を極めてゐる實情なので本島の配給機構改革の要望が高まつた、依つて府商工課では、

一、產業に影響を受けた盤の迅速且つ圓滑なる移入

一、產業鋼材會社の四圍組織を期するためその機能を增強し經營を安定せしめ往年の基礎を固めること

一、一般民需も特定民需同樣に低廉なる價格たらしめ公平を期すること

一、產業鋼材配給機構を鋼材會社一本に一元化せしめること

との方針に基き鋼材商等專務官を上京せしめ商工省當局と折衝を重ねた結果、商工省側は大體認めるが特定民需をも鋼材會社をして一元的に扱ひしめることは從來之を業として來た有力鋼材商を失業せしめその地盤を失はすことになるからこの點だけは認め得ぬと主張し改革をなさんとする他の諸點は之を承認するに至り大阪鋼材東京鋼材等の台灣に移出をしてゐた內地各地方配給機構を打つて一丸とせる台灣移出合同機關を組織することとなり、この機關の出張所を台灣に設置、この出張所より特定民需を扱ふ有力鋼材商並に台灣鋼材會社に對し過去數年の實績を基準として夫々鋼材配給の公正なる割當を行ふ、而して特定民需は從來通り有力鋼材商の手により配給され、一般民需は鋼材會社の統制の手を經てその特約店に配給されることとなつた、而して販賣價格は有力鋼材商と特約店と同一價格に改められ、台灣鋼材會社は同社の口錢と特約店の口錢とを合せたる額だけ安く合同機關出張所より配給を受けることとなつた、右の口錢は丸ベースに例を取ると噸當り十七円にして會社及び特約店との口錢割合は兩者間にて折衝することとなつてゐる、尚ほ出張所から配給される特定民需と一般民需との配給割合比率に關しては近日中に商工省當局と打合の要あるから、臺灣總督府當局及び台灣鋼材會社の重役及び支配人が上京して合同機關との間に折衝する筈である、又本島の鋼材配給統制規則も改正されることとなつてゐる、今回の改革により鋼材の適正なる移入確保と島內販賣價格の迅速なる公平な配給台灣鋼材會社の存立基盤が確立することとなつた

今期產糖は激減

一千九百萬擔を割るか

原料が一般に細くて短かい

今期の製糖は擔當開始以來既に約二ケ月になるが、今日までの實績を見ると步留では豫想通りで前期に比し稍良好であるが、肝腎の原料甘蔗が第二回豫想に比し更に減收を告げ而も十一月中旬に至り強烈な季節風に見舞はれ折損倒伏もあり又蟲害に侵かれて甘蔗の發育を阻害された地方もあるのみならず出現開花步合も可なり多く今後に生長の可能性が乏しいことも前期と大いに異なる點であり又本期の產甘蔗は細く短かいことは一般的で此の出來不良は昨年六、七、八月に亘る未曾有の多雨と低溫並に日照不足によるもので之れによる原料減收は意外に甚だしく步留で幾分補ふにしても結局減收は第二回豫想より少くも百八十万擔程度の減產を免れざるべく新式製糖八社を合せ或は一千九百万擔を割るのでないかと云はれてゐる

赤糖も大減產

配給計畫は一段と壓縮化

本島の十四、五年期赤糖產額は第二回豫想で七十九万擔にして台灣赤糖同業組合では之が配給を島內消費二十五万擔、內地移出二十万擔、朝鮮移出二十六万八千擔、滿洲及び支那向輸出八万二千擔、計八十万擔と決定してゐたが、最近の赤糖產況より推定すると赤糖生產者は七十五万擔以下と觀られるこの結果既定の配給計畫は根本的に壓縮更へを行ひ配給は一段と窮屈化するの外なきに至つた、依つて赤糖同業組合では十五日午後府特產課に對し配給計畫再編成の指示を仰いだ

聯盟支部幹事

明糖中川氏に代り　日糖永井氏就任

日本糖業聯合會の台灣支部幹事は昨年一月以來明治製糖常務中川蕃氏が專當となつてゐたが十四日の總會で任期滿了改選の結果大日本製糖常務台灣支社長永井清次氏が繼選就任することになり兩氏より挨拶狀を發送した

高砂麥酒總會

高砂麥酒株式會社は本月二十日午前十時市內上埤頭の同社で第二十五回定時總會を開催、昨年中の利益金處分案(成績良好なるも配當未定)と新重役選出に伴ふ定款變更の件を附議する由

配合肥料製造業組合設立

【東京十四日發同盟】農林省では配合肥料の價格調整並に配給の適正を圖る爲め配合肥料の配給機構と同樣價格の決定其他無機質肥料と同樣の統制を行ふ目的で近く泥肥料を除く年產五百噸以上の配合肥料製造業者、日……以て重要肥料業統制法に依る配合肥料製造組合を設立せしめることとなり十五日附官報を以て重要肥料業統制法施行規則を改正施行する事となつた

春蠶增產決議

【東京十五日發本社特電】農林省では十三日の蠶絲業者懇談會に於て本年春蠶の生產目標を九千八百万貫(十四年春蠶實收高に比し千七百万貫增)に置き大增產の實現を圖ることを決議した

臺北州製茶同業組合會開く

臺北州製茶同業組合では十五日午後一時から公會堂二階中集會室に於て昭和十五年度定時組合會を開催、十四年度中の事業收支決算報告十五年度事業豫算等について協議を行つた

臺北米穀會社設立

消費米の仲買に指定

臺北市民の消費米は從來台北州下の外中南部各地から搬入され卸商又は精米業者から小賣商へ配給されてゐたが、今度之を統制する爲め鐵道沿線各地から台北市に搬入する消費米は台北州米穀同業組合の斡旋で賣買を斡旋し台北米穀卸商組合と台北市白米商組合が仲買として指定せられたので台北米穀卸商組合では卅二万市民の爲め消費米の円滑なる配給といふ使命を達成すべく同組合を一層強化し株式會社に改組し資本金十九万六千圓、內十五万六千八百円拂込にて十五日午後三時廿分市內鐵道ホテルに於て發起人總會を開催し株式會社を組織する事となり、出席者は從來の組合員、同業者其他二十九名、台北市勸業課の總務商工係長、台北州米穀同業組合鐵道中央部、彰銀中村支店長、台銀本館課、中商台銀、北銀營業課經濟正員商……

基隆の信組總會

【基隆電話】基隆市各信用組合總會は左の如くそれぞれ公會堂に於て開催される

二十日午後二時基隆信用組合

二十二日午後二時商工信用組合

二十五日午後一時基隆信用組合

濱絲同復

【橫濱十五日發同盟】橫濱生絲市場は臨時立會停止の後を受けて休日明け開場前市に拔け解合ひ進行したことと及び米內新內閣の好感等から著しく落着を回復し、休會前に比し當限の二十五錢安以外は中限は保合ひ乃至二十二錢高と小強く、先限は二十円六十錢から四十錢と四十一錢高と引けた

證券興業一割配當

證券興業株式會社は十五日午後四時より臺北市公會堂にて第一回定時總會を開催、出席者十七名、此の株數二、四八〇株(總株主二、四八〇株)六名三、八〇〇株の內に達し專務小山新太郎氏議長席に着き昨年下半期の營業報告あり監査役藤岡英夫氏監査報告をなし株主吉川三郎氏より質問及び希望があり滿場一致で次の利益金處分案(三分增し年一割配當)を可決、新商店設立に伴ふ定款變更の件も可決五時散會した(單位圓)

當期益金	九、〇九〇
前期繰越	一、六二六
合計	一〇、七一六
內	
法定積立金	五〇〇
社員退職基金	五〇〇
株主配當金(年一割)	二、二五〇
役員賞與金	一、二〇〇
後期繰越金	六、〇四一

何組合事務所は建成町四丁目に置くことになつてゐる

係官其他の關係設立委員人名代表者逐時氏より經過報告あり、氏名長に推して議事に入つたが、一株主の動議に依り役員選任は議長の指名に一任して次の如く決定し役員の報酬は役員會に一任となり十一時五十分散會した

取締役社長 [illegible]　取締役 林訓頭、同陳邦道、同吳鶴鳴　監査役 [illegible]

東京市中コール

【十五日本社特電】

	標準	安値	高値
無條件	〇、〇〇	〇、〇〇	〇、〇〇
翌日物	〇、八五	〇、八〇	〇、八〇
月越物	〇、八〇	一、一〇	〇、八〇

日銀帳尻(單位千円)

發行高	二、九六八、八六六	預金	四〇一、二六〇
正貨準備	[illegible]	貸出	四一九、一二〇
		銀外發行	六六九、七〇三

內外商況欄(十五日)

大米雜觀

【大阪十五日發同盟】年末から鮮米二万叺が大阪に入つたが十三日にも一万五千八百二十叺入荷した大阪米屋は米內內閣を歡迎してゐるが大藏、農林、商工に適材を希望し、寧ろ政黨出を希望してゐるが計畫的需給策樹立し、足らぬものは足らぬとはつきり國民に節米統制を圖る明朗性を期待する

絲況

大阪棉花後場

	寄	引
一月限	七四、五〇	ー
二月限	七六、二五	ー
六月限	八六、二五	八六、〇〇
七月限	八七、八五	八七、七〇

橫濱生絲後場

	寄	引
一月限	二〇、九九	二〇、九八
二月限	二〇、五一	二〇、四一
三月限	二〇、三九	二〇、二〇
四月限	二〇、四〇	二〇、一五
五月限	二〇、四〇	二〇、〇九
六月限	二〇、〇〇	一九、九九

株式

米內大將歡迎で手堅い

兜町後場況

【東京十五日發同盟】人氣は同組閣決定俟ちの形であるが材料含みのものは物色買ひ依然强く短期新東は百四十九円丁度に始まり、アト西內薄で九円中心の小締保合に終つた、長期の繊維株は東京人絹がレーヨンとの合併說を蒸返し四円近く昂騰したのが目立つた、其他各株は區々東株は變らず同新は四十錢安と下押した

東京長期前場

富士紡	一七六、五	同新	一四四、七
鐘紡	一八四、五	鐘新	一二二、三
片倉	一四〇、三	帝人新	一二四、六
洋紡工	一六三、六	同新	一五一、六
大東紡	一五七、四	帝麻	一〇四、八
東電	一六六、九	同新	一八七、五
帝蕃	一八五、三	臺蕃	一四四、九
沖蕃	一五〇、三		
鹽業	一〇八、六	電化	七五、五
日鑛	一九三、七	滿洲	未着
東株	一五一、一	東新	一五〇、八
郵船	未着	同新	一八八、六
商船	一〇二、八	同新	七七、三
石川島	一七九、二		
浦賀	九八、五		

東京短期後場

[illegible]

東京長期後場

[illegible]

大阪短期後場

[illegible]

大阪長期後場

[illegible]

《北濱展望》

【大阪十五日發同盟】米內內閣出現に政局不安薄らいだが主力、株とも手堅く、寄付は東京新が保然上籾に逆轉し百五十円の整なり、大阪も四十九円四十錢と東西同値の二十錢高に寄付、アト七十錢に縮つたが前場立會中には大藏、商工、農林各大臣未定の上前途に物價對策等あり、政局安定感のみにては保然とせず、新政策發表待ちに自重して居り、目先の動きは望み薄である

財界　株界

【東京十五日發本社特電】米內海軍大將に大命降下し政局は漸く安定を見るに至つたため朝來の株式市場は頗る明朗化し諸株一齊に強調を呈した、米內大將の穩健味を以てすれば外交內政共に円滑に運ばるであらうと同大將への大命降下には一般に氣を良くし好調を以て迎へた▲大藏、商工の經濟閣僚が未決定のため積極的に腰を入れる事も警戒されては居るが兎に角政局が安定したと云ふ事は市場にとつて大きな強材料である▲市場としては經濟閣僚の決定と共に今後統制物資物價問題の調整、インフレ防遏策等如何なる政策が講ぜられるかこの點を重視して居る孰れにしても今後の財政政策の方向如何が見極めつかねば市場としても積極的な行動は執り得ない譯である▲市場人氣の明朗化と共に材料含みの艦株に對し再び物色買氣が擡頭して來たが主として重工業、工作機械株等が高かつた浦賀船渠、新潟鐵工、滿洲工業、池貝鐵工、日本特工、三菱重工、昭和特殊鋼、日本製鋼、小倉製鋼等である▲新潟鐵工の如きは遂に百円台を突破するに至つたが同社は事業の發展に伴ひ未拂込二十五円を近く一齊に徵收して今期配額增資の實現を見越されてゐる又滿洲工業も近く第二回拂込の發表を豫想されて居り更に又その後矢繼早に拂込を徵收されるものと見られて居た、特殊鋼も一分增配の一割配當が見越されて居り今上海會まで豫想されて居るため最近後會ある毎に買進められて居る▲電力株では黑部川水力が強調して目立つた、電力會社中最も早く多角經營に乘出した會社であるが製鐵、輕合金部門の系統的發展が此處へ來て拂込徵收、配額增資が期待されて居る▲日本火藥も健に依つて再評價されて居たがこの株は相變らず二倍若は三倍增資說が然し返されてゐるものである▲從來東京人絹との合併說が流されて居たがこれも最近の合併說を蒸し返したものである▲鐘紡はこの樣に好材料であるが新東株は前後場ともに百四十九円搦みを往來した、東株一般取引員室月乙彥君曰く『米內大將に大命降下した事はまことに結構な事である、大將の穩健味を以てすれば外交內政共に円滑に運ぶであらうし又事變處理も期待され進展が期待される、殊に大物主義を建前として組閣工作が進められて居る樣であり大藏、商工等經濟大臣には經驗のある有力者が豫想されて居る樣であるからこの意味に於て證券界としても米內內閣に多大の好感を以て迎へる次第である』

東南西北

東海自動車運輸は昭和九年總督府の許可を得、同六年三月創立してから約十年になるが、今度創立以來の專務原吉太郎氏が辭任し、社長後宮信太郎氏も本月三十日の總會を最後に社長を辭任することになり、顧問の白勢黎吉氏が取締役一名の補缺に當選してから社長に就任することに內定し白勢氏は近く東京から台北に移住することにきまつた▲後宮氏の關係事業は內地、台灣、朝鮮の各地に亘つて可なり多くなつてゐるが、近年內地の事業に力を注いでゐる關係と一つは後進に途を讓る意味もあつて台灣に於ける關係會社の社長は漸次勇退する決意をなし、一昨年台灣瓦斯の社長を辭任したのが最初で昨年高砂麥酒の社長を辭し今度は東海自動車といふわけだが、今一つ台灣製紙は先頃來台灣パルプに合併交涉中でこれが成立すると此の會社の社長は自然消滅するが、その代り台灣パルプの取締役として殘るわけだ▲ところが台灣煉瓦の社長だけは辭任しないさうだ、それは台灣に於ける氏の發祥事業であり最も因緣深いものがあるからだ▲斯くて台灣に於ける社長の椅子が台灣煉瓦だけになつても氏の取締役又は監査役としての關係會社はまだ可なりある、即ち台灣電力監事、台灣合同鳳梨、台灣パルプ、台灣瓦斯、台灣土地建物の各取締役、日本アルミ、東邦金屬製錬、台灣纖維工業の各監査役、台灣商銀相談役等々である▲現に台灣商議と台北商議の兩會頭でもあり又台灣での所得稅納入者として個人では正に筆頭にある後宮老は、まだまだ台灣とは緣が切れないこと勿論だ▲東海自動車の專務を辭任した原吉太郎氏は明治三十年渡台し府鐵道部に二十年間勤續し事務官を最後に勇退してから東京に十九年間生活し一時鐵道省に勤めてゐたが、昭和五年再渡台し偶々東海自動車創立に際しての事務に就任して今日まで約九年間同社の經營に當り大いに功績を挙げた人である▲後宮社長に辭意あるを知つた氏はこれを機會に勇退するに至つたわけだが、今年七十五歲と聞いては誰しも意外とする所で、年齡には不足はないが、まだまだ元氣で血色も好いのは無事息災極めて壯健な證左であらう▲原氏は當分台北で悠々自適し三月初頃歸台東京で餘生を送るさうだ。

緊急公告

諸物價暴騰の折柄●所然、發表せる本會獨歩の四十錢均一大奉仕●いつ迄カンバル？●出版界暴擧に呆れず、何卒御後援を願ひ升

○四册以上は代金引替大歡迎ハガキ一枚でスグ送本

見逃す勿れ　御買時の絶好チャンス

●御注意と御願ひ迄●代金引替は必ず四册以上に願升●四册以下は前金に願升●前金での御注文は切手でも何でも結構、直接本會特賣部宛に願升

新本　定價無視　原價思ひ切つた　四十錢均一　ハガキ一枚でスグ送本

書名（送料）：新版漢和大辭典12　最新いろは新辭典6　ペン字入實用新辭典9　最新模範新語辭典6　中等英和辭典9　付かな佛和新辭典6　付かな露和新辭典6　エスペラント語新辭典9　くづし字三體ペン毛筆辭典6　實用新案ペン字入り手紙寶典6　新らしい手紙の書き方9　ペン青年手紙上達帖6　新時代の女子書翰文6　戰地に送る女子慰問手紙集9　出征兵士に送る慰問の手紙6　小學生の慰問文の作り方6　算術の解き方考へ方9　算術の基礎知識代數を初めて學ぶ人へ9　詳解珠算獨習講義9　最新珠算の學び方9　正しく英語の學び方9　スピード習英語の近道9　ABCより會話まで9　獨逸語入門9　社交と挨拶の仕方9　五分間演說集6　大雄辯名演說集12　文例選集6　現代雄辯十講12　皇民の書9　今日を築くまで10　思想善導6　立志より成功への近道6

觀音經新釋講話12　御歷代巡拜記10　神詣と溫泉めぐり6　工藝大圖鑑10　植物圖鑑6　滿鐵を語る12　朝鮮を語る12　將棋の手ほどき9　生きて働らく商業の覺へ方6　日本歷史年表6　日本歷史の知識6　日本地理の知識6　帝國軍歌集9　不老長生秘話9　合理的小賣經營法6　廣告文案集6　バイロン詩集6　ハイネ詩集6　ゲーテ詩集6　短歌の作り方6　俳句の作り方6　經濟肥料の作り方9　實用肥料の施し方9　促成栽培法9　甘藷作讀及栽培法9　趣味の養鷄法9　農村發展の基礎6　青少年就職の指導9　受驗必携の秘訣6　苦學上京案內6　中學百科寶典9　少年航空兵案內6　海軍志願讀本6　記憶力增進法6　藤村少年讀本9　藤村少年讀本9　藤村少年讀本9　藤村少年讀本9　藤村少年讀本9　家庭醫典12　理想の家庭6　家庭防空讀本10　家計簿9　藥用植物圖解9　運勢大鑑6　正しい證書の書き方9　名つけ字典9　戀愛と結婚の書6　結婚讀本6　秘密百科寶典6　法律の知識6　國民としての常識6　もの知り辭典6　陸軍の知識6　入營の心得6　催眠術祕傳6　忍術氣合術の正體6　護身術上達極意6　上達極意6　呪文まじない秘法6　夢判斷6

一萬圓物語10　金脈大功記10　岡辰大福帖10　儲けた人々10　貨殖百物語10　宣傳時代相10　黃金街を行く10　日本海海戰9　征空一萬五千粁6　北支より中支へ6　スパイ戰秘話6　文學名著集9　遣訓双書9　一休と曾呂利6　かなの解釋辭典6　新聞を讀む知識6　生物學の知識10　日滿支會話入門6　經濟學の知識6　世界の格言と警句6　宇宙の秘密6　音樂の知識9　新らしき年中行事6　自動車操縱法9　自然化學の知識6　日常科學の知識6　化學萬能の世界6　化學工業品の作り方6　自修化學精解9　劍舞と詩吟6　寫眞の理論と實際9　寫眞の撮り方9　略畫のかき方6　肺病肋膜の名灸秘傳9　初步の電氣學9　麻雀最新戰術9　軍人手紙文6　日本童話集12　茶目の日記12　偉人の修養6　女大學6　考へ方一千題6　現代文學の知識6　青年訓練教本9　相撲の手ほどき6　英語重要成句の研究10　英作文のこなし方6　かくし藝全書6　最新流行歌集6　浮世繪名作集6　これが世間だ9　海と兵隊9　陸と兵隊9　むら時雨12　伊達振子12　男山12　高倉長右衛門12　世界大地圖6　支那戰局地圖6　ソヴエイト大地圖6

無代進呈　●御申込の節……必ず新聞名……の御書添へを願ひます●　○短期間の大特賣！！今スグ御申込みを乞ふ

東京・杉並區・東田町通一ノ廿二　共同出版協會特賣部　振替東京一九〇一九番

ビオスメール

人工營養兒の發育增進に　生後一、二ケ月頃から、牛乳や粉乳にはビオスメール(ビタミン、滋養劑類を含んだ榮養の高いコナ粉)を加へてお與へになれば益々優秀な發育が望めます

包裝　(一/2ポンド)　一〇〇瓦

東京・大阪　和光堂

カッシロール　スパスター

治りにくい小兒の創傷に　疥癬に　濕疹に

本劑は特種の油脂に紫外線を照射し之に高き治癒力を與へ殺菌、消炎、肉芽發生等の作用ある數種の藥劑を配合して劑製した最も進歩した皮膚治療劑です。

包裝　一五瓦　八〇瓦　五〇〇瓦

東京・大阪　和光堂

BP.BM01

セキトメ　ボンシボン

セキに御用心　コドモの咳は美味しくてよく効くセキトメボンシボンで治しませう

定價　三〇　一〇〇　円

東京・大阪　和光堂

新齒磨ゼオラで齒と齒齦を強くし、よく嚙んで榮養を上げませう！

專賣特許　ゼオラ　藥用齒磨

ゼオラを御常用になると齒石がとれ齒齦がしつかりし齲齒・齒槽膿漏の不安は一掃され咀嚼力が倍加します！

在來品に比類のないゼオラの特長！

世界で唯一の主劑ゼオライトの置換作用で齒石をとり强力な吸着作用で齒垢や黴菌を吸着除去し、この二重作用で齲齒・齒槽膿漏を完全に防ぎ、比類のない清爽感を齎らします。御使用量は在來の半分量で十分！

ZEOLA　ゼオラ藥用齒磨

優良容器白磁入　廿五錢

發賣元　ミツワ石鹼本舖藥品部

J.24

激流(75)

久生十蘭作
伊勢良夫畫

四人の客(一)

冬彦に、ものを言はせる暇も與へずに、朋子は、ジロジロと潮室の中を見廻しながら、

「へえ、こんなとこなのかア。何かよつぽど変つたところだと思つてゐたのに、これは、ただの溫室ぢやないか」

と、言つて、急に声をひそめると、ひどい早口で、

「冬彦さん、あたし、あなたと飛谷の約束があつて來たことになつてゐるんだから、そのつもりでゐてちやうだい、よくつて?」

そして、歯の間からちよつと舌の先を出して見せた。

夫人の前では甘い蜜のやうに押し默り、無邪氣な笑顔ばかりしてゐるこの娘がこんな晴れ晴れしい快活な素振りをしようなぞとは、思ひもかけなかつたので、冬彦は呆氣にとられて、返事もせずに朋子の顔を眺めてゐた。

朋子の方は、そんなことには頓着なく、言ひたいだけのことを言つてしまふと、網扉の方へ駈け戻つて、平手でうるさく網扉を叩き立てながら、

「ここよ、ここよ。こつちへ入つていらつしやい。七面倒臭い、へんな顔をしてゐるから、あまり機嫌がよくないらしいけど……」

氣忙しい足音が近づいて來て、渡邊する風もなく、すらすらと祝子が入つて來た。

如何にも取つてつけたやうな、無意味な愛想笑ひをしながら、

「……しばらくね、ご機嫌よろしくつて?……大勢で御邪に押しかけて來て、ご迷惑ではありませんでしたかしら?」

冬彦は、默殺して、鄭重にお辭儀をした。

「ご機嫌よろしう。……どういふ風の吹き廻しで、はるばるこんなところまでおいでくださつたのですか?」

冬彦が言ふつもりだつたのだが、心の作用で、つい苦味が出た。あわてて言ひ直ほした。

「あまり意外な光榮で、呆氣にとられてゐるところなんです」

これもいけなかつた。冬彦は、意地になつて默り込んでしまつた。

朋子は、ジロジロと冬彦の顔を眺めあげながら、

「ふン、あまり氣に入らないやうなやうすね。ひとを呼んで置いてそんな顔ツてないわ。せめて、一度だけでもニツコリなさいよ」

冬彦は、仕方がなくなつて苦笑した。

祝子は、すぐ引き取つて、

「あたしの方は、どんな顔されたつてかまひませんのよ、冬彦さん……急な用件でやつて來たんですから、むづかしい顔の方が相應しいくらゐ」

冬彦は、つい弁解がましい口調になつて、

「……實は、たつた今、ここで大変な事がありましてね、ちよつとムシヤクシヤしてゐたもんだから……無愛想な顔はそのせゐなんで……」

「おやおや」

「今迄私の仕事を助けてゐてくれた男があまりだらしがないんで、解放を命じたばかしのところだつたんです。どうもはや……」

(意年?ぬけぬけと嘘を言ひやがる。この卑劣なところが、貴様の正體なんだぞ)

針のやうなものがチクリと良心を刺した。

が、云ひ出した言葉は、急には止らなかつた。

「くだらない奴で、こんな仕事にする誠意も熱意も持つてゐない男なんです。仕事の一部分を任さなければならない必要もあるのに、そんな風ぢや、とても安心してゐられるものぢやありませんからね……」

やうやくそこで、言葉がとまつた。さすがに心の中で赤面した。

朋子は、だしぬけに大きな声で喚んだ。

「そんなとこに突ツ立つてないでこつちイ入つて來なさいよウ」

網扉を押して、辰波が、悄ましいやうすで入つて來た。

ラヂオ

朝

【七・一〇】朝の挨拶、ラヂオ體操

【七・二〇】朝の修養(東京)我が國體と敬神思想(二)文學博士山本信哉

【七・五〇】朝の音樂(レコード)獨唱—歌劇「リゴレット」女心の唄(ヴェルデイ作曲)オー・ソレ・ミオ(カプア作曲)テイート・スキーパ

【八・一〇】初等ドイツ語講座(第五十一講)(臺北)西田正一

【九・二五】內臺定期船大和丸基隆入港時刻及後續列車時刻のおしらせ…鐵道部運輸課發表

【九・四五】家庭法律講座(第十四講)(臺北)家の法律(十二)戶主權の內容(下)入家去家同意權其他…高等法院覆審部判官—草薙晉

【一〇・一五】家庭料理獻立(臺北)相修女學校野田千鶴子案)一、小かぶと八つ子のお汁 二、かきの卵の北吹寄り(喬麥のみ)蜜柑第二高等女學校林尾ときこ案

【一一・〇〇】內豚取引相場(臺北)日用品小賣值段商業紹介事項(名古屋)

【一一・二〇】臨時官廳ニュース

晝

【一一・五九】正午の時報(東京)內臺定期船大和丸基隆入港時刻及後續列車時刻のおしらせ…鐵道部運輸課發表 公示事項告知事項、局報、午後の放送番組發表

【〇・一〇】晝間娛樂時間(レコード)浪曲「村の役者」東家樂浦 萬才—「貯金奨楽…リーガル千太、リーガル萬吉」素晴らしい金話け…砂川捨丸、中村春代、スポーツ時代…香島ラッキー、御園セブン

【一・〇〇】國民學校臺灣歴史(中等科第二十九講)(臺中)臺中市村上公學校長松村田重男

【四・〇〇】政府の時間(臺北)學校獨自講座(八)時技(一)平澤平三

【四・二〇】音樂番組時間大相撲實況(六日目)(東京)(東京國技館より)中繼

【五・五九】但定時放送には中繼す

【六・〇〇】北)コドモのニュース(臺北)臺北公學校六年王氏平滿子供の時間(東京)おおはなし—日本では今日良い天氣です

【六・二〇】子供の新聞(東京)賀田宜二

【六・二五】講演(廣島)親愛精神の風格…廣瀬豊

【六・四五】青年の時間(臺北)皇民化運動の一翼…沙鹿女子青年團員王氏巧蒸

【六・五五】カレント・トピックス(東京)

夜

【七・〇〇】子供の時間(臺北)子供劇場舘ニュース「勝等も御國の爲に」のお話…

【七・二〇】ニュース上奏天輔

【七・三〇】國民歌謡(東京)英靈讚歌(山崎貞造人作詞、山田耕筰作曲、陸海軍省推定)合唱—アイ

【七・四〇】講演(東京)第一次歐洲大戰の回顧と銃後國民の覺悟陸軍砲兵大佐小林順一郎

【八・〇〇】ピアノ獨奏(東京)奏鳴曲へ短調作品二ノ八(ベートーヴエン作曲)獨奏並解說—レオニード・クロイツアー、通譯—安田光吉

【八・二〇】ラヂオ時局讀本(東京)我等の戰時生活(下)

【八・四〇】青年の時間(東京)青年報國運動の新展開…大日本青年團長海軍大將有馬良橘

【九・〇〇】浪花節劇(東京)次郎長本傳—秋葉の仇討(中)神田ろ山

【九・二九】九・四〇】時報(東京)

【九・四一】物語(臺北)伸びゆく愛…湯本狂波、伴奏—臺北ラヂオ・オーケストラ

【九・四五】臺北から 家庭法律講座

草薙晉

◇家の法律(十二)戶主權の內容(下)入家去家同意權其他　民法は家族の入家去家共に殆んど例外なく直接又は間接に戶主の同意を要件としてゐるのであつて、而も通說に依れば、斯る同意を與ふるや否やは全然戶主の任意にして家族より之を要求する能はずと解釋されてゐるのであるが、これは獨立生計を樹立せる成年男子の分家と家族たる夫の死亡時に於ける寡婦の實家復籍とに對して不當なる障害を與へ、殊に寡婦に付戶主が飽く迄同意を拒否すれば再婚以外に婚家を去り得るすべなからしめる故に、私は斯る通說に對し戶主の專恣敵意に出づる理由なき同意拒否に對する戶主權濫用理論適用に依る無效說への讓歩を翹望するものであるが、注目すべきは民法改正要綱が特殊の場合を限つて家族の單意分家を認め、且つ寡婦の問題を家事審判所に委ねて双方の利害と立場とを裁量せしめるの制度樹立を企圖せることである。今日は法上の諸點と入家去家に付戶主の同意不要の場合、戶主と家族の何れに屬するか不明の財產を自己に屬すと推定せられる戶主の地位戶主の扶養義務、戶主權行使の法律上裏面上の障害に對する代行現定及之に關聯して戶主權代行者たる親權者たる母が自ら婚姻せむとする場合等の措置方法に付詳述する。

講演(東京七・四〇)

陸軍砲兵大佐　小林順一郎

◇第一次歐洲大戰の回顧と銃後國民の覺悟

氏は第一次歐洲大戰當時佛國駐在武官をされてゐた

紀元二千六百年。この光輝ある年を迎へて我々の決意もまた光榮ある新たなる出發をせねばならぬ。有史以來の未曾有の難局に直面しつつあるこの現實に際して二千六百年の讃美と回想の徒らなるお祭騒ぎは嚴に排斥されねばならぬ。事變の長期化に伴ひ我々の生活物質の上に苛烈な統制が企てられ、我々の衣食住生活の上に深刻な苦痛がもたらされるのは誠に當然至極の事で我々はこの偉大な大建設の勝利の爲にはむしろかかる苦難の路こそ歡喜ある將來への榮光の路であると考へる。然るに衣食住問題で我が國民が臥薪嘗膽の決意も忘れて不安妄動する現實は誠に歎かはしい限りである。武力戰の戰士は苦痛をしのぶ時、經濟戰の戰士も忍耐すべきだ。前線銃後も一樣に苦しみ、緊張克服することなく、退かず新たなる國民的大決意を說きたいと思ふ。

放送劇講習會　愛好家を募集

地元放送のラヂオ演劇に新生命をふきこむ目的で、現在台北放送局のマイクに立つてゐる声優常選の結成する台北放送劇團では廣く一般から新人を募り演技の練磨をかける為め、左の様にラヂオ・ドラマ講習會を開催することとなつた。參加希望者はJFAK氣付台北放送劇團宛申込まれたいと

一、日時　一月十九日(金)二十二日(月)　二十四日(水)二十六日(金)　二十九日(月)三十一日(水)の六日間、毎夕七時—九時

一、會場　新公園內放送局別館

一、會費　五十錢(テキスト代その他)

一、課目　ラヂオ・ドラマ概論、ラヂオドラマ製作法、演技論、完實發聲論、演技實習、音樂效果その他

一、講師・中山侑、乾谷?夫は

八・四〇東京から　青年の時間

海軍大將　有馬良橘

◇青年報國運動の新展開

氏は大日本青年團長

輝く紀元二千六百年はまた令旨奉戴二十周年に當る、全國の青年諸子は此の記念すべき新春に際し深く時局の重大性に目覺め心身を鍛錬し決意を新にして時艱の克服に邁進しなければならぬ、これが爲には經濟報國運動の趣旨を體し勤勞奉公、大いに生產の擴充を圖ることが大切である。就中資源の增產殊に木炭の增產の如きに務めて緊急を要する問題であるから青年諸子は當局の指示に從ひ私心を棄てて此の國民的大事業を成し遂行以て上聖旨に副ひ奉らんことを望むものである。

チセプタールは下記諸菌の徹底的殲滅を期す

短期殲滅

滅菌!
殺菌!
消菌!

淋菌　急性、慢性の淋疾及び女性淋疾諸症を起す戰慄の菌。——それを家庭内で簡單に内服するのみで完全に治癒出來る、スピード療法が發見された。而も何等の副作用なく體内の深部に於ける菌の絶滅を期すのである。三日間内服すれば、止膿・止痛・淋菌消退に至る臨床例が多い。チセプタールとそは全醫學界に賞讃されつゝある國際的最高規格品である。

連鎖狀球菌　肺炎・敗血症・産褥熱・中耳炎・扁桃腺炎・丹毒・疔・子宮周圍炎・淋巴管炎・淋巴腺炎・アンギーナ等を起す菌。「チセプタール」錠を一日二錠づつ内服すれば、病菌は漸次に死滅し快復に向ふといふ實験的實驗が完成された。

大腸菌　膀胱炎・腎盂炎・尿道炎・膽嚢炎・盲腸炎・腹膜炎・肋膜炎・敗血症等を起す菌。「チセプタール」錠內服の新療法が決定的であると醫藥界で最も注目されてゐる。

葡萄狀球菌　一般に消滅と聞はれ、人知れず苦悩のもととなつて居る女性疾患が、淋菌などでなくこの菌から生ずる事が多い。其他扁桃腺炎・中耳炎・骨髓炎・瘭疽等を起す菌。「チセプタール」錠は該病菌を撲滅せしめるから家庭藥としても、醫家は盛んに推奨されて居る。

肺炎菌　肺炎・氣管支炎・中耳炎等を起す菌。——「チセプタール」錠はこの病菌にも適應され其の卓效を推奨された!

呈　醫博士の治驗實驗報告を發賣元より發呈す

チセプタール錠
二苯スルフオンアミド劑　最高規格品

品切の節は直接御註文下さい。東京大八大八大へ八振替拂込で

二〇錠(三・五〇)百錠(一五・〇〇)
全國一流藥店・百貨店販賣

東京・池袋一丁目　製造發賣元　中外新藥商會　代理店　東京　小西新兵衛商店・大阪　安原富三郎商店

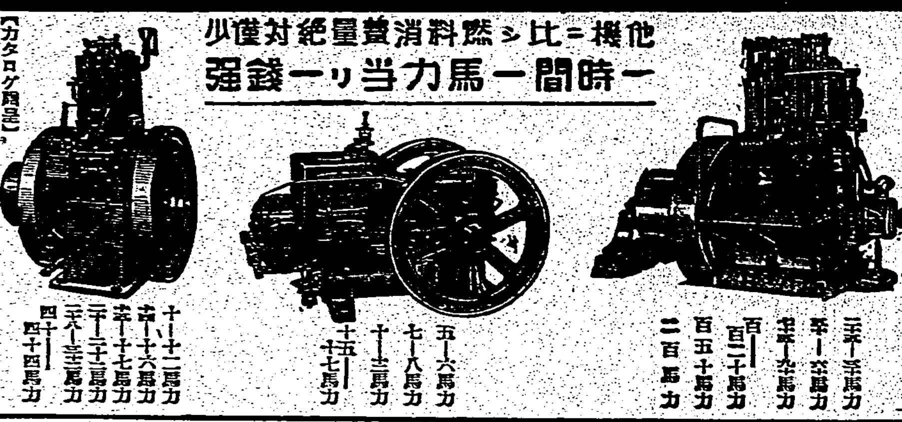
DISEPTAL = 4-(4'-Aminobenzolsulfonamido)-benzolsulfondimethylamid… H_2N⬭SO_2NH⬭$SO_2N(CH_3)_2$…… DISEPTAL = 4-(4'-Aminobenzolsulfonamido)-benzolsulfondimethylam

ヤンマーヂーゼルエンジン

內燃機界ノ權威

絕對ニ火氣其他淨菌操作ヲ要セズ

他機ニ比シ燃料消費量絕對僅少
一時間一馬力當リ一錢強



三.五—三.五馬力
五—六馬力
七—八馬力
十一—十二馬力
十五—十七馬力
十一—十二馬力
十六—十八馬力
二十六—二十七馬力
三十二—三十三馬力
四十—四十四馬力
百—百二十馬力
百五十馬力
二百馬力

【カタログ贈呈】

臺北市京町一丁目　總代理店　山岡發動機臺北支店　電話五〇六〇番
本社　大阪市北區茶屋町

梅毒と體毒にキキメて評判のベルツ丸

梅毒　が五年も十年も根抜けにならず、頭痛や神經痛、手足の痛み、不眠、健忘、動脈硬化、リウマチス等に侵されその害毒を子孫にまで及ぼし遂には一家を廃人の恐ろしきを痛感され、どうしたらその害毒をなくなれるかと思ひ悩んで居る方々が世間には澤山あります。所謂云ふ御氣の毒の方々へ是非お奨めしたいのは德國ベルツ博士で有名な毒梅內服薬ベルツ丸であります。

內服　毒梅にベルツ丸は服用日を追ふて、血液や淋巴液は浄化され、梅毒菌を撲滅し恐ろしい毒素を體外に排泄せしめる結果、新陳代謝の機能は旺盛になり、胃腸を初め凡ての内臓器官は強化され、心身共にサツパリし、食慾は進み健康長壽の基となる事が出來ます。

梅毒胎毒に惱む人
痔毒しつ冷毒の人
吹出物ニキビの人
遺傳や腦梅毒の人
神經痛關節炎の人
硬化症高血壓の人
血液に汚れある人
頭痛耳鳴便秘の人

藥價
二十日分……三圓
三十五日分……五圓
七十五日分……拾圓
家庭用……貳拾圓
送料　内地　十五錢　海外　四十二錢

【全國有名藥店及デパート藥品部にあり】

本舗　東京市日本橋區濱町三丁目　鈴木日本製藥社　社主　鈴木清二　振替東京百五番・電話濱町八十番・九十番

ライオン歯磨

快適な歯觸、優雅な香味、的確な清掃力を具備し、而も携帶に至便の必需品!

美しかれ! 健かなれ!

寢る前の……ライオン歯磨で歯と齦を積極的に美化し、強化しませう。貴女の御健康の爲に。

ライオン歯磨本舗

将兵に感謝、慰問電
きのふから高雄州會開會

【高雄電話】第十回高雄州會は十五日午前十時二十分より州會議室にて赤堀知事議長となり議員二十四名出席の下に開會、先づ宮城及び神宮遙拜、默禱の後新任議員鶴作次、楊標兩氏の紹介あつて議事錄署名人に清水政治、楊標の二氏が指名され、次いで知事より州治概況に就き大綱に就いて一時間餘に亘る說明ありそれより

白石氏 皇軍將士に對する慰問感謝電報を發したい打電先及び電文起草は議長に一任する」

松尾氏 「十五年度豫算中農業豫算を目標計上されたるに對し督府關係當局に感謝電報を發したい打電先及び電文起草は議長に一任する」

との各緊急動議あり万場一致可決議事日程報告あつて一先づ休憩午後一時二十分再開、白石、松尾の兩氏より慰問電報謝電は左記電文の如く議長名にて夫々打電したとの報告あつて愈々議事に入り議會說明省略

第一號議案 昭和十三年度歲入出決算報告の件

第二號議案 同年度特別會計公共用地施設歲入歲出決算報告の件

第三號議案 同年度特別會計罹災救助基金歲入歲出決算報告の件を總括上程し何ら質疑應答もなく滿場一致可決

第四號議案 昭和十四年度歲入歲出豫算追加の件可決

第五號議案 昭和十五年度歲入歲出豫算第一讀會に入り

淺野氏 國策農作物の增產に伴ひ農村との間に起るべき摩擦協和に就いて具體的方策如何

江原參與 國策振興會、農事實行組合を督勵して協和に善處している方針である、作物の獎勵供出に就いては十分考慮し米に就いて是正しめる樣考へて居る

高木氏 農民に對する諸法規運營民衆の指導に就いての方策如何

安井參與 これに答へ次いで

吳海水氏 農民化施設擴充共學制の實施に就き考慮されたい又爲政者の首腦部は一視同仁の御聖旨に依り政事を行つて居るが直接民衆に關係を持つ第一線の者は動もすれば親切溫情を缺いて民衆を取扱つて居る樣な事があるが内臺人融和に就いても善處されたい

と云へば江原參與はこの際本島人は民族的意識を捨てて日本人として自覺自負を持つ事が第一ではないかと信ずると答へ、この時

高木氏 吳氏の質疑要項に就いて礙めて見たい、第一線が恰かも德川時代のやうに民衆に無い態度をして居ると云ふ樣な事は無い、自分は聖代にかてその樣な事は斷じてないと信ずる吳氏は國山地下の指導階級でもあり斯かる認識不足の言を吐くとは遺憾である、質問を取消す事を希望する

と極め込めば議長險惡な空氣を察知し休憩を宣す、三時四十分再會吳海水氏は早速前記の質問を取消し議事錄から抹消されたいと申入れた、議長は議場に諮り万場これを容れ再び和やかな空氣を取戻し引續き肥料配給問題、義務教育問題の討議あり五時三十分閉會した

慰問感謝電報

忍び難きを忍び長期建設に邁進する皇軍將士の勞苦を慮り本會は万場一致を以て左の如く決議した

感謝電報

五年度豫算に於て高雄州下各般の施設に關し巨額の經費を計上せられたる事は感激に堪へず茲に高雄州會万場一致の議決に依り格別の御高配に對し深甚の謝意を表す

一月十五日 高雄州會議長 赤堀 鐵吉

宛先 總督、總務長官、內務局長、警務局長、文教局長、財務局長、殖產局長、米穀局長、交通局總長、法務課長

海山郡武道始 【臺北州海山】…した

旗山に移民村
十日、九家族が初入植

高雄州旗山郡大龜庄字溪新開の沃野の移民計畫は郡にかて計畫を樹て設表以來全島各地から希望者殺到し早くも定員の好況であるが大龜庄でも家屋の建築其他設備中であつたが、此の程落成を見たので第一回移民として台南州後壁庄から去る十日九家族三十七名が旗山郡役所に到着したので郡前川街庄主任大龜庄助役が引率案内の上現場に落ちついた、尚次回は近日中來族の由

氏、官關信組長黃再壽氏等發起の下に十四日午前十時から官關信組樓上で第一回金融懇談會を開催し郡下の銀行、會社、信組の幹部廿餘名出席、郡からは十時屬臨席の上、台銀の久貝氏は最近の經濟情勢につき又同行の大畑氏は通貨問題につき一場の講話をなして後、金利その他につき相互に研究し午後零時半散會したが今後は隔月第二土曜日毎に左記當番幹事により開催する事となつた

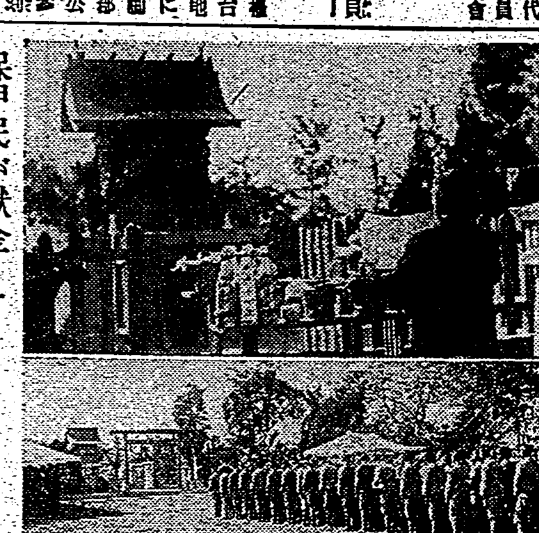
三月三和、無盡、香蕉、五月商銀、七月壯圓、員山信組、九月官關信組、十一月礦業建築組合、一月頭圍信組

南投經警協議會 臺中州南投郡では十五日午後一時より郡役所會議室にて關係官署の官公吏商工業に關する各組合團體の代表者並に有志經濟關係ある者より會員を委囑し經濟警察協議會創立總會を開催

金融懇談會 【宜蘭電話】台銀宜蘭支店長久貝

神饌田地鎭祭

【嘉義電話】台南州を代表して橿原神宮、明治神宮、靖國神社、台灣神社に奉獻する奉獻米神饌田地鎭祭並に播種祭は嘉義郡中埔庄にて十五日午前十一時より坊谷副現場で知事代理田口視學、中松郡守、松田庄長外郡下各庄長、小公學校長、中埔、頂六兩青年團員多列の下に嚴かに執行された、定刻修祓、降神、供饌、祭主祝詞奏上次いで奉耕人統人の修、播種の儀あつて松田庄長奉耕人統代、田口視學、中松郡守以下參列人各代表の玉串奉奠、撤饌、昇神の儀あつて正午滯りなく終了した



農業祭 官蘭農林學校校友會では十二日午後零時半から校內向農神社にて農業祭を擧行し笹川醫院長、佐藤州議以下來賓多數出席、農崎社司司祭の下に型の如く行はれ、それより農產物品評會を開催したが生徒丹誠に成るもの外各方面よりの出品も多く折柄の好天氣に惠まれて參觀者は殺到するの盛況を呈した(寫眞(上)農業祭にかける校長の祝詞(下)參列の生徒

保甲民が獻金

新竹州竹東郡竹東街第四保は去る皇紀二千六百年第一回奧長奉公日の一日は保民等しく經濟强調に鑑み力奮日元日にも拘らず奧長奉公の趣旨を體得し一齊一菜を勵行合所を節約した結果金十二円四十錢を得たので十日彭作衛氏が保民の代表として獻金を國防獻金に吉田街長に提出したので同街長は同保民の經濟協力に深く感激し直に獻金の手續を執つた

立派な〃街〃候補
新竹で五庄昇格を申請

【新竹電話】州下三十七庄中街に昇格すべき候補庄は相當あるがその中、竹南郡竹南、同頭分、新竹郡新埔、同關西、中壢郡楊梅の五庄は最も有力視され、今や內容外觀共に一大市街を形成し將來の發展は期して俟つべきものあり新竹州當局では之等五庄を街に昇格すべくかねて人口及び生產並に現況の調査を行つてゐたが、この程調査を終へ近く督府に街昇格申請書を提出することとなつた、之等五庄の現況左の通り

▲**竹南庄** 新竹市を距る南方十九粁、竹南平野の中央に位し大正九年地方制度改正に依り竹南郡役所設置以來庄勢日に進み今や戶數二千九百五十戶、人口二万餘人を算し市街は竹南、中港と共に市區の改正に依り街路整然排水下水の衛生施設を備へ郡役所、法院出張所、郵便局等官公衙を始め小公學校、銀行、會社等の諸團體相次で設立せられ殊に同庄は縱貫鐵道の分岐點として陸上運輸交通の要衝をなし將來の發展を約束されてゐる

▲**頭分庄** 竹南庄の東方四粁、年生產百九十二万円に上り戶數三千百五十二戶、人口二万二千人を算し庄の面積は東西二里十四町、南北二里十六町にして竹南平野の過半を占め、中港溪之を貫流し灌漑の便をなし土地肥沃にして各種農作物の栽培に好適地である

▲**新埔庄** 新竹市の東北方十粁年生產百五十二万円に上り戶數三千八百十二戶、人口二万四千三百餘人を有してゐる

▲**關西庄** 新埔庄の東方十粁、面積一万餘甲歩に及び年產百五十五万円、戶數三千五百餘戶、人口二万四千餘人を算してゐる

▲**楊梅庄** 中壢街の西南方八粁海岸一帶は勿論、新埔、關西各庄との往來は日に頻繁を加へ商工業頗る旺盛となり管內の戶數四千二百五十四、人口二万八千二百餘人を算し之を州下各街庄の現況に對比すると戶數にかて第四位、人口にかて又第四位を占め國稅調定額も亦第四位に且つ逐年增加の趨勢を辿りつつあり近き將來の發展を期待されてゐる

砂糖配給打合會

【台中電話】砂糖配給の抗機十四日午後一時より市內砂糖卸商が商工會議所に會合してその配給問題に付き打合會を開催した

第十四歲以上十七歲以下(自大正十二年四月二日至同十五年四月一日生)

尙詳細は同工作部宛(三錢切手封入)問合されたいと

大溪聯青查閱

新竹州大溪郡聯合青年團の受閱並に青年大會は一千二百名の男女團員參集して去る十三日街運動場で擧行した、知事代理田中主事、岩田青年訓練所教官、北島郡守始め山口、井上兩課長、石渡視學街庄長等參列の他官民の觀覽者多數あり午後一時一同遙拜默禱、令旨奉讀、奉答歌齊唱後、各動作の查閱開始、各團員の緊張した態度一絲亂れぬ動作振りは街民の信頼を深めた、終つて知事代理より何れの動作も成績良好である旨の訓示あり一同萬歲を三唱して散會した

…武道始の慣例に依る武道始は十月十三日午後一時より同武道場で行はれ內容相撲から劍術柔道等打日到抗試合を行ひ午後五時頃盛會裡に終了

學齡兒童中の
半數は就學
新年度は學級大增設

【高雄電話】高雄州下の十四年度の中等、實業、小公學校數は中等學校六校二千七百六十人、實業學校十二校千四百六十一人、小學校一九校六千百六十一人、公學校百七十校七万四千七百卅二八人、計八万五千百十四人で就學率は四十八%となつてゐるが、十二年度四十%當時から見れば向上著しきものあり、昭和十五年度には更に一段の生徒兒童收容問題が強化され、中等四學級、實業六學級、小十學級、公百四十學級、計百六十學級の增加が決定し、新年度は州下學校總數が千五百三十八學級となり、就學兒童數も學校數に比例して激增を見、就學率は五十%を優に突破する見込で州下教育界も愈々明朗となり教育普及態に前進した

臺中神社
上棟式
二十六日嚴修

【台中電話】政で御造營中の台中神社は昨年四月起工以來順調に進捗し愈よ來る二十六日午前十時現場に於て州下各市郡氏子代表三百三十名餘參列の下に上棟式を擧行する

見習工員募集

馬公要港部工作部では例年の通り昭和十五年度も見習工員を募集するが募集豫定人員及び志願要項は左の通りである

△募集豫定人員 作業班四名、造兵班五名、造機班十一名、造機班十名

△試驗科目及び日時 國語、數學 一月二十三日午前九時至午後四時 身體檢査 一月二十三日午前九時より 口答試問 一月二十四日午前九時より

△試驗場 馬公要港部工作部、臺南市公會堂(日時は兩試驗場とも同じ)

△志願資格 適性(高等小學校卒業程度)…

鳳林公校內社

花蓮港廳鳳林公學校では蘇騰義員の校內神社は豫定通り大晦日に生徒の奉仕に依り造營中の工も竣成し新年の元旦に全員參拜したが、此の意義ある神社の前に、…

臺中署經濟警察
發會式
きのふ盛大に

【台中電話】現下經濟國策に順應しての運營の完璧を期すべく台中署經濟警察協議會の發會式は十五日午後一時四十分より敎化會館に於て(警務部長代理)川口警務課長、安藤臺中市尹、前田署長、土江…

玉里信組總代會

下玉里信用販賣購買利用組合では十二日午前十時から同組合樓上に於て第二十二期第四回總代會を開催し組合長より一場の挨拶、經過報告あつて委託の組合員委託組合員の選擧(…)あり組合員總會議長に若き高木事業より承認事項一件、決議事項九件を附議し…

血判の願書
軍夫志願の青年提出

【台中電話】奉公の念に燃えた台中市南街年曉幸大屯郡南屯庄南屯公二六一番地…君は嚴寒二日軍夫を志願したが憾みにも身體檢査不合格の為め遂に志願は容れざりしを遺憾とし其後專ら體位の向上を計り是非共お國の為に一身を捧げ度いとの熱意から十二日郡兵事課に血判の東夫志願書を提出した、…

街庄豫算打合せ

【嘉義電話】嘉義州嘉義郡では昭和十五年度に於ける郡下各街庄豫算編成に關し打合會を十二日午前九時より同會議室に於て…郡守

苗栗信組役員會

新竹州苗栗信組では通常總代會に提出すべき…

女青講習會
花蓮港廳で開く

【花蓮港電話】花蓮港廳では第一回の試みとして女子中堅青年…

伊藤檢察官長來宜

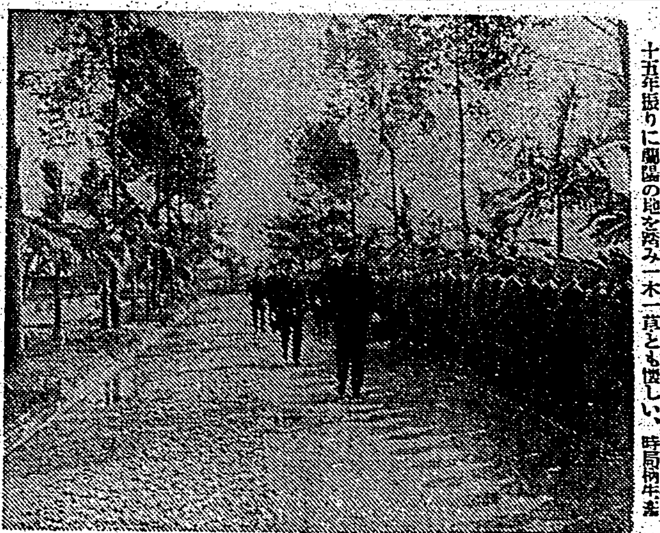
【宜蘭電話】伊藤臺北地方法院檢察官長一行は十五日來宜、…

道路補修要望

【高雄電話】高雄州下東港郡潮州街…

川村知事蘭陽巡視

川村知事は十三日宜蘭地方巡視…



力強元に當したく官民一致の協力を希ふ旨の挨拶を述べ之に對し竹中郡守の謝辭があつた(寫眞は川村知事の巡視)

臺南州參事會

【台南電話】台南州では十五日午後二時より小會議室に參事會を招集、台南州歲入出豫算更正の件を附議可決した、右は昭和十四年度河川災害復舊費が國庫補助金等の…

開鑿隊を慰問

臺東街有志が…

部落振興研究會

【臺北州】海山郡にかては十六日午前十時より…

自動車運輸披露

【新竹電話】新竹州自動車運輸會社では…

柴田博士臺南視察

大塚郡守寄附

劉郡守新任披露

小野課長初巡視

人事

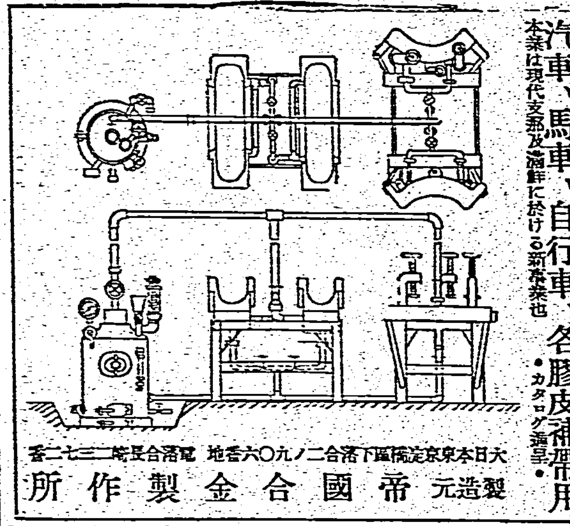
△葛なかたち△

雇員 給仕募集 給仕人募集 店員採用 藥劑師 室ボーイ 文雄 女子 女中入用 女中 タイピスト 交換手 電話商 土地建物 電話高價買 金融 月

淋巴腺結核(るいれき)病球(ぐりぐり)を除く療病法の實驗 療病法の公開

ラヂオは叫ぶ ニチ シャボン 洗濯石鹸 洗顔石鹸 化粧石鹸 日本油脂株式會社

タイヤ修繕機 製造販賣 汽車、馬車、自行車、各膠皮補帶用 本機は現代支那及滿鮮に於ける新奇業也 ・カタログ進呈・ 大日本東京淀橋區下落合二ノ九〇六番地 電話落合長崎二三七二番 製造元 帝國合金製作所



讀んでよかつた、得をしたと思ふ雜誌はキング 興味と實益の大讀物滿載 大評判のキング二月號!! ●戰線でも、銃後でも引張凧の國民雜誌! 雜誌讀むなら先づ「キング」(二月號は六十錢 戰地への送料も四錢です)

校長 沖貞男 中野高等無線電信學校 東京市中野區江古田

◎失業、技術家ニナシ 公認 東京寫眞學校

昭和女子藥學專門學校 文部大臣指定 無試驗藥劑師ノ資格ヲ得

ぜん息・神經痛 不治でない 高血壓 中風 今津博士の素晴しい研究

(今津研究所の中庭(左)博士)

新母醇的理想 バンドマン 食慾不振 消化不良 榮養障碍 有名藥店ニアリ A—C

ハイキングコース(臺北近郊篇)一冊金一圓 臺灣日日新報社商事課

冷え性が癒り 姙娠率が非常に昂まる 文獻贈呈 精蔘

東京齒科醫學專門學校 校長 血脇守之助 所在 東京神田三崎町

各帝大病院常備藥 造血アウトホルモン グアヤコール ブルトーゼ 結核諸症 小瓶 大瓶

蛔虫による國民保健運動 虫下し マクニン 子寶は產めよ殖せ 蛔虫は斷乎と絕せ のみ易く・よく效いて・害がない 株式會社 藤澤友吉商店

讀書普及

主催　臺灣日日新報社

曝書偶記

楊雲萍

The enemies of books といふ言葉がある。考へて見るに、まことに此の世界は、我る處の蠹魚で滿ち充ちて居るのである。水火、日光、塵埃、鼠、それから人間（その無智、その利己慾）等々が、時々刻々、數多の書物の壽命を縮め、或ひは縮めつつあるのだ。

然しながら、それにも拘はらず今日、我々はなほ斷紗宋版を愛し、或ひは Incunabula を擁いて云々する事が出來るのは、そこに多少の運命や偶然が存在するとはいへ、實にこれ等の先人から、よく書籍を愛護し、守り傳けて來た幾多の書を愛する先人の賜物による事なるを忘れてはならない。一斷紗が此處に殘り、一古刊本が彼處に恙なきを思ふにつけ、此等斷紗古刊の殘存に、心からなる敬意を致すと共に、此等を守り傳けて來た幾多の先人の靈に感謝をしなければならないと思ふのである。

「[illegible]目錄」卷二十二に、宋刊本「伊川擊壤集」に就いて左の一節がある。

「（前略）[illegible]有天川以血書[illegible]無阿彌陀佛六字。問其後云、堅接宋刻孟具、昔年[illegible]、乙亥十一月得之、愛不能釋[illegible]、以血書佛字於首頁。惟冀此書流傳、永久無水火蟲食之災。後之得是書者、其知所珍貴也夫。」

血書の佛の字を書きつける事によつて、書籍の永傳を冀ひ願ふは少し仕過ぎるかも知れない。或ひは效果の程を期待するは疑問かも知れない。然し、血よりも書籍を愛した藏書家の心持を、人々は想はなければならない。しかも、斯うした人たちの存在によつてすら書籍は、僅かほんの僅かしか、守り傳へられて來て居るに過ぎないを知るべきである。

あまり天氣がいいので、此のお正月の大半を曝書に暮らした。小庭の梅花咲き、香風しきりに動く中を、新舊の書をならべるのは嬉しい事である。——ならべながらふと我が台灣の文獻の保存傳授を思ふの切なるものがあつたのである（庚辰一月十日、習靜樓上にて）

【筆者は臺灣文學史研究家、文協會員】

椰子の葉蔭

中川蕃氏の隨筆集

……魁星樓主人

灼けつく南國の陽にふみゆく旅人は
しばし憩ひぬ椰子の葉蔭に

これは明治總督府の中川蕃さんの歌である。とかく殺風景な台灣の生活にあつて、しばしの憩ひをする「椰子の葉蔭」は即ち「樂」であり「文學」であると私は思ふのであるが、中川さんは先の「親指論集」に次ぐ第二の隨筆集に、いみじくもこの名を使用した。しかもこの文集は著者自ら云ふ「椰子の葉蔭」なると同時に、この書を讀む人々をも憩はしめる清涼なオアシスであつて、一服大いに溜飲がさがるのである。

いつだつたか、百瀨閣先生を訪ねたら、「豆の中川さんは上京する際に隨筆集が出來るさうですよ」と笑顏く手をやめて語つたが、なるほど「椰子の葉蔭」も東京で印刷してある。世の官吏ともならば、どうかたまさかの上京、紅塵萬丈、繁雜の際に乘じからであるらしく、総を流しがたい中川さんは上京する際にせつせと隨筆を綴る。正に台灣官吏中の異色たるを失はない。

〇

官吏は人間の屑だといつて、後で大に恐縮した實業家があり、官吏は國民の御手本といふ樣な意味の訓示が多いお役人から話される。

官吏、軍人、商賣人、百姓、坊主、車夫、隙は等しく日本人だ。屑もあれば御手本もあるだらう。

官吏が弱くて、軍人が弱くて、商賣人がずるくて、坊主が道德堅固で、車夫が皆馬鹿と、何もさう極つたものでもなからう。

隙は等しく日本人だ。

この短文など、眞に中川さんの面目躍如たるものがある。「巧言令色鮮矣仁」の諷刺もあれば、商賣から「世態の榮枯盛衰」なる化學方程式のやうなものもあり、草木花鳥、文人の風韻もあり、「改名色々」では改名命名者のイタイところを衝いてゐる。喜劇所現在の「二水」など全く無風流極まる。「二八水」の風雅には及ばぬし、國姓爺の傳説にかがやく「國姓埔」の改名も後世人を誤らしめるものがある。閑話休題、最後に「臨晉一瞬」から短文を一つ。

煙草が官營でなかつたら、今頃日本の煙草は相當盛に輸出せられてゐるのだらうといふ。鐵道が民營だつたら、運賃は低廉安いだらうといふ。電話が民營だつたら、電話の權利金といふやうな日本獨特の妙なものは出來ぬだらうといふ。確かにさうだらう。

（四六判著者自裝一六四頁　非賣品　台南州新營街著者刊）

陽明文庫とは

近衛家の古文書藏寶

從來發見された古寫本、自筆本の類と比較して、斷然段違ひの逸品揃ひと其道の碩學等が嘆賞した陽明文庫の寶藏——これは我國最古の家系を有つ五攝家の筆頭近衛家の重寶である。天兒屋根命を遠祖とした近衛家は、永万二年七月藤原基實（號六條殿）を同家の初祖として爾來二十九代熙煕として其の系統を續けてゐる。保元、平治の亂に傳家の古文書古記錄が大分兵火で失はれたと同家ではいつてゐたが、其後收藏されてゐるものを調査整理した結果、全く絹本となつたものと信じられてゐた珍本が再び此世に現はれたと云ふやうなものが少からず遺存する事が判り、我國史の上に更に花を添へるものと云はれてゐる。以下主なるものを御紹介しよう

×

先づ稀覯本として眞先に擧げられてゐるのは

△九曆記（古寫本一卷）　これは藤原師輔公の日記で、九記とも云ふ、全一卷は特に承平六年九月二十一日の條以下を抄錄せるものに係る、抄寫の時代は平安朝末期であらうとの事

△御堂關白記（自筆本）　これは藤原道長公の日記、もと三十六卷なりしこと記錄に見ゆ、具注曆に書かれた日記の自筆原本としては現存中最古のものとされ、別に法成寺攝政記とも云ふ、現存は長德四年より寬仁四年まで繼續してゐる、一條天皇より後一條天皇の御代に亙る史料として此の右に出づるものなく、且つ道長その人の如何に政事に恪勤であつたかを之によつて知ることが出來る

△御堂關白記（古寫本）　この筆者を道長の子賴通と傳へて居るが、近時研究の結果、其の一部は確かに師實と考へてよいと云はれ、具注曆本は半年分一卷であるが、古寫本は大體一年分一卷である、古寫本には現存原本のない部分が存するから併せて貴重であると

△後二條殿記（自筆本）　藤原師通公の日記、現存二十卷、永保三年より康和元年まで繼續す、内自筆本は寬治七年二月二十二日篤子内親王の立后の宣命及び儀式次第に關する記事を特別に記錄したものである

△後二條殿記（古寫本）　筆者は數筆に分れるが、特に永長元年冬の卷に「仁平元年四月九日校合了　登宣」とあつて師長の藏本たる年代を示してゐる、他の卷もこれと略前後し平安末期の筆寫であらうと

△螢蠹餘聞（十四冊）　此本は近衛家熙公の修學時代及び留學時代の筆である、公が十七歳の明治十二年から二十六、七歳の明治二十一、二年に至る約十ヶ年間の見聞抄錄と留學巡歷の紀行等を收む、全編頗る變化に富み或は諧謔或は洒脱、或は重厚或は輕妙、花も實もある隨筆である

△藤原忠通公筆消息一幅（陽明記云々）　藤原忠通は法性寺關白とよばれ其の筆蹟は所謂法性寺樣の祖として我國書道史上に重きをなすものとされてゐる

×

此外史上に有名な攝家、近衛家の人々の消息文、日記類、典籍等總べて百七十二點、元これ一家の寶藏なりと雖も、然も富國殿家の尊重一千年、承襲を積みて帝室御物に追隨する寶庫を胎藏したものである

愛書と讀書

一、愛藏する書物
二、最近愛讀した書物

〇 矢野峰人

一、明治二十七年二月田山花袋が湖處子有明氏に贈つたヴェルレエヌ詩集の英譯本をば、未見の友の好意により新年早々愛藏する事になりました。

——筆者は詩人、臺北大文政學部長

〇 佐伯秀章

一、専門書以外では特に愛藏のものとてはありません。

二、明治廿六年以降に亘つて千島探檢及開拓を企て驚異の程に敢行した郡司大尉の壯圖をものした『郡司大尉』を擧げることが出來ます。部下としてあの白瀨中尉も活躍して居ます。著者は廣瀨彦太、東京興亞書房發行、一円八十錢

——筆者は臺大理農學部助教授

〇 濱口正雄

夜だけしか讀書をする時間を持たぬので月々の雜誌四、五冊を讀むのに追はれてゐる始末です。眼についた單行本は次々買つていくのですが、所謂「つんどく」だけで却々思ふやうに參りません。然し昨年末から「ジイド藝術論」「奈良法師」「キュリー夫人傳」など讀みかけてゐます。讀み始めてみると月々の雜誌に見られぬ魅力を今更感じてゐます。本年は「つんどく」からせめて「途讀程度」にまでは進みたいと思つて居ります。

——筆者は詩人

〇 濱田隼雄

一、「結婚・友情・幸福」（モーロア著、岩波新書）　僕の友人が家庭的トラブルを起してゐるときに讀んで特に感銘の深いものでした。結婚前の臆病な知性による解釋として未婚既婚を問はず心ある人にすすめ度いものでした。

「弟子」ブールジエ　多少ぞつとした感じです。生徒に對する敎師の責任について反省させられました。敎育者はかうしたものも讀む必要があると思ひます。「住民の詩」高良武夫　讀みかへしたのですが、自らを探求する上にも、自分の周圍を見廻す上にも役に立つもののやうです。「文學若誌」アラン　ゆつくり取組み度いと思ひます。「山の彼方」シュミットボン　大稻埕の淡水河岸と大屯山系を思ひ出しながら。其他すぐれた傳記として「ベートーヴェン」（長谷川千秋）「ミケルアンヂェロ」（羽仁五郎）「ミレー」（岩波文庫）作曲家の手記「ベルリオーズ」等。兵隊になつて今さら自分の無智に氣がつき、除隊したら大いにと思つてゐましたが、徒に一月半を過してしまひました。特に愛讀する本とてありません。慾が深いのですべてを愛讀してゐます。

——筆者は北一女敎諭文協會員

〇 西岡英夫

一、愛藏書物とてはありませんが東京に預けて居る、先考遺愛のもので、故福若習翁が親しく執筆して朱書をした、觀世流の謠本がある位です。

二、餘り讀書をしませんのでお答するほどもないのですが、童話や藝音敎育に關する著以外には新尾由紀氏著「吉野朝太平記」を面白く讀みました。又先頃物故した友人泉鏡花氏の、「薄紅梅」位で、故樋口一葉女史の傑作「にごりえ」「たけくらべ」は久方振に讀み耽つた書物の一つであります。

——筆者は童話研究家　以上

人の上に立ちたい諸君　『英語』だけは身につけよ

何職業にも英語は必要

英語を知る利益は無限

而も仕事の餘暇に樂々習得出來るとしたら學ばないのが嘘です。世に有名な井上十吉先生御執筆のレコード付き『井上英語講義錄』に依れば、小學卒業程度から自宅で完全に、立身の武器『英語』が身に附きます。躊躇は無用、内容見本を御一覽下さい！

英語講義見本無代進呈　ハガキにて申込次第見本を送呈す

東京市麹町區富士見町三丁目四九　井上通信英語學校

日本ペン習字　肉筆本位　通信教授

文部省囑託・國語讀本筆者　井上千圃先生指導

會費月壹圓　六ヶ月卒業　目下特典有

見本進呈　東京市麹町區富士見町三ノ八〇　日本ペン習字研究會

書道　添削本位　通信教授

泰東書道院總務　中村春堂先生指導

見本無代進呈　東京市麹町區富士見町三ノ四三　日本書道學院　振替口座東京八三一八八番

働きながら學べる　獨學中學生募集

學問は學校でなければ出來ないと云ふ考へ方は大間違ひだ。人は働きながら獨學してこそ本當に發憤される。大會社、大銀行の中心人物が、獨學出身の人に多いのを見ても明らかだ。

中學講義錄について學べば一ヶ年の間に完全に中學の全科目が卒業できる。

いつからでも入學できる　中學講義

講義見本進呈　東京市麹町區富士見町三ノ三五　國民中等教育會

改造文庫

星の表示	定價（錢）	送料（錢）
1	一〇	二
2	二〇	三
3	三〇	四
4	四〇	六
5	五〇	六
6	六〇	[illegible]
7	七〇	九
8	八〇	一〇

東京市芝區新橋七丁目十二　改造社　振替東京八四〇二

國富論（上卷）　アダム・スミス著　竹内謙二譯
國富論（中・下卷）　アダム・スミス著　竹内謙二譯
社會主義の發展　エンゲルス著　堺利彦譯
マルキシズム要綱　ディッゲン著　石川準十郎譯
婦人論　ベーベル著　山川菊榮譯
エミール（上・下卷）　ルソー著　内山賢次譯
國家論　オッペンハイマー著
財產起源論　ラファルグ著
組織論　レーニン著
唯一者とその所有　シュティルネル著　辻潤譯
全譯金融資本論　ヒルファディング著　林要譯
マルクスの歷史、社會に國家理論（上卷）（下卷）
マルキシズム國家觀　山本譯
宗教及び信仰の起源　ラファルグ著　玉城肇譯
近代資本主義發達史論（上）（下）　ホブソン著
カウツキー夫妻への手紙　ローザ・ルクセンブルグ著　淺野正一譯
レーニンの唯物辨證法　デボーリン著　佐多忠隆譯
天才論　ロンブローゾ著　辻潤譯
佛蘭西革命史（上）（下）　クロポトキン著　淡徳三郎譯
無政府主義と社會主義　プレハーノフ著　百瀬二郎譯
帝國主義論　ホブソン著　石澤新二譯
勞働價値説の擁護　ヒルファディング著　塚本三吉譯
經濟地理概論　プレブス・リーグ編　菊川忠雄譯
帝國主義發達史論　プレブス・リーグ編　内田佐久郎譯
プレブス經濟學　プレブス・リーグ編　田所輝明譯
心理學概論　プレブス・リーグ編　小宮義孝譯
社會意識學概論　ボグダーノフ著　林房雄譯
經濟科學概論　ボグダーノフ著　林房雄・木村恭一譯
英國勞働運動史　プレブス・リーグ編
我等の對立　プレハーノフ著　竹尾弌譯
社會淘化と婦人の地位　ラッパポート著　山川菊榮譯
農村問題　レーニン著　荒川實藏譯
勞働組合論　レーニン著　寮井米藏譯
マルキシズム方法論　アドラツキー著
倫理と唯物史觀　カール・カウツキー著　堺利彦譯
原始財產　エミール・ド・ラヴレー著　長野兼一郎譯
社會主義への道　ブハーリン著　大橋積譯
社會ファシズム論　ラピンスキー著　田中房太郎譯
ドイツ古典哲學の進歩性　ハイネ著　栗原・高沖譯
日本開化小史　田口卯吉著
日本經濟論　田口卯吉著
日本經濟學の要領的帝國論　猪本誠一著
日本商業史　横井時冬著
日本工業史　横井時冬著
經濟學の實際知識　高橋龜吉著
リッケルト論文集　リッケルト著
女工哀史　細井和喜藏著
幸德秋水集　幸德秋水著
中江兆民集　中江兆民著
日本社會史　本庄榮治郎著
近世封建社會の研究　本庄榮治郎著
近世農村問題　本庄榮治郎著
マルクス主義經濟學　河上肇著
哲學概説　桑木嚴翼著
現代哲學思潮　桑木嚴翼著
カントの平和論　朝永三十郎著
プロレタリア文學論
ヨナール・インタナショナル史（第一部）　ステークロフ著　内垣謙三譯
ヨナール・インタナショナル史（第二部）　ステークロフ著　内垣謙三譯
基督教史の研究　住谷悦治著
ソヴィエト・ロシアの農業政策　ミリウチン著　田中房太郎譯
レーニン主義の基礎　スターリン著
マルクス經濟學大綱　ボルヘルト著　田中九一譯
ニルフ綱領解説　ブハーリン著
キリスト教の本質　フォイエルバッハ著
唯物論史入門　プレハーノフ著
社會學入門　ブーグレ著　本田牧野共譯
人類文化史概論（上）（下）　ジャン・メーヨン著
民族移動史　ヘッドン著　小山榮三譯

中產階級史　ルイス・コーリー著　宮田保郎譯
伊太利物語　ゴーリキー著　平井肇譯
作家論　テーヌ著　平岡・秋田共譯
ヘーゲル精神現象學概要（上）（下）
ドイツ史　フランツ・メーリング著　栗原佑譯
ドイツ社會民主黨史（四）　フランツ・メーリング著
財政概論
マルクス・エンゲルス藝術論研究第一冊　上田進譯
歐洲文學發達史　フリーチェ著　外村史郎譯
ドストエフスキー論　ジイド著　秋田滋譯
婚姻と離婚
何をなすべきか
人生論　トルストイ著
ロビンソン物語
社會詩集　ハイネ著　生田春月譯
戀愛詩集　ハイネ著　生田春月譯
闇の力・生ける屍　トルストイ著
父と子　ツルゲーネフ著
惡魔　レールモントフ著
私の大學・番人　ゴーリキー著
チェーホフ傑作集　チェーホフ著
どん底・自ら人間・母　ゴーリキー著
野性の呼聲　J・ロンドン著　花園兼定譯
シュロッフェンシュタイン家の人々　クライスト著
野蠻人達・敵・子供達　ゴーリキー著　八住利雄譯
回想　ゴーリキー著
隨筆　ゴーリキー著
エゴール・ブルイチョフ　ゴーリキー著　杉本良吉譯
ニイチェ藝術論抄（一）（二）
憂鬱（他四篇）　ゴーリキー著
ボルシェヴィキの手記　ピアトニツキー著
阿片溺愛者の告白　ド・クインシー著　辻潤譯
建築と繪畫　ラスキン著　内田佐久郎譯
藝術とは何ぞや　トルストイ著　木村毅譯
聖書物語（新譯）　ヴァン・ルーン著
洋服箪笥　トーマス・マン著
背德者　アンドレ・ジイド著　石川淳譯
ロシア短篇集（五月の夜）
イプセン全集第一卷
イプセン全集第二卷
イプセン全集第三卷
イプセン全集第五卷
チェーホフ書簡集　内山賢次譯
ホムブルクの公子　クライスト著
獄中記　ワイルド著
小公子　バアネット著　若松賤子譯
ホワイト・ファング　ジャック・ロンドン著　堺利彦譯
新人國記　木村毅著
新編シラー詩抄　小栗孝則譯
とつこいおいらは生きてゐる！
人波　原久一郎譯
結婚の悲劇　原久一郎譯
苦難の路（上）（下）　原久一郎譯
チェルカッシュ　ゴーリキー著
潛水艇乘組員
カムチャツカ紀行
二つの魂・餘計者　プリボイ著
密航　プリボイ著
マルコ・ポーロ旅行記
ヘルマン戰爭　クライスト著
勝利と敗北
肉體の惡魔　ラディゲ著
私は愛す
チロルの谷間　D・H・ロレンス著
すばらしい合金　キルション著　杉本良吉譯
日記の中から　ゴーリキー著
色ざんげ
初雪　モオパッサン著　秋田滋譯
戀をしてみて
蕩兒歸る　ジイド著
法王廳の拔穴　ジイド著

[illegible]の人々（一）（二）
家庭童話集（第一卷）
家庭童話集（第二卷）
家庭童話集（第三卷）
家庭童話集（第四卷）
死の如く強し　モーパッサン著
我等の心　モーパッサン著
靜かなドン（第一部）　ショーロホフ著
靜かなドン（第二部）　ショーロホフ著
靜かなドン（第三部）　ショーロホフ著
小鳥を友として
巴里の憂鬱　ボードレール著
死の舞踏　ストリンドベリ著
奈落の人々
寡婦マルタ
サニン
ジーキル博士とハイド氏
一青年の告白
一週間
蟻の生活
爭鬪
近代の戀愛觀　厨川白村著
象牙の塔を出て　厨川白村著
十字街頭を往く　厨川白村著
近代文學十講　厨川白村著
英詩選釋　厨川白村著
日本美術の知識（上）（下）
泰西美術の知識
東洋美術の知識（上）（下）
垂統秘錄・混同秘策
新古今和歌集
平家物語（上）（下）
雨月物語
俳諧七部集
蕪村七部集
芭蕉一代集
伊勢物語
神皇正統記
大鏡
徒然草
北村透谷選集
子規俳話　正岡子規著
子規歌論歌話
坊つちやん　夏目漱石著
草枕　夏目漱石著
それから　夏目漱石著
民謠集　北原白秋著
厭世家の誕生日　佐藤春夫著
日輪　横光利一著
機械（他七篇）　横光利一著
勞働者の居ない船　葉山嘉樹著
海に生くる人々　葉山嘉樹著
はやり唄　小杉天外著
朝の螢　齋藤茂吉著
十年　島木赤彦著
川のほとり　古泉千樫著
松の芽　中村憲吉著
海やまのあひだ　釋迢空著
立春　木下利玄著
花
桐の花　北原白秋著
人間往來　與謝野晶子著
槻の木　窪田空穂著
野原の郭公　若山牧水著
原生林　前田夕暮著
空を仰ぐ　土岐善麿著
童謠集　北原白秋著
國民歌謠集　北原白秋著
舞踊詞集　北原白秋著
鶯の卵　土岐善麿著
信綱文集　佐佐木信綱著
芭蕉遺語集　荻原井泉水著
一茶七番日記（上）（下）　荻原井泉水著

愛すればこそ　谷崎潤一郎著
愛なき人々　谷崎潤一郎著
痴人の愛　谷崎潤一郎著
屋上の土　古泉千樫著
句集虚子　高濱虚子著
俳諧師・續俳諧師　高濱虚子著
井泉水句集　荻原井泉水著
室生犀星詩集　室生犀星著
千家元麿詩集　千家元麿著
廣瀨夜雨詩集
禪寺物語　岡本綺堂著
少年の悲哀　國木田獨歩著
運命論者　國木田獨歩著
愛弟通信　國木田獨歩著
愛慾　武者小路實篤著
作者別萬葉全集　土岐善麿編
作者別萬葉以後　土岐善麿編
出世（他二篇）（現代物1）　菊池寛著
[illegible]（他二篇）（現代物2）　菊池寛著
[illegible]（他二篇）　菊池寛著
父歸る（他二篇）　菊池寛著
眞珠夫人　菊池寛著
慈悲心鳥　菊池寛著
新珠　菊池寛著
火華　菊池寛著
受難華　菊池寛著
赤い白鳥　菊池寛著
明眸禍　菊池寛著
新女性鑑　菊池寛著
陸の人魚　菊池寛著
第二の接吻　菊池寛著
東京行進曲　菊池寛著
結婚二重奏　菊池寛著
不壞の白珠　菊池寛著
人生雜感（感想集）　武者小路實篤著
今戸心中　廣津柳浪著
嬰兒殺し　山本有三著
芭蕉・夜船・京の詩　吉田絃二郎著
ドレフュース事件　大佛次郎著
芭蕉書簡集　荻原井泉水校訂
短歌集　石川啄木著
詩集　石川啄木著
小説集（上）（下）　石川啄木著
評論感想集（上）（下）　石川啄木著
書簡集（上）（下）　石川啄木著
我等の一團と彼・一握の砂・悲しき玩具　石川啄木著
石川啄木　金田一京助著
國歌八論　土岐善麿著
三人　島崎藤村著
出發　島崎藤村著
山陰土產その他　島崎藤村著
藤村隨筆（上）　島崎藤村著
藤村隨筆（下）　島崎藤村著
海へ　島崎藤村著
正訳天地有情　土井晩翠著
支那游記　芥川龍之介著
新選秀歌百首　齋藤茂吉著
金槐和歌集
性に眼覺める頃　室生犀星著
多情佛心（前篇）　里見弴著
苦の世界　宇野浩二著
山戀ひ　宇野浩二著
天保赤門　[illegible]
血染のパイプ　甲賀三郎著
平妖傳（上）　佐藤春夫譯
平妖傳（下）　佐藤春夫譯
自選短篇集　林房雄著
唐人お吉　十一谷義三郎著
唐人お吉　十一谷義三郎著

笑ふ男・笑ふ女　十一谷義三郎著
或る女（上）（下）　有島武郎著
星座・生れ出る惱み　有島武郎著
有島武郎戲曲集　有島武郎著
有島武郎書簡集　有島武郎著
有島武郎日記　有島武郎著
宣言・クララの出家　有島武郎著
小さき者へ・石にひしがれた雜草　有島武郎著
カインの末裔・お末の死・かんかん蟲　有島武郎著
迷路　有島武郎著
旅する心　有島武郎著
惜みなく愛は奪ふ　有島武郎著
彌太郎笠　子母澤寛著
神變麝香猫（上）（下）　吉川英治著
女
蟹工船・工場細胞　小林多喜二著
不在地主・オルグ　小林多喜二著
白き手の人々　吉田絃二郎著
惡太郎　上司小劍著
俳諧續七部集
其角七部集
牧水歌集（一）（二）（三）　若山牧水著
牧水紀行文集　若山牧水著
牧水歌論歌話集　若山牧水著
明治大正詩史概觀　北原白秋著
歌人葉
短歌作法　窪田空穂著
好色一代男註釋
葛西善藏集（一）・（二）
葛西善藏集（三）・（四）・（五）
葛西善藏感想集
賴朝・爲朝
幽秘記　幸田露伴著
瀧口入道　高山樗牛著
樋口一葉選集（第二卷）　樋口一葉著
青年（上）（下）　林房雄著
青牛集　古泉千樫著
文藝評論集　小林秀雄著
風俗　石坂洋次郎著
折たく柴の記　新井白石著
妾の半生涯　福田英子著
大經師昔暦　樋口慶千代校註
重井筒　樋口慶千代校註
新華摘・蕪村翁文集　荻原井泉水校訂
萬葉漫筆　佐佐木信綱著
大和物語
スピノザ
ニーチェ傳（上）（中）
可愛い女　チェーホフ著
法律哲學綱要（上）（下）　ヘーゲル著
ミルゴロド　ゴーゴリ著
斷鴻零雁記
サランボオ（上）（下）　フローベル著
不用人の一生　ゴーリキー著
紅玉
誘惑者の日記
平賀元義歌集
岡倉天心傳
現代男
美しき青春
風物帖
ロシヤ文學講話（上）（下）
ふるさと紀行
文化と風土
智慧の悲しみ
情熱
藝術の限界・その他
決鬪（上）

蛾眉嶺に日章旗
東關に據る敵も掃蕩

【廣口十四日發同盟】新墾米宗隆通城の山岳地帯に執拗な策動を續けた頑敵は我が猛烈の攻撃に十二日夜半來總崩れとなり目下西南方に潰走しつつある、即ち竹原、池田、野崎、中川、池羽各部隊は十二日早朝西南方十五粁東關に據る頑敵を猛撃、これを壊滅した、又佐野、寺平、松崎、鉄浦の諸部隊は十二日引續き長隆西南方二十粁蛾眉嶺の嶮敵に據る敵に對し東北西三方面より終日果敢な突撃を繰返した後遂に同夜半山頂を完全に占領し燦然の日章旗を翻へした、更に梨岡、角川各部隊は前記各部隊に相呼應し隆水河岸沿ひに西南方に向つて猛撃を進めつつあり、頑強な抵抗を續けてゐた敵も東關、蛾眉嶺の二拠点を奪取され遂に十二日夜半より総退却を開始し、我が各部隊は十四日朝來敗敵を急追すると共に山岳溪谷に逃惑ふ殘敵を掃蕩中である

鯛も菰冠りもない 地味な組閣本部
石渡書記官長は好評

【東京十五日發同盟】小山内になだらかな芝生を持つ水交社の廣い泉水のほとりに寒鴉が一羽二羽ぴよこぴよこと餌をあさつてゐる、海軍から出ないと云つた爺現在今ここで高い喜声をあげてゐるのだ、別館の奥深く米内さんは静かに熟議を續けてゐるのであらう絶えずもサイレントネービーではある、發表振り石渡書記官長の言葉を借りて云へばスローモーで行きます、だが十五日午前中だけに早くも司法大臣、陸軍大臣が決定、拓務大臣の目鼻もつき知々水際立つた復興振りである、庭に現はれた米内さんはアイモのレンズを浴びながらゆるやかに石橋を渡つて見せる何げない風情知々の名優振りである、名優と云へば石渡書記官長の發表振りも水際立つたあざやかさだ、記者團との會見にはせながら例に依つて「アノネー」と云つた調子だが云ふ事は極めて要領が良く大書記官長の貫禄十分である、この座席には今までのやうに一本の菰被りも一尾の鯛も眼けられない今までの組閣には見られない地味な本部風景である

身體は頑强だ
心強い新首相の一言

【東京十五日發同盟】組閣第一日目の十五日朝米内さんの麹町三年町の新邸二階は朝の陽射しが燦々と映え優しい門出を祝福してゐる、今朝一時半海相官邸から引揚げ就寝したのは午前二時過、頑張つた米内さんは睡眠たつた四時間後午前八時半には既に起上り新聞に目を通し晴天を仰いで間もなく邸の外には待機する記者團、カメラの放列、賑かな邸外には物々しい風景を呈してゐた時しも米内さんは茶色交りの細の縦い和服姿で應接間に現れ記者團に囲まれると「やあ御苦勞御苦勞僕は別に疲れてはをらんこの通り身體は頑强だから」と頼もしいところを見せ「大命を拜したからにはひた向きに所信に向つて堂々進むことにする」と國民にとつては何よりの心強い新首相の一言だ然し寡默な米内さんが今日ばかりは口を割る「では そろ〳〵行くよ」とそのまま奥へ七時五十五分背服に着替へた米内さんは家族に見送られ自動車のシートにふか〳〵と腰を下すと新組閣本部の水交社に車を飛ばして行つた

大命を拜した米内大將の家庭 令嬢フキ子さん(右)とナツ子さん(左) 三年町の自邸にて寫す

“とにかく朗かに やつて行かねば駄目”
留任の畑陸相語る

【東京十五日發同盟】留任と決つた畑陸相は「軍人はサーベルを握つてゐなければチンピラ同然だ、俺ばトロッコを押す役だ」と數々言つてゐた、畑さんの言ふ通りサーベルを握り留任することになつた訳だ、然し同部内閣を案人に命じ同日午後官邸の挨拶廻りから歸ると自身で上衣を脱いで千代子夫人達と一生懸命書類の整理を始め引越の準備に余念なく夕刻には一台のトラックが引越荷物を今は空家になつてゐる世田ヶ谷大子堂の自邸に運び、十五日の朝も亦一台荷物が出た、官邸の数騎子も「畑さんは責任感の強いお方だからきつとお辞めになりますよ」と淋しがつてゐたものだ、それから十四日夜の參内、眠られぬ一夜の熟慮と陸軍長老會談、三長官會議で遂に米内さんに協力すべく決意したのだ、午後一時から官邸應接間で記者團と會見し「今度の政變は全く大きなニュースだつたね」と深刻な表情を崩してワハハと始めて笑つた「引越の準備は既に七分通り了し近所の挨拶廻りを濟してゐたよ」と答へて留任問題にはちよつとも觸れず「兎に角朗かにやつて行かねば駄目だよ」と言つて約十分間であつさりと會見を終つた

【寫眞は畑陸相】

期待は外れない
“兵學校へは四年から行つた” 米内大將の舊師は語る

【盛岡十五日發本社特電】畏くも大命降下の報に盛岡中學時代の舊師冨田小一郎老先生は“わしの眼鏡は狂はなかつたよ”とどつと押寄せた記者やカメラマンに囲まれ乍ら我が事のやうに喜んで語る

米内君は中學校當時の成績は上位とは云へぬが並以上だつた、彼は四年から兵學校に入つた、

退陣の十四日には官邸の引越準備を...

横鎮 一海軍始 觀兵式

【横須賀十五日發同盟】横鎮の海軍始觀兵式は十五日午後一時半から横須賀海兵團練兵場で挙行海軍陸戰隊の精鋭は水野海兵團長の指揮で長谷川横鎮司令長官以下の前に壮觀な分列式を行ひ更に海の荒鷲〇〇機は堂々空中分列式を終つた後翼を連ねて帝都上空を訪問した

國防獻金

台北市東門町一六〇蓬萊商株式會社代表社員逢坂熊三郎氏は兼て時局に鑑み奉公の微力を表はしたく計畫中の処偶會社設立の記念として金二千円を國防獻金として十五日軍司令部を訪問献納した

公私生活の混合は 大嫌ひの新法相
ミサヲ夫人が語る横顔

【東京十五日發本社特電】米内内閣に初入閣した總元締木村司法大臣勲生の十五日麹町の木村邸では新大臣の家とも思はれぬ静けさ、ミサヲ夫人が殺到する新聞記者連に恥しそうに語る新法相の横顔は主人は元來公私の生活を混淆する事は大嫌ひな性質で家庭では殆ど仕事の話は致しません、若い時は大分お酒を飲んだのですがこの頃は晩酌七勺位の晩酌で七時のニュースを聴くか聴かないうちに寢て默ひます、碁は下手な碁に好きでいつも法曹會館で圍碁さんとやるらしいのですが勝つた事はないさうですから負けず嫌ひで食事の好き嫌ひはございませんが日本食は好きで、默々と勉強してゐる方でした、偉くなる人は皆さうなんでせうけれど、當時は陸海軍の軍人になることを大いに誇りにしたものだが米内は將來望みがあると思つて大いに期待を掛けてゐた、特に俺がこの人は偉いと云ふことを感じたのは三、四年前に盛岡に來た時公會堂で一般の歡迎會があつたが其時偶が少し遅れて隅の方にをつたところ態々俺の所に來て“先生、此方へ下さい”と云ふので名刺を交換した時にもある、新聞が劇的シーンだと書いたことがある、大抵の人はこんなことは出來ん俺は全く恐縮したよ、一つ大いに奮闘して御奉公して貰ひたいことを念じてゐる

なつた木村さんの家庭ではマッチもお米も大して困りませんが炭は矢張り不自由します

芝山巖へ獻燈

市内全小公學校から

台北市内全小公學校ではさきに見童の寄附をあつめて台灣神社に献燈を記念して建功神社並に教育の發祥地芝山巖に夫々獻燈をなす事となり昨年來準備中のところこの程大體完成したので二月一日の芝山巖祭に先立ち來る二十九日頃同社への獻燈式を執行する事となつてゐる

再び征つて戰死
森本一等兵を舊主語る

林部隊の森本松夫一等兵は南支戰線で惜しくも壯烈な戰死を遂げたが同一等兵は愛媛縣松山市湊町出身にして同市立高等小學校を卒へて昭和十年七月來台、台北市榮町古川商店に勤務してゐたもので渡り、昭和六年入營のため渡台、除隊後專賣局道を當に勤務しその後守衛として一軍の人々から親愛されて...

兵の眼鏡(?)に陸軍の御奉公... てたが昭和七日臨東京台北驛前立の本際の小學校を卒業するや朝鮮に渡り、昭和六年入營のため...

れてゐたものである、台北市榮町六五の留守宅にはフジ夫人、長男康夫さん(七)および古川店長が出征後生れた次男信夫(三)さんの二子がある、留守宅を訪ねばいたいけな幼兒は父の戰死も知らで無心に興じてゐた、フジ夫人は子煩悩で戰地からの便りは子供の事許り書いてゐました、夫は非常にまた常に“自分は何時戰死するかわからないが子供を立派に育ててくれ”と言つて困り再び生きて歸らじの固い覺悟であると言葉少なに語つた（寫眞は山室伍長）

で同僚の評判も良く溫厚篤實な性格は同店主に認められ、將來は大陸に分店經營を依託される事になつてゐたもので同君の戰死は痛く惜まれてゐる、古川商店主は語る

私の方には森本君の戰死に就いては公報は入つてゐませんが、郷里に親達が居住してゐるので貴報も向ふへ行つてゐる模様で貴紙に發表された戰死者名の記事を郵送してやりました、郷里の方で葬行する様です、同君は私方に長く勤めて他は凡て郷里の方で葬行する様です、最初の出征の時みた青年です、最初の出征の時は戰傷を受け再び出征して名譽の戰死を遂げたものです（寫眞は森本松夫一等兵）

碧眼の夫人を伴ひ 岡田穀畫伯が來臺
南佛からこの程歸朝

【基隆電話】第一次歐洲大戰の波浪を縫つて渡歐し、歐米に在ること二十二年間、ひたすら繪に精進し南フランス盛しの田舎に靜かなるカンバス生活二十年の蘊蓄を經て如何なる運のめぐり合せかこの度また今次歐洲動亂の荒波に揉まれて二十數年振りに昨年十二月四日横濱入港の鹿島丸で懐かしの故國日本に歸朝した畫家岡田穀氏が十四日基隆入港の蓬萊丸で令夫人デンマーク人イングボルグさん、長男の淙君(十)次男の真道君(三)を伴つて渡臺した、入港とともに記者が船室に訪れると“さあどうぞ”と岡田氏がシートを家内すると長男の淙君が可愛いはつきりした日本語で握手を求める夫人がすかさず“上陸準備で取散つてますがどうぞ”と中とり散らしてゐますがどうぞと英語で迎へられ間もなく岡田氏と基隆市實業家陳瑞安、宇田繁氏の兩氏が兄の一族を迎へ二十數年振りの面接に肉身の握手もかたく久々の挨拶に眼をうるませた

記者 矢張り歐洲動亂のため歸朝されましたか

岡田氏 いやそれもありますが第一にこの二人の子供を日本人に育てるためです、彼地に居てはなか〳〵良い日本人にはなれませんからね

記者 歐米での御生活は

岡田氏 一九一六年恰も歐洲大戰當時渡米しましてニューヨークに一年八ヶ月、それからスペインに渡り歐洲大戰の終熄を待つてパリーへ、間もなく南フランスの田舎に落ついて靜かに繪に精進してをりました

記者 歸航途中に異變はありませんでしたか

岡田氏 丁度マルセーユを出る日がフランスが對獨宣戰を布告致しまして何でもジブラルタルからボルドーに着くまでの三日間ばかりにドイツの潛航艇に撃沈された他の船からS・O・Sを大分受信したさうです、又ボルドーからリバープール間で英國の御用船が歩兵艦に護られて航行してゐるのに出會ひまして、一度の英國汽船が鹿島丸に近づいて來て“もつと離れて航行せよ”と申入れたりしましたが別に大した危險には遭遇しませんでした

記者 貴君が永らく彼地に居られての歐米觀について

岡田氏 あちらに住むことは個人的生活には氣樂な點もあり愉らくはよろしいがだん〳〵國家的、國家的觀念から日本人に還元されて來て結局故國に歸りたくなります、歐米人はもう既に衰へかけてゐるやうに見受ける、イタリーにしてもムッソリーニ一人だけが頑張つてゐるが人民は怠けて働くことをいやがつて個人主義的享樂に走つてゐる風潮があり、フランスの如きもそうした傾向が濃く現在富裕が盛に流行つてゐて、それが政府の收入を滿たしてゐるといふ有様であ、大體においてラテン系の民族は働かなくて遊びたいといふ

通有性をもつてゐるやうで、それだけに獨逸の赤手にも犯され易い傾向を如實に見せてゐる、かうした意味において私はラテン系の民族は個人主義的生活には或る意味において惠まれるといへるかも知れないが國家的には漸次衰へて行くのではないかと觀てよからうと思ふ

記者 歐洲動亂に關連して彼地における諸情勢は

岡田氏 あちらの人民は一口に言へば戰爭に行きたくないのを無理に引つぱられてゐるといふのが適切だと思ふ戰死の場合でも日本では“榮ひに”といふがあちらでは“不幸にも”とモテイアイすることからしてそのものの根本觀念が異つてゐるフランスでは去る日、英、伊三國協定の折は日本に對する冒險視があつたが其の後獨、ソ協定によつて日本は敵でないと考へたらしく緩和された、併しフランス人は日本の軍事上の價値を認めて今にも日本に攻められはしないかといふ恐怖感を感じてゐることは事實のやうである

記者 渡臺の目的は

岡田氏 未だ歸朝して自分の家がどこにもないから若し適當な家に入れば暫らく定住してもよいと考へてをります

記者 日本の畫界には出品されたことがありますか

岡田氏 九年程前に帝展に私が住んでゐた南フランスの田園風景を一度だけ出品しまして、それは宮内省のお買上げの光榮に浴しましたが此をやるやうになつてから三十二年になりますが最初は中村不折氏に仕へその後藤島武二氏に師事致しました最近では專ら南方面で描きたいと思つて専に適當な家を探してもらつてをります、私は各地の鬪技に参加したりするよりも靜かに雨畫目に描き研究したいです

(寫眞は岡田穀氏(右)イングボルグ夫人(左)淙美君、真道君、南佛ラゴード村に於て)

防衛の完璧を目ざす
臺北州第二種の防空訓練

昭和十五年の年頭を飾る本年度最後の台北州第二種防空訓練は既報の通り來る廿九日午後一時より卅一日午後一時まで三日間二晝夜にわたつて州下一円（海上沿岸四浬以内を含み島嶼全部參加）に實施される事となり十五日は午後一時から州會議室に於て内務、警務兩部はもとより各市郡、警察關係官參集打合會が開催され種々實施要項について打合せを行つた、輝く新春を飾るに適しく眞に防空訓練の目的と合致するやう實戰に即して各市郡庄に獨自の立場に基くあらゆる演習を行ふはもとより十四年度最後のものとして過去の實蹟を顧し更に今後の發達に備へるべく夫々市街庄長を視監官とする閲兵、分列式も行ひまた從來は兎角防衛團員のみの演習であるかの如き感を抱かせた憾を打破し眞に國民防衛としての實際的參加を促し演習開始前に國民を總動員して警報並に燈火管制に關する直接指導をなす狀態訓練を行ふ事の特色も盛り込まれてゐる、即ち要項及び想定は左の通りである

▲訓練科目 通信、警報傳達、音響、燈火管制、防毒、防火、待避、救護、工作、配給、警護、交通整理、教護

▲想定 一、信ずべき情報によれば某敵國は長江某國の援助を得み空軍の再興に狂奔し既に新銳機數百機の整備を了し浚後の抗戰を企圖するものの如し 二、一部は之を企圖する五十餘機の一部隊は廿九日未明其の根據地を出發せり 三、廿九日午後一時頃臺北州管下各防空團體は全部其の部署に配備を完了せり

▲演習要項 二十九日午後五時を以て、臺北、基隆に訓練警戒警報を發令し本演習に入る、卅一日午前八時を以て訓練警戒警報を解除す、從員訓練は廿九日午後一時よりそれまでに全員を召集し所要の指示注意及び動作の一部を研究實施し又市民に對して實施に一々警報地に燈火管制の直接指導を行つて殘らず完全な設備をなさしめる、終末訓練は三十一日午前八時より午後一時まで、あつて十時より日一齊に各州國旗所に指揮打造をなし演習の場所に於て閲兵分列式を行ふ外終了後直ちに第四期以上の幹部を集め審判官の講評を指導者を中心として實施科目に付き委員の交換をなす豫定

山口部隊の戰死者
十五日原隊より發表

南支戰線最近の戰闘に於て名譽の戰死を遂げた山口部隊勇士の氏名は十五日夕原隊より左の通り發表された(いづれも陸兵)

伍長 野尻 泰吉（花蓮港廳）
伍長 王田 道男（大分縣大野郡三重町）
准尉 有吉 房雄（福岡縣築上郡吉富村）
曹長 吉田 富夫（長崎縣東彼杵郡）
伍長 山室 俊貞（臺北市福山町六五番地）
伍長 渋田 繁（鹿兒島縣日置郡市中山）
上等兵 小川 富太郎（長崎縣壱岐郡）

專賣局に勤務
戰死した山室伍長

山口部隊の名譽の戰死者山室伍長は今次事變勃發と同時に召され...

靜岡市の大火
南西部目拔で一千戸を全燒

【靜岡十五日發同盟】十五日午前十一時十分頃靜岡市新富町一丁目から發火し全市十四ヶ所に飛火し目下（午後、時半）全市黒煙に包まれ燒失、清水など附近町村より消防隊馳けつけ消火に努めてゐるが西の強風に煽られ火の見込みたたず既に四、五百戸を燒き盡し延燒中

【靜岡十五日發同盟】靜岡の大火につき十五日午後二時同市役所より達した情報によれば發火現場たる新富町附近の火は一旦鎮火したが、次いで市の目拔街七軒町に飛火し風速十一米の南風に煽られ更に各町に延燒、市の南西部目拔街は殆んど全部燒失した家屋は一千戸に上り御用邸、驛舍、靜岡郵便局等の官廳街は風上で目下安全である、靜岡驛は危險に瀕しこのため東海道上下線とも不通となつた、市民は駿府町練兵場から安部川方面へ避難中である

火足猛烈を極め
必死になつて破壞消防

【東京十五日發同盟】靜岡の大火に就き十五日午後三時二十分同市檜木町に所在する靜岡放送局から東京中央放送局への直通電話の報告は左の通り

火勢は南方に延びつつあり、城内東西內小學校、男子高等小學校を避難所に當て罹災民を收容中である、商火迹は西北風に煽られて延びつつあり目下破壞消防中である

名古屋から救援列車

【名古屋十五日發同盟】名古屋鐵道局では靜岡市大火救援のため天幕シートをはじめ救援用品を満載した第一救援列車を派遣したが更に本日午後二時三十分資材その外にレール枕木其他復舊資材の外...

內務省への公報

【東京十五日發同盟】靜岡市の大火につき靜岡縣知事より內務省に達した公報によれば午後八時天々寺場に待機した一方第二師團では取敢ず諸鈴木大尉を午後七時二十三分名古屋發列車で現場に急行せしめたが狀況に依つては救援のため部隊に出動を命ずることとなつた

應援隊現地に急行
復舊救護資材の無賃輸送も開始

【名古屋十五日同盟】靜岡市大火のため名古屋鐵道局では應援のため保線區員三十名を特派することとなり一行は午後四時五十一分名古屋驛發列車で靜岡に急行した、又警察部員その他の為め名古屋鐵道局より警察、警察署員が午後八時二十六分名古屋驛發の救援列車で急遽現場に向つた、名古屋鐵道局では鐵路校木、人夫、通信要等の復舊材料を靜岡驛に急送すると共に一般復舊救護用資材料等の無賃輸送を開始した

漁船燃料用の重油
基隆手繰組合で配給緩和を懇請

【基隆電話】年漁獲高約五百万円に上る基隆水産業界では物動計畫に基く漁船燃料重油の打ち續く配給制限のため最近では遂に實際使用量の三割五分しか配給が得られなくなり斯くては基隆水産業の死活問題、ひいては食料問題、物價問題にも支障を來すといふので基隆手繰組合が主體となり、これが打開策につき懸命の腐心を拂つてゐるが十五日には基隆水産館において前根組合長以下組合員ら午後二時から臨時總會を開いて協議を重ねた結果、結局重油の配給緩和を當局に懇請するの外打開の道なきことに意見の一致を見るにいたり因つて實際使用量の大割配給方をひたすら當局に對して懇請を行ふことに一決した、右につき前根組合長は左の通り語る

配給制限の當初は六割方であり又〇〇船に對する配給量の使用量が出來たため實質的には七、八割の配給を受け

切りつめてやつて來たが昨今の三割五分は〇〇船の分が流用出來なくなつて見るからネットの三割五分であり、これでは行く〳〵は休業でもしなくてはならぬことになるかも知れない、殊に水産物は生ものの如く資り惜しみとか買溜めなどは出來ないので機能を十分働かせることが出來ないとなれば魚價にも直接非常な影響を與へることにもなり又食料問題としても大なる關係を有するのであるから、その點當局の

理解が欲しい、特に我々業者間では水產業者に對する重...

戰ひの跡を訪ふ
激しかつた潮州西方殲滅戰

【潮州にて諸特派員】去る一月二三、四日に潮州西方に蠢動せる敵獨立第九旅に對し壊滅的打擊を與へた我各部隊の蘇々たる戰果に敵國の英敵に對し弔慰を表すべく記者は揚崎直後軍用トラックに便乗して部隊本部を訪問誓しにまさる我が將兵の壯烈なる肉彈戰を見聞し感嘆の眼を見張つた、即ち當時の戰鬪を綜合して見ると今回の潮州方面の討伐戰は南支方面に於ける最初の激戰で彼我の銃砲聲は三日三晩ひつきりなしに吼えつづけ

潮安の山河

は之がため良く頑强に抵抗し小銃、機關銃の亂射は鐵砲の他に撃ち固めててはは迫擊砲彈を八十發も釣瓶打ちに打つて來ると云ふ有樣であつた、敵の陣地は西瑚、竹圍、徐厝塘、葉園等何れも深さ五米もある大塹壕に囲繞され其の內側に鐵條網、土壘或は厚いベトンの壁をめぐらし民家の内部に本物のトーチカが築生してゐて銃眼は三皿の穴を連ね強丸はその一番奥から飛び出して來ると云ふ念の入つた

鐵壁の陣地

である、我が軍の勇士等は民家の屋根の上に飛び上り屋根をめぐつて手榴彈をぶち込んでも內部のトーチカはびくともしないと云ふ頑固なものであつたが我が軍は更に屈せず眞近から射ち込む〇砲の威力に物云はせ戰車を突込み途に肉彈を以て根氣よく個々に擊破し盡したのであつた、從つて正月のお雜煮をゆつくりと祝ふ暇もなく武勇の限りを盡して戰つた各部隊の

將兵の勞苦

は文字通り言語に絕するものがあり〇〇部隊長の如きは追擊砲彈の下を潜つて指揮刀を振り翳して進擊を號令した程であつた、このため全軍の士氣全く敵を呑んでかかり〇〇隊の如きは僅か十三人の少數で敵大部隊の中に躍り込み日本刀の斬れ味を見よと許りに或は突き刺し或は叩き斬り或は芋刺しにと一擧これに斃れて四十人名を斬り伏せたと云ふ武勇傳も生まれた位であつた、敵は戰前「日本軍が如何に強くともこのトーチカ群だけは絕對に落ちる事は出來ない」と部落民に

豪語した程

であつたがこの人力を持つてしては到底抜き得ないと見られてゐた敵陣の「トーチカ群」も陥す所なく擊滅し盡されたので今迄蔣介石軍閥の宣傳に乗せられてゐた部落民の失望は逆に皇軍への信頼に變つた譯である

一番町、二番町、上大工町、上石町、七軒町、下石町、紺屋町、江尻町、西門町、呉服町、今川町各一部の見込み立たない

感心な少年
報勞金を獻金

台北市日新公學校一年生李定國君は元園町街路上で金三千円を拾得しこれを北署に屆出たがその後落し主判明し報勞金として金三円を貰つた同君はこれを私せず十五日軍兵金として同署に手續方を願出た

基隆市勸業課長に 兒玉貫之氏を任命

基隆市勸業課長たりし川野政治氏は宇築界に轉ずる爲退官したので後任には基隆驛監務長兒玉貫之氏を起用する事になり十三日附で左の通り發令された

兒玉 貫之 基隆市勸業課長を命ず（七等待遇）基隆市勸業課長を命ず

定期航空

△內臺定期航空(下便)あぜ號は十五日午後五時五十二分臺北着乗客は十井秀太郎氏(基隆鐵道)、早崎友太郎(銀行員)、中尾信次(公會員)、越智手雷(會社員)、陳氏勤(同)外一氏

敬老會

榮町大同會で敬老會

台北市榮町の大同會では十五日午後六時半より台北信用組合樓上に於て定期總會を兼ね皇紀二千六百年の春を壽ぐにふさはしい敬老會を開催し、町內の高齡者以上の高齡者を招待して谷口會長より顯揚狀並に御記念品として田村宮殿下の宮司が、明治天皇の御製を謹書した繪布の一軸を參集した後座重な來客を迎へて和氣藹々たる美しい情景を見せ同九時頃散會したが高齡者に明治二十九年乃木大將に招かれて渡台し夫君と共に乃木邸に出入してゐたと云はれる黒木ナオ子(八ヽ)さん、福井茂太郎氏(八〇)手島武一郎氏(七八)中村カン子(七七)さんの五名が選げられてゐる

けふの天氣

△臺北地方 南東の和風、曇後晴
△北部地方 南東の後和風、曇後晴
△昨日の氣溫 最高二一・九度(午後二時) 最低一五・四度(午前八時) (臺北測候所發表)

大和丸(來航) 北北西の風弱く、波、海稍高し、十六日午後三時三十分基隆入港の豫定、船客多數(十五日書記) 大阪商船 りよだ船

夫妻フミ儀急病にて本日午前十時死去仕候條此段謹告候
追而葬儀は十六日午後五時久寶寺に於て相營可申候
昭和十五年一月十五日
夫 渡邊善嗣
親戚總代 渡野胸廣
友人總代 横山竹直
　　　　近江時男
　　　　宮本一郎
　　　　中村五學
　　　　島守太事
町會長 土居竃郎
區長 小松利三雄

會葬御禮 江崎哲夫

荊妻千代女儀...昭和十五年一月十六日
夫 筑紫主記
男 筑紫知治
親戚總代 吉田久藏
　　　　尾山義信
　　　　原野千之一
　　　　宗森春充
　　　　宮川三實
友人總代 沖口亮二
　　　　瀧仁吉
　　　　黄建保
　　　　李宏祥
　　　　潘興水

愚息趙竹儀急病ニテ臺中醫院ニ入院加療中ノ處藥石効ナク去ル十一日午後四時死去候ニ付來ル十八日午後四時ヨリ臺北市門町自宅ニテ告別式執行可致候此段謹告候
昭和十五年一月十六日
嘉義市祭町
父 趙石君
弟 趙寶樹
弟 趙寶源
親戚總代 同
親族總代 同
友人總代 同

五ツ島、無念の黑星（五日目）
大關候補三銃士漸く好調

右四つから佐賀猛然寄立てるを出羽殘して投の打合ひとなり出羽白柱へ强引に寄り殘ろを拗ひ投棄つて出羽の勝と思はれたが行司は勇み足を認めて佐賀に軍扇を上げ西の檢査役荒岩から物言ひが付き從へ兩國、肥州山も讓らず十五分の大物言ひとなつたが結局勇み足と決つて出羽の負

(カツトは上、巴潟突落しに安藝海を破る、下、相模川玉ノ海を突倒す)

春場所大相撲星取表

東方：双葉山、羽黑山、名寄岩、玉ノ海、照甲、照國、大邱山、大潮、金湊、磐石、佐賀花、吉葉山、旭川、宮士山、巴潟、鯱ノ里、小松山、九ケ錦、桂川、綾瀬川、清氏山、松浦潟、小松川 ほか

西方：男女川、前田山、安藝海、綾昇、五ツ島、笠置山、兩國、松ノ里、双若、鹿島洋、出羽湊、大邱山、相模川、肥州山、駒ノ里、大和錦、櫻錦、新東山、四海波、一渡、倭岩、九州山 ほか

今日の好取組

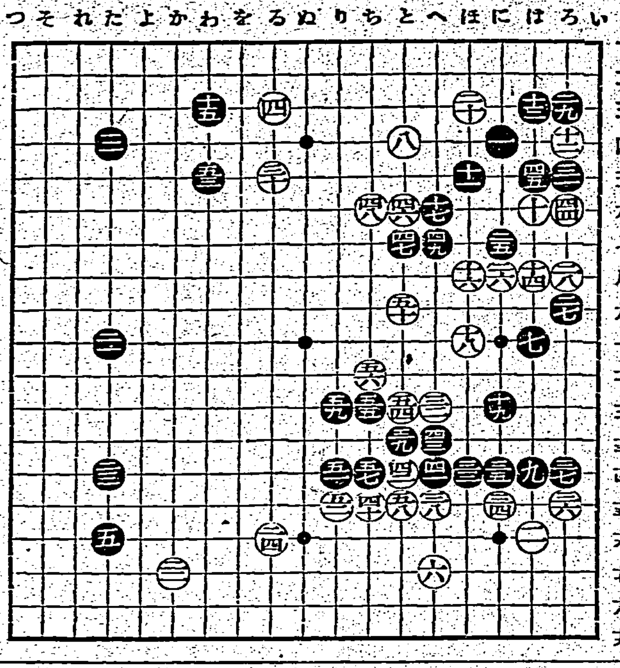
鹿島洋—九ケ錦
新入幕早々幕内の古參連を連日撃破して居るべからざる勢を示してゐる九ケ錦と好調とは云へないが突張り物凄いタンク振りを發揮する鹿島洋、四つは鹿島洋右に九ケ錦左で喧嘩四つだがどつちも差した…

出羽湊—照國
綾昇—磐石
安藝海—佐賀花
相模川—羽黑山

六日目取組
（中入後）

五八拔敗退碁戰
本社主催 日本棋院後援

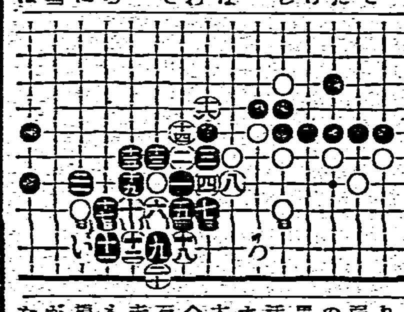
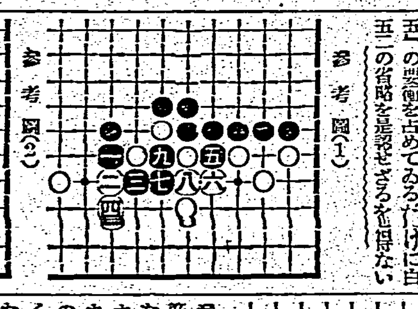
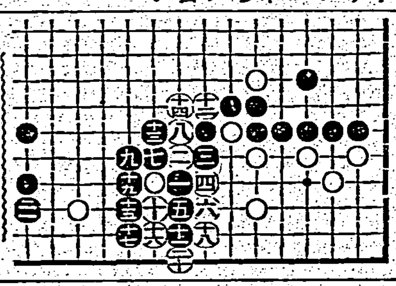
第三局ノ五
五段 小泉重三郎（先）
四段 藤田豐次郎



遂に黑要衝を占據
直感で白五二と受たが？

評解 七段 瀨越憲作

●五一り十四 ○五二り十五
●五三わ五 ○五四と十二
●五五ち十二 ○五六ち十一
●五七ち十四 ○五八と十五
●五九り十二
小泉氏二回勝三回目
持時間各八時間一分以内切捨
消費時間 黑… 白…

參考圖(1) 參考圖(2) 參考圖(3)

立教雪辱す
【マニラ十四日發同盟】來征立教野球軍の最後の一戦たる對セントトーマス大學二回戰は立教一敗の後をうけ十四日午後八時からリサール記念體育館コートで擧行、三十對二十六で立教雪辱を遂げ斯くて立教の遠征成績は五勝二敗となつた

嘉義の建國祭 奉祝武道大會
【嘉義電話】嘉義市の二月十一日紀元節奉祝行事は中央の趣旨に順應して穩々實施すべく目下市當局に於て立案中であるが武道報國の實を擧ぐるため二千六百年建國祭奉祝武道大會を開催する計畫を樹て…

高校ホッケー優勝祝賀試合
全國高校の王座を獲得して去る十四日晴れの歸台をした台北高校ホッケー部の歡迎を兼ねた台湾ホッケー協會の練習初めは既報の如く十五日午前十時半より高校運動場に於て擧行された…

放送園堂々雪辱
TFAK對本社編輯局第二回戰は十四日午前十時半より…

高雄の競馬
—最終日成績—

今日漢詩壇

堀部安兵衛 (141)
一龍齋貞山演 矢島健三畫

八重櫻（五）